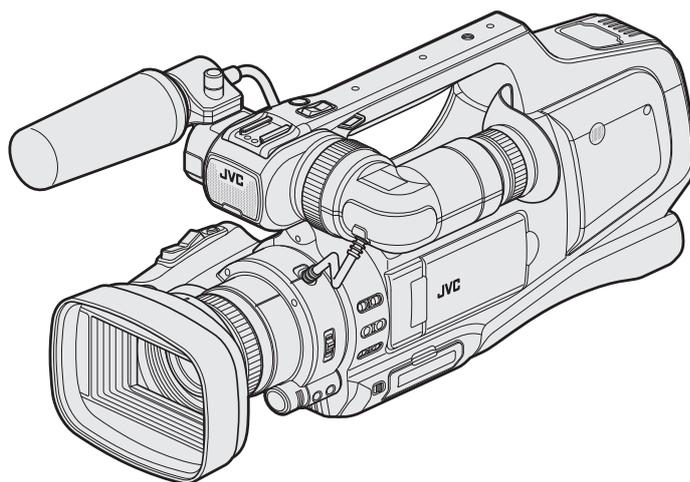


JVC

HD メモリーカードカメラレコーダー

詳細取扱説明書

JY-HM90



※イラストはJY-HM90に別売のマイクを取り付けた例です。

もくじ

準備する

付属品を確かめる	4
バッテリーを充電する	5
SDカードを入れる	6
本機で使えるSDカードの種類	7
タッチパネルの使いかた	8
タッチパネルの調整をする	8
液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき	9
電源を入れる/切る	11
時計を合わせる	12
時計を合わせ直すときは	12
表示言語を変更する	13
ビューファインダー/液晶モニターで見る	14
グリップベルトを調節する	14
フードをはずす	14
フェライトコアを取付ける	15
レンズカバーを開ける	15
リモコンを準備する	15
ヘッドホンの取り付けかた	15
外部マイクの取り付けかた	16
三脚の取り付けかた	16
ショルダーパッドの位置を調整する	16
海外で使うときは	16
海外で充電するとき	16
時差のある地域で使うとき	17
旅行先がサマータイムのとき	17
別売アクセサリ	18

撮影する

撮影モードを選択する	19
インテリジェントオート/マニュアル撮影モードを選択する	19
フォーカス調整モードを選択する	19
リング動作モードを選択する	19
動画/静止画撮影モードを選択する	20
動画をオートで撮影する	21
動画撮影中に静止画を撮影する	24
静止画をオートで撮影する	25
ズームを使う	27
手でピントをあわせる	28
フォーカスアシストを使ってピントを合わせる	28
ゼブラパターンを表示する	29
明るさを手動補正する	30
逆光補正を設定する	30
シャッタースピードを調整する	31
絞りを調整する	31
ホワイトバランスを設定する	32
場面(被写体)に合わせて撮影する	33
接写で撮影する	34
被写体をきれいに撮影する(タッチ優先AE/AE)	35
笑顔を自動で撮影する(スマイルショット)	36
スマイル%を設定する	37
手ぶれを補正して撮影する	38
2枚のSDカードに同時記録する(デュアル撮影)	39
1つのファイルで撮影する(クリップ連続記録)	40
スローモーションを撮影する(高速撮影)	41
微速度撮影をする(タイムラプス撮影)	42
動きを検出し自動的に撮影する(フレームインREC)	44
記念写真を撮影する(セルフタイマー)	45
残量時間を確認する	47

再生する

動画を再生する	49
通常再生	51
撮影日などの情報を見る	52
ダイジェスト再生	53
プレイリスト再生	54

特殊ファイル再生	55
静止画を再生する	56
スライドショーで再生する	57
目的の映像を撮影日から探す	58
テレビにつないで見る	59
HDMI端子とつないで見る	59
AV端子とつないで見る	61
本機で作ったDVDやブルーレイディスクを再生する	62
ブルーレイプレーヤー、DVDプレーヤーでのダイジェスト再生について	62

編集する

不要な映像を削除する	63
表示(再生)しているファイルを削除する	63
選んで削除する	63
映像を保護する	64
表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する	64
選んで保護する/選んで保護を解除する	64
再生中の動画を静止画にする	65
動画を必要な部分だけにする(トリミング)	66
録画した動画から選んでプレイリストを作る	67
映像を選んでプレイリストを作る	67
撮影日を選んでプレイリストを作る	68
プレイリストを編集する	70
プレイリストを削除する	72

保存する

BDライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを作る	73
BDライター(外付型ブルーレイドライブ)を準備する	73
ディスクを作る	74
BDライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを再生する	81
DVDライターでディスクを作る	81
DVDライターを準備する(CU-VD3の場合)	82
DVDライターを準備する(CU-VD50の場合)	82
ディスクを作る	83
本機とDVDライターをつないで再生する	87
ブルーレイレコーダーと接続してディスクを作る	88
DVDレコーダーにつないでディスクにダビングする	89
ビデオデッキにつないでVHSテープにダビングする	90
外付型ハードディスクに保存する	91
外付型ハードディスクを準備する	91
映像をまとめて保存する	92
外付型ハードディスク内の映像を再生する	94
外付型ハードディスク内のフォルダを削除する	94
外付型ハードディスクをフォーマットする	95
外付型ハードディスクから取り込む	95
映像ファイルを別のSDカードにコピーする	97
映像ファイルを別のSDカードに移動する	98
Windowsパソコンに保存する	99
ファイルとフォルダの一覧について	100
Macコンピューターに保存する	101

設定メニュー

メニュー操作のしかた	102
トップメニューの操作のしかた	102
ショートカットメニューの操作のしかた	102
撮影設定メニュー(動画)	103
お楽しみ撮影メニュー(動画)	108
撮影設定メニュー(静止画)	109
お楽しみ撮影メニュー(静止画)	111
再生設定メニュー(動画)	112
編集メニュー(動画)	112
再生設定メニュー(静止画)	113
編集メニュー(静止画)	113
セットアップ(動画/静止画共通)	114
出力設定(動画/静止画共通)	116
メディア設定(動画/静止画共通)	117

各部の名前	118
-------------	-----

液晶画面の表示内容	120
-----------------	-----

困ったときは

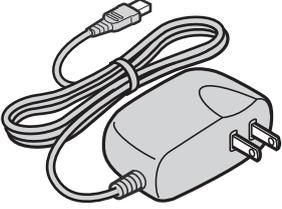
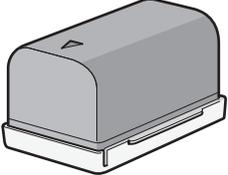
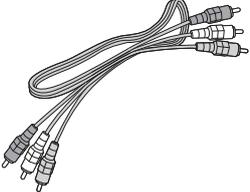
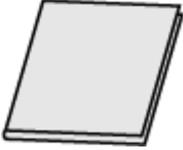
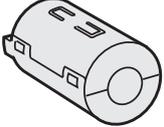
正常に動作しないときは	123
バッテリー	124
撮影	124
カード	125
再生	125
編集/保存	126
コンピューター	127
画面/映像	127
その他	128
エラー表示	129

日ごろのお手入れ	131
----------------	-----

仕様	132
----------	-----

付属品を確かめる

万が一、不足品や不良品がございましたら、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

イラスト	説明
	<p>AC アダプター AP-V20</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機と接続して、バッテリーの充電をするときに使用します。室内で撮影、再生するときにもご使用できます。
	<p>バッテリーパック BN-VF823 (1 個)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機に取り付けて電源を供給します。
	<p>AV コード</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 撮影した映像をテレビで再生するとき、本機とテレビを接続するために使用します。
	<p>USB ケーブル (A タイプ-ミニ B タイプ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機とパソコンを接続するときに使用します。
	<p>基本取扱説明書</p> <ul style="list-style-type: none"> ● よくお読みになり、必要なときに読めるよう大事に保管してください。
	<p>フェライトコア</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤードリモコンをお使いになるときに使用します。(☞ p. 15)

メモ：

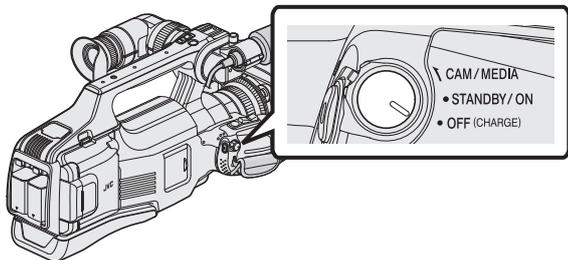
- SD カードは別売です。
- "本機で使える SD カードの種類" (☞ p. 7)
- 海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。
- "海外で充電するとき" (☞ p. 16)

バッテリーを充電する

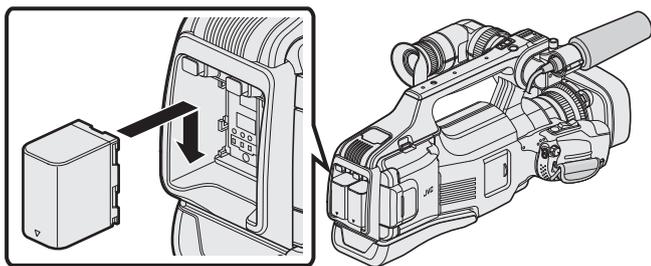
お買い上げ直後やバッテリーの残量が少なくなってきたら、バッテリーを充電しましょう。

ご購入時のバッテリーは、充電されていません。

1 "STANDBY/ON OFF"スイッチを"OFF"にする

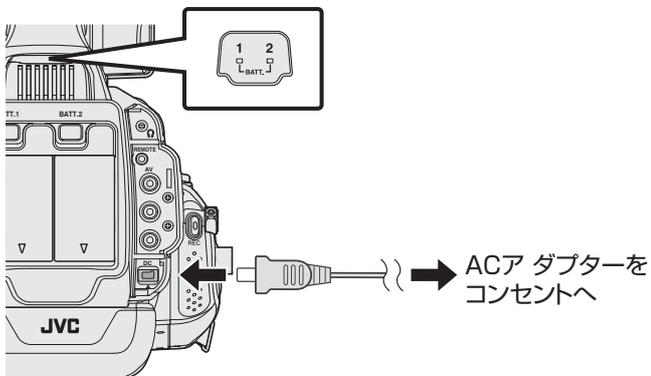


2 バッテリーを取り付ける



- 本体とバッテリーの端子部を合わせてください。
- 取り付けるバッテリーは、1 つでも使用できます。
- BATT.1 と BATT.2 のどちらでも充電できます。
- バッテリーを2個取り付けた場合、BATT.1 から充電が始まります。BATT.1 の充電完了後に BATT.2 が充電されます。ただし、BATT.2 の充電中に BATT.1 を取り付けたときは、BATT.2 の充電完了後に BATT.1 を充電します。2 つ同時に充電はされません。

3 DC 端子に AC アダプターをつなぎ、コンセントをつなぐ



- 充電中は充電ランプが点滅します。充電が終わると消灯します。

警告

- バッテリーの入れる向きを間違えないようにしてください。本機やバッテリーが破損する原因になります。

ご注意：

必ず JVC 製のバッテリーをお使いください。

- JVC 製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。
- 充電時間：約 3 時間 30 分(付属バッテリーの場合)
25℃で使用したときの時間です。室温 10℃ ~ 35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。充電できない場合、充電ランプがゆっくりとした周期で 2 回点滅してお知らせします。
- バッテリー充電中に不具合(過電圧など)が生じた場合、または JVC 製以外のバッテリーを充電しようとした場合、充電が停止します。この場合、充電ランプが速く点滅してお知らせします。

付属の AC アダプターを使用してください。

- 付属品以外の AC アダプターを使用すると、故障の原因となります。

- AC アダプターを接続して、撮影や再生ができます。(撮影中や再生中はバッテリーを充電できません。)
- 長時間使用するときは、バッテリーを取りはずしてください。バッテリーをつけたままにすると、バッテリー性能が低下することがあります。

バッテリー(充電式電池)について：

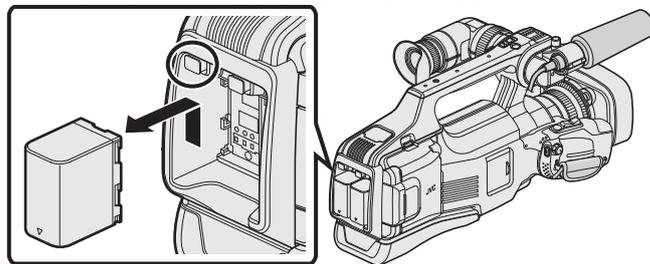
- 低温(10℃以下)での使用時は、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。(カイロなどには直接ふれさせないでください)
- 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
- 取りはずしたバッテリーは、約 15~25℃の乾燥したところで保管してください。
- 長期間使わないときは、30%程度充電された状態(■)で保存してください。また、半年に 1 度程度は、満充電→使い切りの操作をし、30%程度充電された状態(■)で保存してください。

メモ：

- 室内で長時間撮影するときには、AC アダプターをつないで撮影することもできます。

バッテリーの取りはずしかた

バッテリーを取りはずすときは、バッテリーロック取りはずしボタンを押し、バッテリーをスライドさせて取りはずしてください。



バッテリーの充電時間の目安(AC アダプター使用時)

バッテリー	充電時間
BN-VF815	2 時間 30 分
BN-VF823 (付属)	3 時間 30 分

- 上記の充電時間は、バッテリーを 1 個充電する場合の時間です。
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

※ 25℃で使用したときの時間です。室温 10℃ ~ 35℃の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。低温など、使用状態によって撮影・再生可能時間は短くなります。
"撮影時間の目安(バッテリー使用時)" (p. 48)

バッテリーの処分について

バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

- お問い合わせ：一般社団法人 JBRC

<http://www.jbrc.net/hp/>

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。



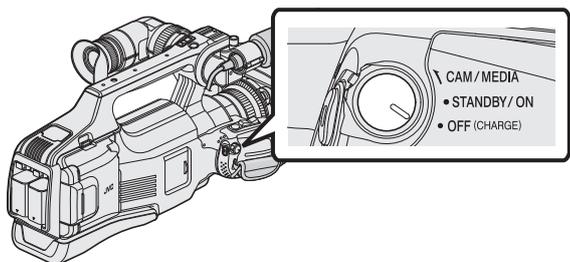
SDカードを入れる

撮影する前に市販のSDカードを入れてください。
本機にはSDカードスロットが2つあります。SDカードを2枚入れ、「撮影設定」メニューの「シームレス撮影」を「入」にすると、1枚がいっぱいになったときやエラーが発生したときに、もう1枚を使って撮影を続けられます。
「本機で使えるSDカードの種類」(※ p. 7)
「動画の撮影可能時間の目安」(※ p. 48)

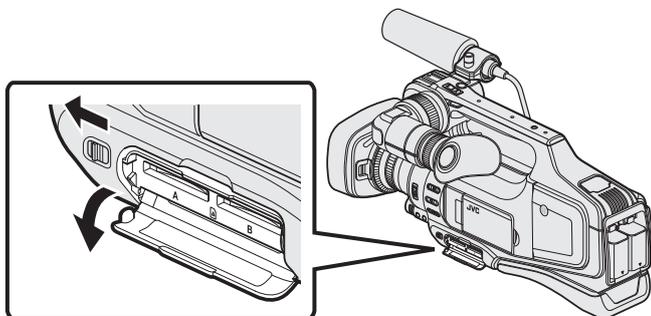
- お買い上げ時は、スロットAのSDカードに記録するように設定されています。スロットBのSDカードに記録するときは、「動画記録スロット」または「静止画記録スロット」の設定を変更してください。

「動画記録スロット」(※ p. 117)
「静止画記録スロット」(※ p. 117)

1 「STANDBY/ON OFF」スイッチを「OFF」にする

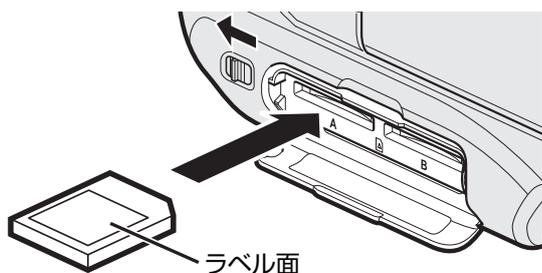


2 ドアを開ける



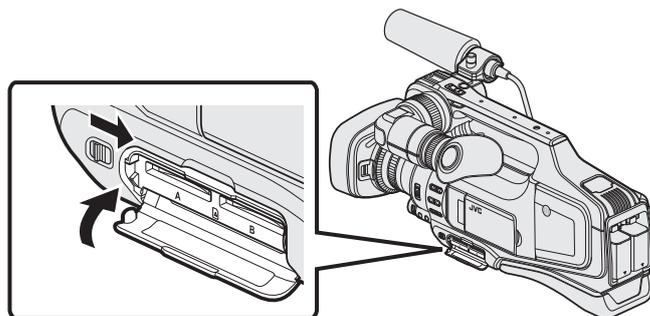
- 「DOOR LOCK」レバーを左方向にスライドさせて、ドアを手前に開きます。

3 SDカードをスロットAに入れる



- ラベル面が上側になるように入れてください。

4 ドアを閉じる



- ドアを開けてから「DOOR LOCK」レバーを右方向にスライドさせ、ドアが開かないようにします。

警告

- カードの入れる向きを間違えないようにしてください。本機やカードが破損する原因になります。
- カードの抜き差しは、本体の電源を切った状態で行ってください。
- カード挿入時、端子の金属部分に触れないように注意してください。

メモ：

- 「シームレス撮影」設定を「入」にしておくと、記録中のSDカードの撮影可能時間がいっぱいになったときや記録中のメディアにエラーが発生したときに、撮影を止めずにもう一方のSDカードに続けて記録できます。
「シームレス撮影(シームレス撮影/オートリカバリー撮影)」(※ p. 106)
- 「デュアル撮影」を「入」にしておくと、2枚のSDカードに同時記録をします。片方のメディアにエラーが発生したときに、撮影を止めずにもう一方のSDカードに続けて記録できます。撮影済みのファイルを失うことはありません。
- 「2枚のSDカードに同時記録する(デュアル撮影)」(※ p. 39)
- 1枚のSDカードで動画と静止画を記録できます。動画で動作確認されたSDカードをお使いになることをお勧めします。
- ほかの機器で使っていたカードをはじめて使うときは、メディア設定の「SDフォーマット」でカードをフォーマット(初期化)する必要があります。
「SDフォーマット」(※ p. 117)

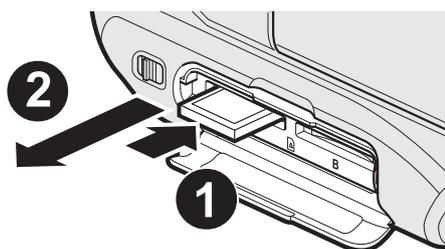
■ スロット状態表示ランプについて

スロットA,スロットBそれぞれの状態を表示します。

ランプ	スロットの状態
点滅	挿入されているSDカードにアクセス中です。(データの書き込み/読み込み出し中) 本機の電源を切ったり、SDカードを抜かないでください。
点灯	スタンバイ状態。挿入されているSDカードを使用して、記録・再生を行なえます。
消灯	SDカードが挿入されていない。 使用できないカードが挿入されている。

カードの取り出しかた

SDカードを一度押し込んでから、まっすぐに引き抜いてください。



本機で使える SD カードの種類

以下の SD カードがご利用可能です。
下記の推奨メーカー製の SD カードで動作確認しています。

- パナソニック(Panasonic)
- 東芝(TOSHIBA)
- サンディスク(Sandisk)

SD カード



- 256 MB～2 GB に対応しています。
- 動画撮影するときは、Class4 以上対応の SD カード(2 GB)をお使いください。

SDHC カード



- 動画撮影するときは、Class4 以上対応の SDHC カード(4～32 GB)をお使いください。

SDXC カード



- 動画撮影するときは、Class 4 以上の SDXC カード(最大 128 GB)を使用してください。

メモ：

- 上記以外のメーカーの SD カード(SDHC/SDXC カードを含む)では、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。
- すべての SD カードの動作を保証するものではありません。SD カードの仕様変更などにより使用できない場合があります。
- "動画画質"を "U X P"にして撮影するときは、Class 6 対応の SDHC/SDXC カードの使用をおすすめします。
- プログレッシブ方式(60p)で撮影するときは、Class 6 以上が必要です。
- 動画記録形式を "MOV"にして撮影するときには、Class6 以上が必要です。
- Class4、Class6 とは、それぞれ読み書き時のデータ転送速度が最低で 4 MB/s、6 MB/s であることを保証するものです。
- Class 10 対応の SDHC/SDXC カードも使用できます。
- 1 枚の SD カードで動画と静止画を記録できます。動画で動作確認された SD カードをお使いになることをお勧めします。
- SD カードの端子部を触らないでください。データが消えることがあります。
- SDHC/SDXC UHS-I カードについて
UHS スピードクラスには対応していませんが、通常の SDHC、SDXC カードとしてご利用になれます。

パソコンが SDXC カードを認識しないとき

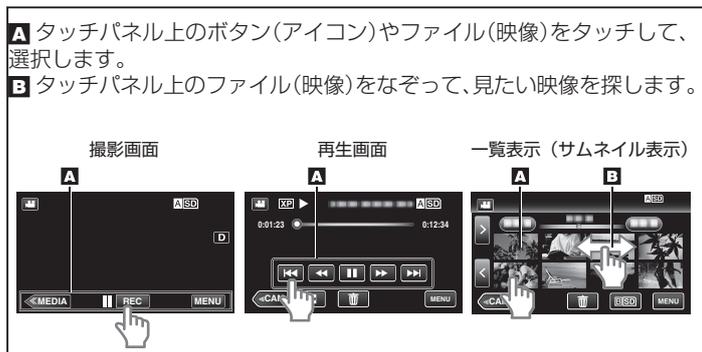
パソコンの OS(基本ソフト)をアップデートしてください。

Windows Vista	<ul style="list-style-type: none"> ● OS のバージョンが SP1 以上になっていることを確認してください。 ● 次の更新プログラム(KB975823)を下記の URL からダウンロードして、インストールします。 ● 32bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=2d1abe01-0942-4f8a-abb2-2ad529de00a1 ● 64bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=7d54c53f-017c-4ea5-ae08-34c3452ba315
Windows 7	<p>次の更新プログラム(KB976422)を下記の URL からダウンロードして、インストールします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 32bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=3ee91fc2-a9bc-4ee1-aca3-2a9aff5915ea ● 64bit 版 http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=73f766dd-7127-4445-b860-47084587155f
Mac OS X 10.4 Tiger / Mac OS X 10.5 Leopard	対応していません。
Mac OS X 10.6 Snow Leopard	OS バージョン 10.6.5 以上にアップデートしてください。

タッチパネルの使いかた

選択しているモードで使用できる操作ボタン、サムネイル、メニューがタッチパネルに表示されます。

- タッチパネルには「タッチ」と「なぞる」の2つの操作があります。以下は操作例です。



メモ：

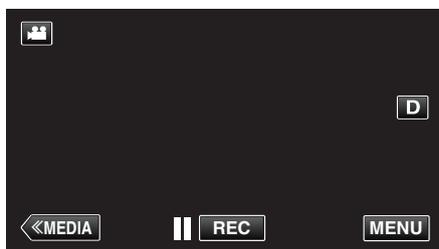
- 本機のタッチパネルは圧力を検出するタイプです。スムーズに動かないときは、少し強めに指を押し当てながら操作してください。
- タッチパネル上のボタン(アイコン)は正確にタッチしてください。タッチする場所によっては正しく反応しないことがあります。
- 必要以上に強く押ししたり、こすったりしないでください。
- 先の鋭い物やかたい物で操作しないでください。
- 2箇所以上同時に押すと、誤動作の原因になります。
- 画面をタッチしたとき、タッチパネルの反応する位置がずれている場合は、「タッチパネル調整」を行ってください。(SDカードの角などで軽くタッチして調整してください。先の鋭い物で押ししたり、強く押ししたりしないでください。)

"タッチパネルの調整をする" (p. 8)

タッチパネルの調整をする

タッチパネルのボタンをタッチしたときの反応位置を調整します。

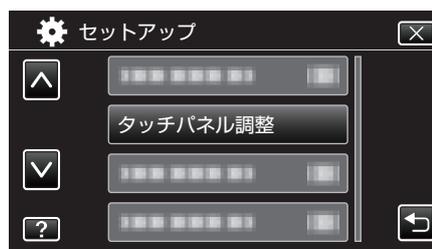
1 "MENU"をタッチする



2 "セットアップ"をタッチする



3 "タッチパネル調整"をタッチする



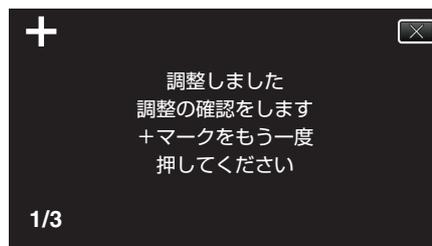
- タッチパネルの調整画面が表示されます。

4 "+"をタッチする(合計3回)



- "+"をタッチすると、"+"の位置が移動しますので、続けてタッチしてください。
- "+"マーク以外の場所をタッチすると、エラーが検出されます。必ず、"+"マーク部分をタッチしてください。

5 調整された位置を確認するため、再度 "+"をタッチする(合計3回)



- "+"をタッチすると、"+"の位置が移動しますので、続けてタッチしてください。

6 "OK"をタッチする



- 設定が完了し、メニュー画面に戻ります。

ご注意：

- タッチパネルの調整中(手順4~5)は、"+"マーク以外の場所をタッチしないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる可能性があります。

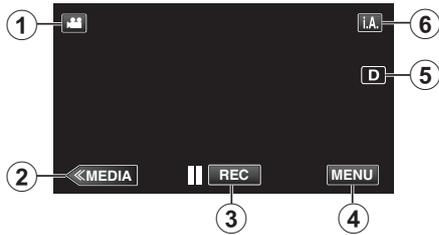
メモ：

- SDカードの角などで軽くタッチして調整してください。
- 先の鋭い物で押ししたり、強く押ししたりしないでください。

液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき

動画モードと静止画モードで、以下の画面が表示され、タッチパネルとして使用できます。

撮影画面(動画/静止画)



- 1 (動画/静止画) 切換ボタン
 - 動画モード(60i/60p)と静止画モードを切り換えます。
- 2 メディア切換ボタン
 - メディア(再生)モードに切り換えます。
- 3 録画開始/停止ボタン
 - REC: 動画撮影開始ボタン
 - REC: 動画撮影停止ボタン
 - : 静止画撮影ボタン
- 4 メニューボタン

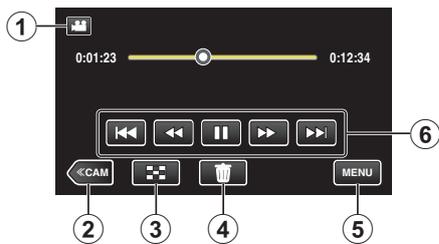
"メニュー操作のしかた" (☞ p. 102)
- 5 画面表示切換ボタン

ボタンをタッチするたびにフル表示(D?)とシンプル表示(D)を切り換えることができます。

 - シンプル表示: 一部の表示は約3秒間で消えます。
 - フル表示: すべてを表示させることができます。画面表示切換ボタンがDからD?に変わります。
 - 電源を切るとシンプル表示(D)になります。
- 6 撮影モード切換ボタン

撮影モード(インテリジェントオート i.A./マニュアル M)を切り換えます。

再生画面(動画)



- 1 (動画/静止画) 切換ボタン
 - 動画モード(60i/60p)と静止画モードを切り換えます。
- 2 カメラ切換ボタン
 - カメラ(撮影)モードに切り換えます。
- 3 一覧表示(サムネイル表示)ボタン

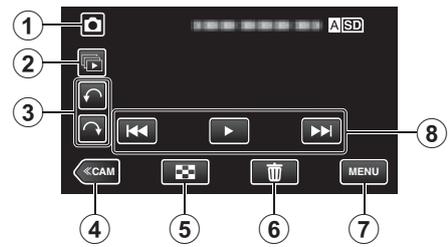
"動画再生の操作ボタン" (☞ p. 49)
- 4 削除ボタン

"表示(再生)しているファイルを削除する" (☞ p. 63)
- 5 メニューボタン

"メニュー操作のしかた" (☞ p. 102)
- 6 操作ボタン

"動画再生の操作ボタン" (☞ p. 49)

再生画面(静止画)



- 1 (動画/静止画) 切換ボタン
 - 動画モード(60i/60p)と静止画モードを切り換えます。
- 2 グループ再生ボタン

連写した静止画を連続再生します。
- 3 画像回転ボタン

静止画を90°回転します。(時計回り/反時計回り)
- 4 カメラ切換ボタン
 - カメラ(撮影)モードに切り換えます。
- 5 一覧表示(サムネイル表示)ボタン

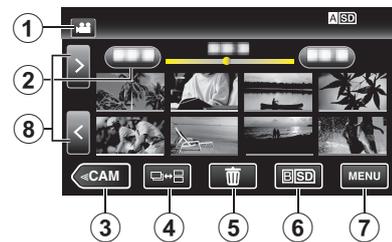
"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 56)
- 6 削除ボタン

"表示(再生)しているファイルを削除する" (☞ p. 63)
- 7 メニューボタン

"メニュー操作のしかた" (☞ p. 102)
- 8 操作ボタン

"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 56)

一覧表示(サムネイル表示)画面



- 1 (動画/静止画) 切換ボタン
 - 動画モード(60i/60p)と静止画モードを切り換えます。
- 2 日付ボタン

"動画再生の操作ボタン" (☞ p. 49)
"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 56)
- 3 カメラ切換ボタン
 - カメラ(撮影)モードに切り換えます。
- 4 静止画切換ボタン(静止画のみ)

"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 56)
- 5 削除ボタン

"選んで削除する" (☞ p. 63)
- 6 再生メディアボタン

SDカードのスロットを切り換えます。
- 7 メニューボタン

"メニュー操作のしかた" (☞ p. 102)
- 8 ページ送り/戻しボタン

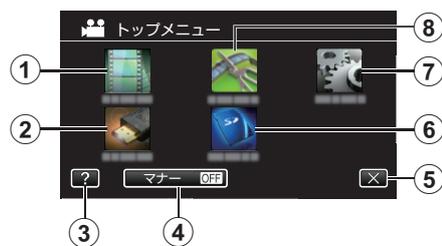
"動画再生の操作ボタン" (☞ p. 49)
"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 56)

メニュー画面(撮影モード)



- 1 撮影設定メニュー
"撮影設定メニュー(動画)" (☞ p. 103)
- 2 ショートカットメニュー
"ショートカットメニューの操作のしかた" (☞ p. 102)
- 3 出力設定メニュー
"出力設定(動画/静止画共通)" (☞ p. 116)
- 4 ヘルプボタン
?(ヘルプ)ボタンをタッチし、項目をタッチすると説明を表示します。
- 5 マナーボタン
"マナーモード機能を使う" (☞ p. 23)
- 6 インフォボタン
"残量時間を確認する" (☞ p. 47)
- 7 終了ボタン
メニューを終了します。
- 8 メディア設定メニュー
"メディア設定(動画/静止画共通)" (☞ p. 117)
- 9 セットアップメニュー
"セットアップ(動画/静止画共通)" (☞ p. 114)
- 10 お楽しみ撮影メニュー
"お楽しみ撮影メニュー(動画)" (☞ p. 108)

メニュー画面(再生モード)



- 1 再生設定メニュー
"再生設定メニュー(動画)" (☞ p. 112)
"再生設定メニュー(静止画)" (☞ p. 113)
- 2 出力設定メニュー
"出力設定(動画/静止画共通)" (☞ p. 116)
- 3 ヘルプボタン
?(ヘルプ)ボタンをタッチし、項目をタッチすると説明を表示します。
- 4 マナーボタン
"マナーモード機能を使う" (☞ p. 23)
- 5 終了ボタン
メニューを終了します。
- 6 メディア設定メニュー
"メディア設定(動画/静止画共通)" (☞ p. 117)
- 7 セットアップメニュー
"セットアップ(動画/静止画共通)" (☞ p. 114)
- 8 編集メニュー
"編集メニュー(動画)" (☞ p. 112)
"編集メニュー(静止画)" (☞ p. 113)

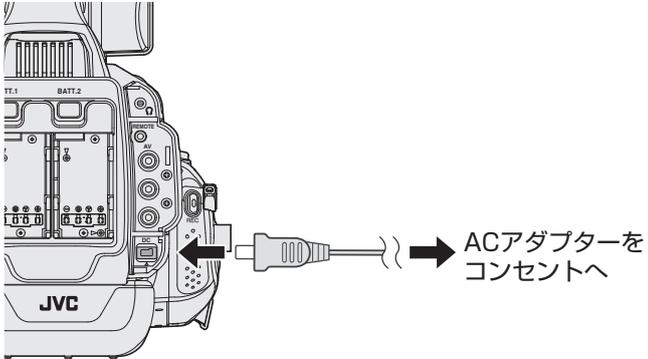
電源を入れる/切る

電源を入れる

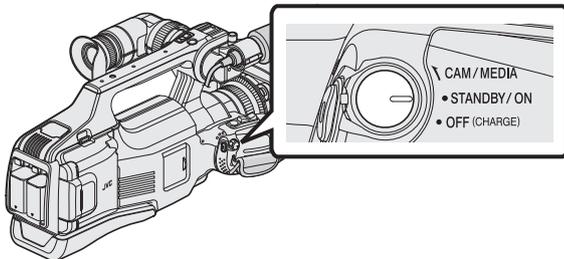
- バッテリーを使用する場合は、「バッテリーを充電する」(☞ p. 5) をご覧ください。

■ AC アダプターを接続する場合

- 1 "DC"端子に AC アダプターをつなぐ



- 2 "STANDBY/ON OFF"スイッチを "ON"にする

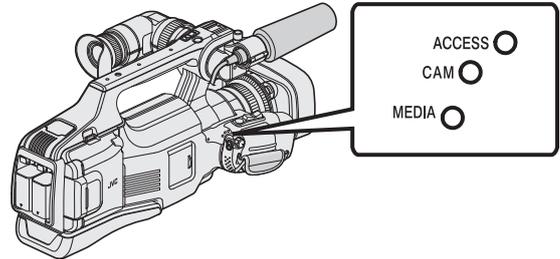


- 本機に電源が供給されカメラモードになります。
- 電源を入れると、必ずカメラモードになります。

■ "CAM/MEDIA"動作モードとランプの状態について

"CAM/MEDIA"動作モード選択スイッチで、モードが切り換わります。このとき、「CAM」ランプと「MEDIA」ランプが下記の状態になります。

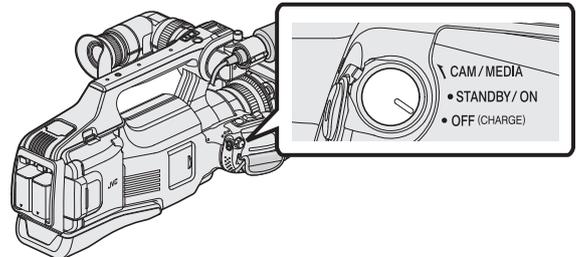
モード	"CAM"ランプ	"MEDIA"ランプ
カメラモード時	赤く点灯	消灯
メディアモード時	消灯	赤く点灯



- メディアモードへ切り換える場合、「CAM/MEDIA」選択スイッチを回すか、または「CAM/MEDIA」ボタンを押します。(タッチパネルの "<<CAM/<<MEDIA"ボタンでも切り換えることができます)

電源を切るには

- 1 "STANDBY/ON OFF"スイッチを "OFF"にする



■ オートパワーオフ機能

バッテリーだけで動作している場合、共通メニューの「オートパワーオフ」を「入」に設定すると、5分以上操作および動作しないと、自動的に電源を切ります。

"オートパワーオフ" (☞ p. 115)

メモ:

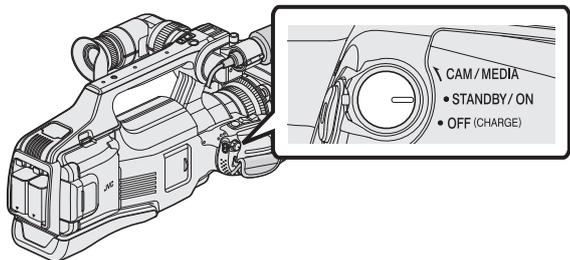
- バッテリーと AC アダプター両方が接続されている場合は、AC アダプター接続が優先されます。そのため、「オートパワーオフ」機能は有効になりません。

時計を合わせる

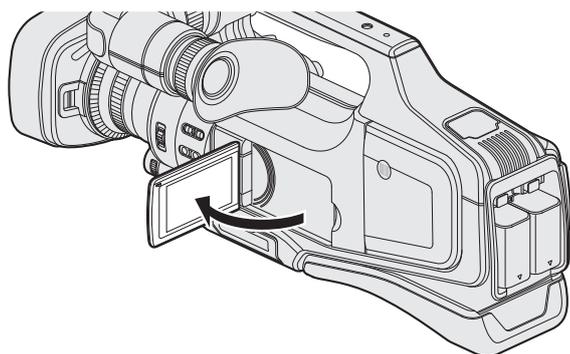
ご購入後初めて電源を入れたときは、「時計を合わせてください」と表示されます。

撮影前に時計を合わせておきましょう。

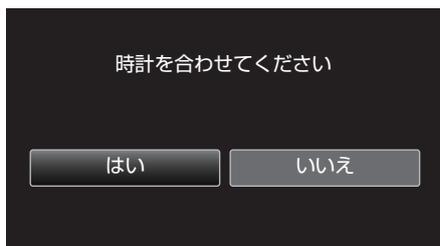
- 1 "STANDBY/ON OFF"スイッチを "ON"にする



- 2 液晶モニターを開く



- 3 "時計を合わせてください"が表示されたら、「はい」をタッチする



- 4 日時を設定する



- 年、月、日、時、分の項目をタッチすると、「^」と「v」が表示されます。
- ^またはvをタッチして、年、月、日、時、分を合わせます。

- 5 日時設定が終わったら、「決定」をタッチする

- 6 お住まいの地域を選び、「保存」をタッチする



- 都市名と世界標準時(グリニッジ標準時)との時差が表示されます。
- <または>をタッチして、都市名を選んでください。
例)日本国内の場合、都市名は「東京」

メモ: _____

- 一度設定したあとに、時計を合わせ直すこともできます。

"時計を合わせ直すときは" (p. 12)

- 海外で使うときは、その地域の時間に合わせて撮影できます。

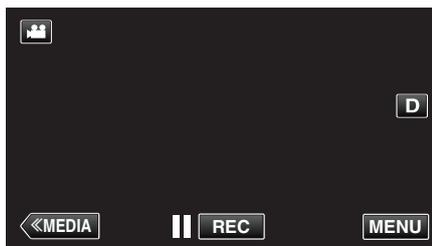
"時差のある地域で使うとき" (p. 17)

- 時計を設定したあとに、「時計を合わせてください」が表示されるときは、内蔵の時計用電池の容量がなくなっています。電池交換については、お買い上げの販売店、または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

時計を合わせ直すときは

メニューの "時計合わせ" から時計を合わせてください。

- 1 "MENU"をタッチする



- 2 "セットアップ"をタッチする



- 3 "時計合わせ"をタッチする



- ^またはvをタッチすると、画面をスクロールできます。

- 4 "日時設定"をタッチする



5 日時を設定する



- 年、月、日、時、分の項目をタッチすると、"∧"と"∨"が表示されます。
- ∧または∨をタッチして、年、月、日、時、分を合わせます。

6 日時設定が終わったら、"決定"をタッチする

7 お住まいの地域を選び、"保存"をタッチする

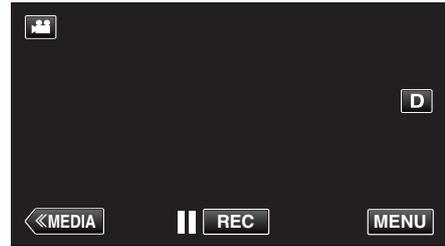


- 都市名と世界標準時(グリニッジ標準時)との時差が表示されます。
- <または>をタッチして、都市名を選んでください。

表示言語を変更する

メニューなどで表示する言語を設定します。

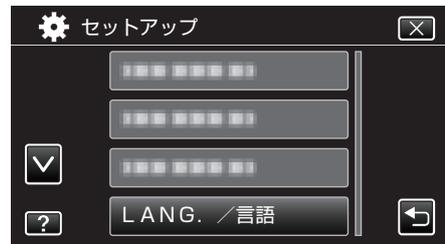
1 "MENU"をタッチする



2 "セットアップ"をタッチする



3 "LANG./言語"をタッチする



- ∧または∨をタッチすると、画面をスクロールできます。

4 変更する言語をタッチする



- ∧または∨をタッチすると、画面をスクロールできます。

メモ:

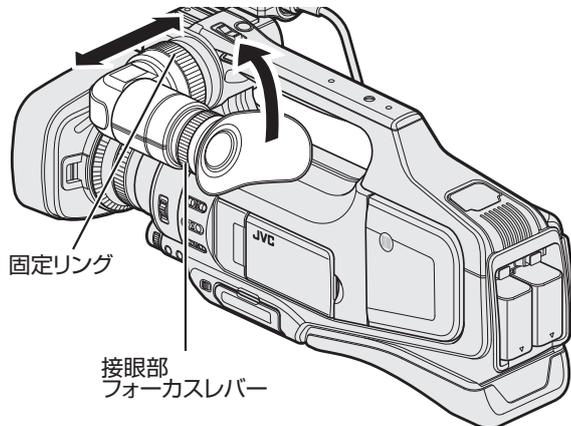
- 日本語/英語/フランス語/スペイン語/ポルトガル語/中国語(簡体)に対応しています。

ビューファインダー/液晶モニターで見る

本機は、ビューファインダーまたは液晶モニターで映像をモニターできます。

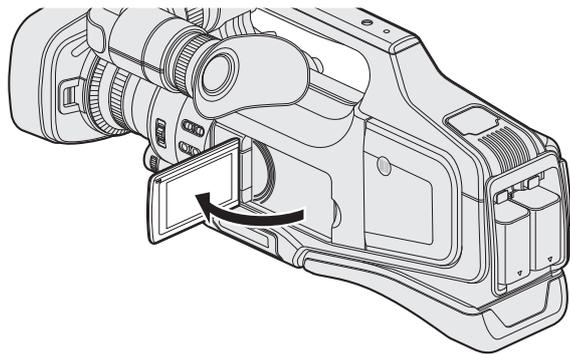
■ ビューファインダーで見る

- 1 ビューファインダーを見やすい位置に調整する
- 2 固定リングを緩めて左右方向に位置を調整します。
- 3 接眼部フォーカスレバーをまわしてフォーカス調整する



■ 液晶モニターで見る

- 1 液晶モニターを開く
- 2 液晶モニターを見やすい位置に調整する

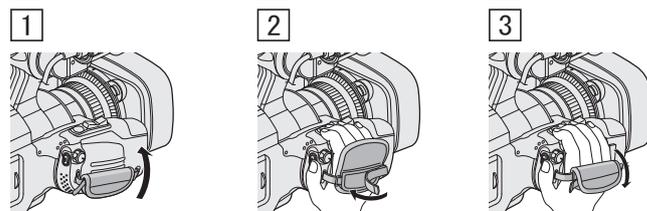


メモ： _____
• 液晶モニターを開いているときは、ビューファインダーには映像が表示されません。

■ 液晶モニターの明るさを調整する

"セットアップ"メニューの"モニター明るさ"で設定します。
"モニター明るさ" (p. 114)

グリップベルトを調節する



- 1 パッドをめくる
- 2 ベルトの長さを調節する
- 3 パッドをしめる

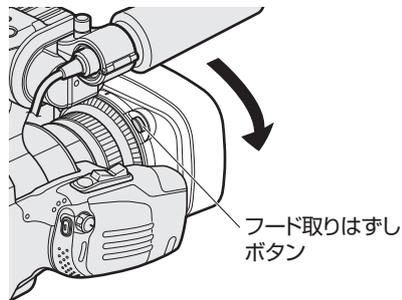
ご注意： _____

- グリップベルトはしっかりとしめてください。ゆるんでいると、落下によるけがや故障の原因になります。

フードをはずす

レンズ前面にテレコンバータ、ワイドコンバータまたはフィルターを取り付ける場合は、フードをはずしてください。

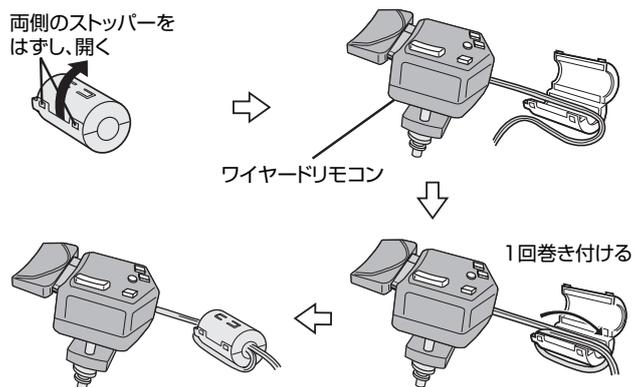
- フード背面の取りはずしボタンを押しながら、反時計方向にまわすと、フードがはずれます。



- フードを取り付けるときはフードをレンズ側に押しつけながら時計方向に回してください。

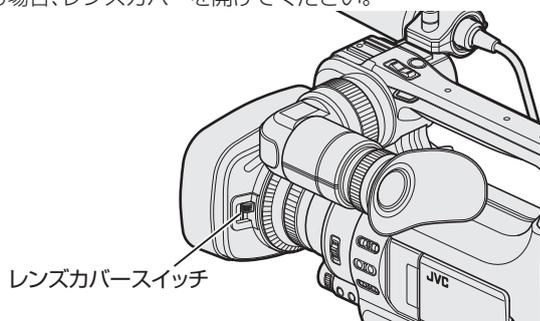
フェライトコアを取付ける

ワイヤードリモコン (VariZoom 社製: HZ-HM150VZRJ) をお使いになる場合は、ワイヤードリモコンのケーブルにフェライトコアを取り付けてください。



レンズカバーを開ける

レンズカバーの開閉は、レンズカバースイッチで行います。撮影する場合、レンズカバーを開けてください。



メモ:

- 本機を使用しないときは、レンズを保護するため、レンズカバーを閉じてください。
- レンズカバーを強く押さないでください。レンズやカバーが破損するおそれがあります。

リモコンを準備する

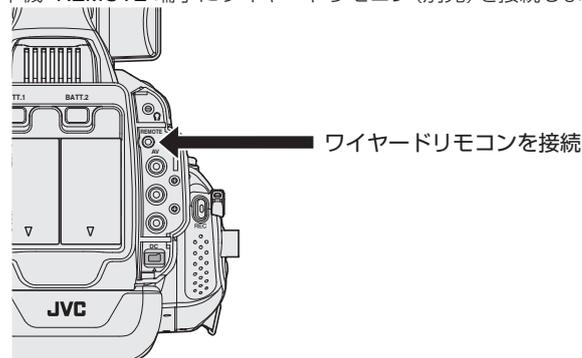
本機の機能をワイヤードリモコンを使用して操作します。

使用可能なワイヤードリモコン:

VariZoom 社製 HZ-HM150VZRJ (2014年8月現在)

1 本機にワイヤードリモコンを接続する

本機 "REMOTE" 端子にワイヤードリモコン (別売) を接続します。



2 本機の電源を ON にする

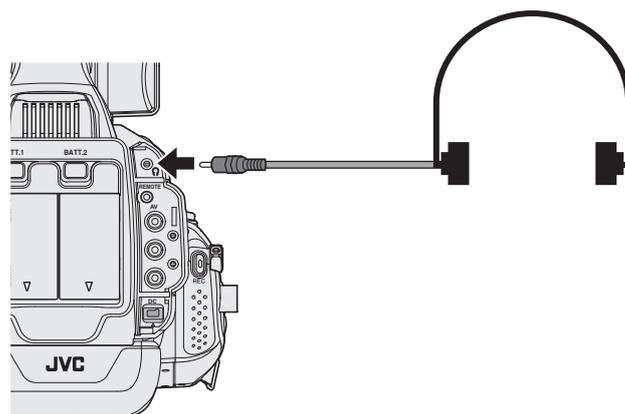
ご注意:

- ワイヤードリモコンを接続するときは、本機の電源を切ってください。

ヘッドホンの取り付けかた

別売のヘッドホンを取り付けることができます。

1 ヘッドホンヘッドホン端子につなぐ

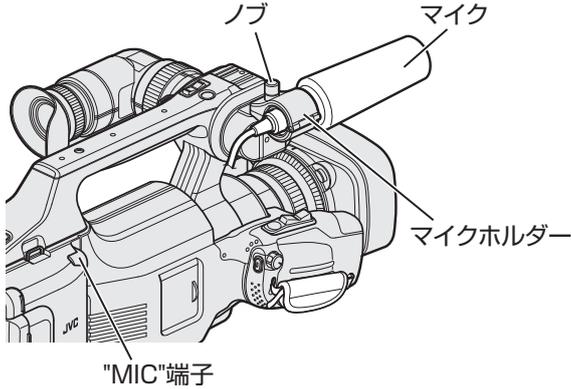


メモ:

- "ADJ."ダイヤルで、ヘッドホンの音量を調節できます。(音声出力端子を使用中の場合は、音量の調整はできません)
- 内蔵スピーカーはメディアモード時のみ使用できます。カメラモード時、内蔵スピーカーから音声はできません。
- カメラモード時とメディアモード時の音声レベルはそれぞれ独立して調整されます。
- メディアモード時、ヘッドホン音量とスピーカー音量は同時に調整されます。
- 内蔵スピーカーはヘッドホン端子が接続されている場合は使用できません。

外部マイクの取り付けかた

マイクホルダーに別売りのマイクを取り付けます。

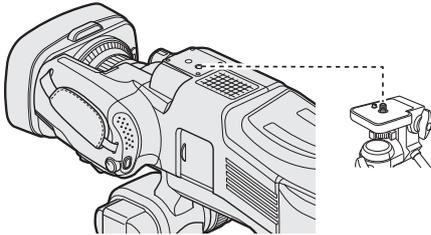


- 1 マイクホルダーのノブを反時計方向に回してゆるめ、マイクホルダーを開く
- 2 マイクをマイクホルダーにセットする
- 3 マイクホルダーのノブを時計方向に回してマイクを固定する
- 4 "MIC"端子にマイクのケーブルをつなぐ

メモ： _____
 • ファントムマイクは対応していません。プラグインパワー対応のマイクをお使いください。

三脚の取り付けかた

本機に三脚(または一脚)を取り付けできます。手ぶれを防ぎたいときや、同じ位置からの撮影をするときに便利です。



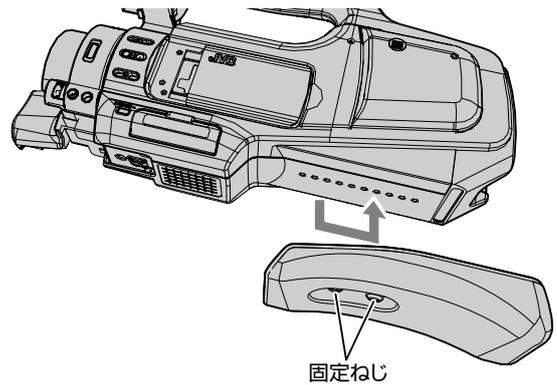
- 落下を防ぐために、取り付け前に本機側の三脚取り付け用のネジ穴と、位置決め穴の位置をよく確認し、ネジを回してしっかりと取り付けてください。

ご注意： _____
 • 落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚(または一脚)の説明書をご覧になり、確実に取り付けてください。

- メモ： _____
- 手ぶれしやすい状況(暗いところやズームが望遠側のとき)で撮影するときは、三脚や一脚を使って撮影することをおすすめします。
 - 三脚を使って撮影するときは、手ぶれ補正を"切"にしてください。
- "手ぶれを補正して撮影する" (☞ p. 38)

ショルダーパッドの位置を調整する

ショルダーパッドの固定ねじ2本を完全に緩めて、前後の位置を変えてから、固定ねじを締めてください。



海外で使うときは

訪問国や地域によって電源コンセントの形状が異なります。充電するには、コンセントの形状に合った変換プラグが必要になります。"海外で充電するとき" (☞ p. 16)
 "時計合わせ"の"地域設定"で、旅行先を選ぶと、日時表示が現地時刻に変わります。
 "時差のある地域で使うとき" (☞ p. 17)
 "時計合わせ"の"サマータイム設定"で、サマータイムを"ON"にすると、時間が1時間進みます。
 "旅行先がサマータイムのとき" (☞ p. 17)

海外で充電するとき

訪問国や地域によって電源コンセントの形状が異なります。充電するには、コンセントの形状に合った変換プラグが必要になります。

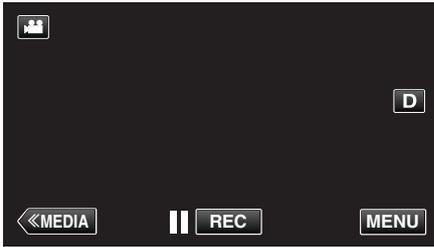
A	B	BF	C	O

北米	ヨーロッパ	オセアニア	中近東
アメリカ合衆国 A	アイスランド C	オーストラリア O	イスラエル C
カナダ A	アイルランド C	グアム A	イラン C
メキシコ A	イギリス B,BF	タヒチ C	クウェート B,C
	イタリア C	トンガ O	ヨルダン B,BF
アジア	オーストリア C	ニュージーランド O	
日本 A	オランダ C	フィジー O	アフリカ
インド B,C,BF	カナリア諸島 C		アルジェリア A,B,BF,C
インドネシア C	ギリシャ C	中南米	エジプト B,BF,C
シンガポール B,BF	スイス C	アルゼンチン O	ギニア C
スリランカ B,C,BF	スウェーデン C	コロンビア A	ケニア B,C
タイ A,BF,C	スペイン A,C	ジャマイカ A	タンザニア B,BF
大韓民国 A,C	デンマーク C	マリ B,C	タンザニア B,BF
中華人民共和国	ドイツ C	ハイチ A	南アフリカ共和国
	A,B,BF,C,O	リトウェニア C	
ネパール C	ハンガリー C	バハマ A	
パキスタン B,C	フィンランド C	バハマ A	王ザンベーク C
バングラデシュ C	フランス C	ブラジル A,C	モロッコ C
フィリピン A,BF,O	ベルギー C	ベネズエラ A	
ベトナム A,C	ポーランド B,C	ペルー A,C	
香港特別行政区 B,BF	ポルトガル B,C		
マカオ特別行政区 B,C	ルーマニア C		
マレーシア B,BF,C			

時差のある地域で使うとき

"時計合わせ"の"地域設定"で、旅行先を選ぶと、日時表示が現地時刻に変わります。
旅行などから戻ったときは、ご使用になる地域を元に戻してください。

1 "MENU"をタッチする



2 "セットアップ"をタッチする



3 "時計合わせ"をタッチする



- 上または下をタッチすると、画面をスクロールできます。

4 "地域設定"をタッチする



5 旅行先の地域を選び、"保存"をタッチする



- 都市名と世界標準時(グリニッジ標準時)との時差が表示されます。
- 左または右をタッチして、都市名を選んでください。

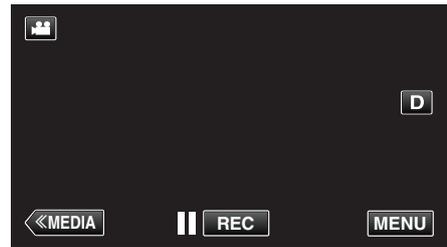
メモ：――

- "地域設定"をすると、時差を補正した時刻に変更されます。
自国へ戻ったときも、最初に設定した地域を選び直すことで、時計の設定が元に戻ります。

旅行先がサマータイムのとき

"時計合わせ"の"サマータイム設定"で、サマータイムを"ON"にすると、時間が1時間進みます。

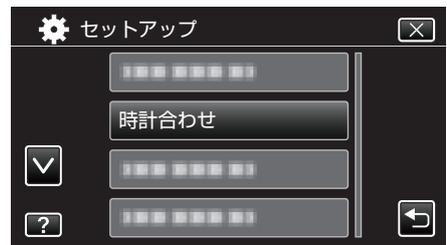
1 "MENU"をタッチする



2 "セットアップ"をタッチする

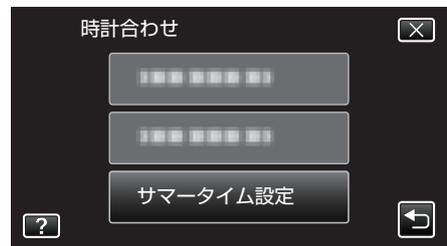


3 "時計合わせ"をタッチする

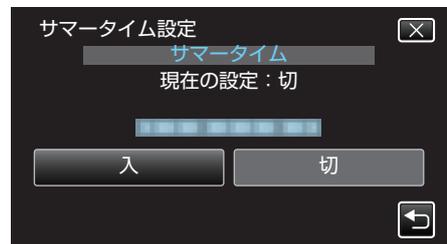


- 上または下をタッチすると、画面をスクロールできます。

4 "サマータイム設定"をタッチする



5 "入"をタッチする



メモ：――

- サマータイムとは？
夏の一定期間の時計を1時間進める制度をサマータイムと呼びます。
日照時間を有効に使うため、主に欧米諸国で採用されています。
- 旅行から戻ったときは、サマータイム設定を元に戻してください。

別売アクセサリ

別売のバッテリーパックなどをお使いになれば、長時間の撮影も可能になります。

品名	説明
バッテリーパック BN-VF815 BN-VF823	● 予備のバッテリーとしてお使いいただけます。
バッテリーチャージャー AA-VF8	● 本機を使わずに、バッテリーを充電できます。

メモ： _____

- 地域によっては、上記の別売アクセサリが対応していない場合があります。
- 詳しくは、カタログ、ホームページをご覧ください。
- 付属品については、「付属品を確かめる」をご覧ください。

"付属品を確かめる" (p. 4)

撮影時間の目安(バッテリー使用時)

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間 (最大撮影時間)
BN-VF815	1 時間	2 時間
BN-VF823 (付属)	1 時間 35 分	3 時間 5 分

- 上記の撮影時間は、バッテリーを 1 個使用した場合の時間です。
- "モニター明るさ"が "3" (標準)、"システムセレクト"が "6 0 i"のときの値です。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入/切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなる場合があります。(撮影予定時間の約 3 倍分のバッテリーを用意することをおすすめします)
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

撮影モードを選択する

インテリジェントオート/マニュアル撮影モードを選択する

撮影の調整モードはインテリジェントオートとマニュアルの2つのモードがあります。

■ インテリジェントオート撮影モードにする

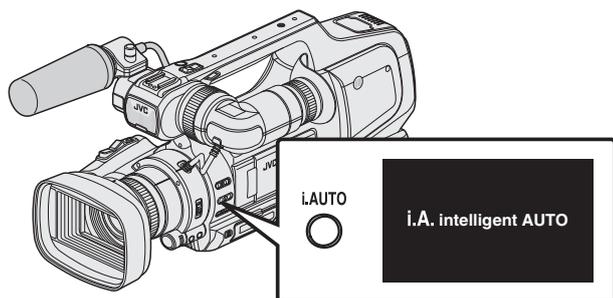
"i.AUTO"ボタンを1回押すと、現在の撮影モードが表示されます。モード表示中、"i.AUTO"ボタンを押すと設定が変わります。

メモ：

タッチパネルでもインテリジェントオート/マニュアル撮影モードを選択できます。

i.A.(インテリジェントオート)または**M**(マニュアル)をタッチすると、選択画面が表示されます。設定したいモードのアイコンをタッチしてください。

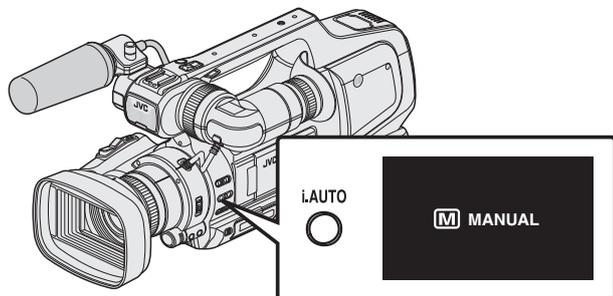
- "i.AUTO"ボタンを何回か押して、画面に **i.A.intelligent AUTO** を表示させる



- 明るさ、絞り、シャッタースピード、ホワイトバランスなどを自動で調整します。
- インテリジェントオートでも、フォーカスと明るさは手で調整できます。

■ マニュアル撮影モードにする

- "i.AUTO"ボタンを何回か押して、画面に **M MANUAL** を表示させる



- マニュアル撮影モードにしても、絞りアイコンやシャッタースピードアイコンが消えている場合、絞りやシャッタースピードはオートで動作します。
- シャッタースピードをマニュアルで動作させる場合は、"SHUTTER"ボタンを押し、"ADJ."ダイヤルで値を可変できます。

"シャッタースピードを調整する" (p. 31)

- 絞りをマニュアルで動作させる場合は、"IRIS"ボタンを押し、"ADJ."ダイヤルで値を可変できます。

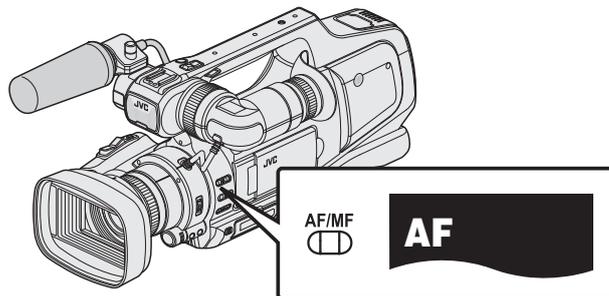
"絞りを調整する" (p. 31)

フォーカス調整モードを選択する

フォーカス調整方法は、オートとマニュアルの2つがあります。

■ オートフォーカスモードにする

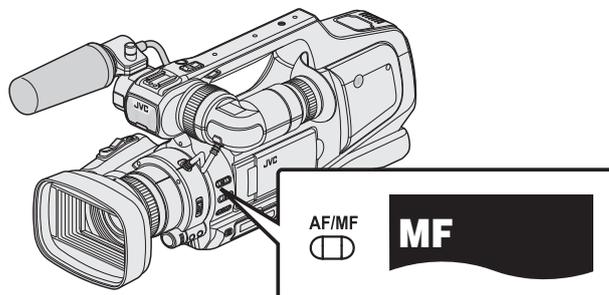
- AF/MF ボタンを押して、画面にオートフォーカスのアイコン(AF)を表示させる



- 自動でピントをあわせませす。

■ マニュアルフォーカスモードにする

- AF/MF ボタンを押して、画面にマニュアルフォーカスのアイコン(MF)を表示させる



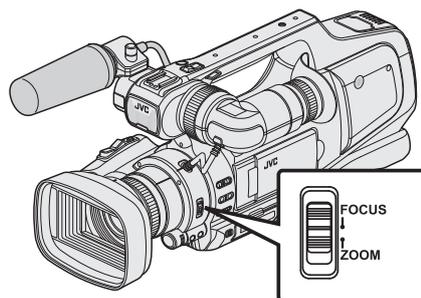
- 手でピントをあわせませす。
"手でピントをあわせる" (p. 28)

リング動作モードを選択する

フォーカス/ズームリングの動作を設定できます。

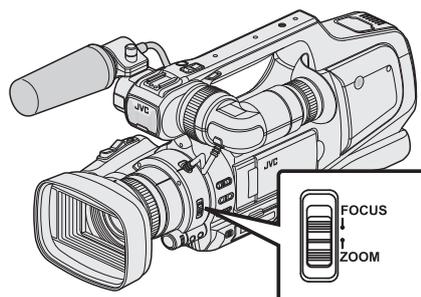
■ フォーカスリングにする

- リング動作切換スイッチを"FOCUS"にする



■ ズームリングにする

- リング動作切換スイッチを"ZOOM"にする



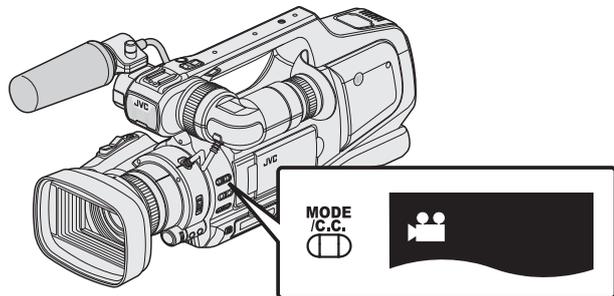
動画/静止画撮影モードを選択する

撮影モードは、動画撮影と静止画撮影の2つがあります。

■ 動画撮影モードにする

本機の電源を入れたときは、動画撮影モードになります。
静止画撮影モードになっている場合は、"MODE"ボタンを押して、動画撮影モードに切り換えます。

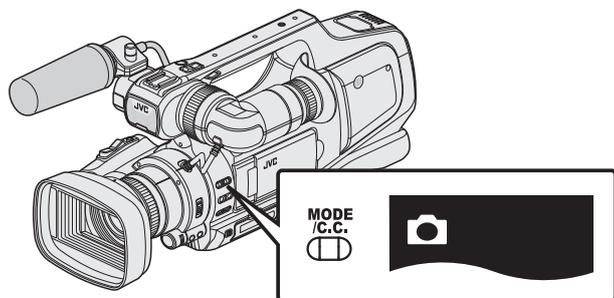
- 1 "MODE"ボタンを押して、画面に動画撮影のアイコン(📹)を表示させる



- 動画撮影ができます。
"動画をオートで撮影する" (📹 p. 21)

■ 静止画撮影モードにする

- 1 "MODE"ボタンを押して、画面に静止画撮影のアイコン(📷)を表示させる



- 静止画撮影ができます。
"静止画をオートで撮影する" (📷 p. 25)

メモ:

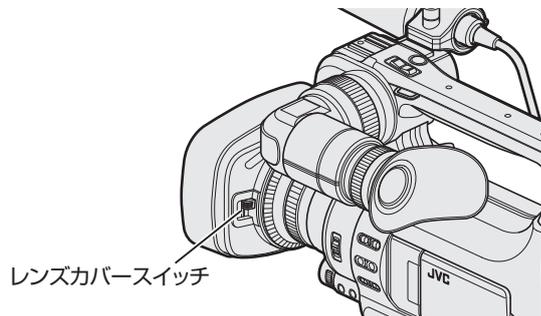
タッチパネルでも動画/静止画撮影モードを選択できます。
📹(動画)または📷(静止画)をタッチすると、選択画面が表示されます。設定したいモードのアイコンをタッチしてください。
なお、60iモード(interlace)と60pモード(progressive)は、"MODE"ボタンでは切り換えることができません。

動画をオートで撮影する

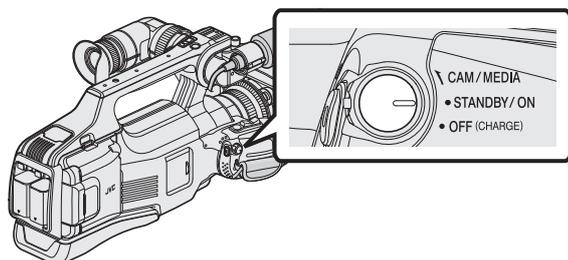
インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせずに気軽に撮影できます。撮影状況に応じて、明るさなどを自動的に調整します。

- 大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

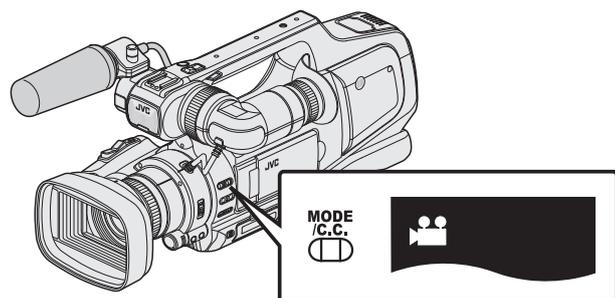
1 レンズカバーを開ける



2 "STANDBY/ON OFF"スイッチを "ON"にする

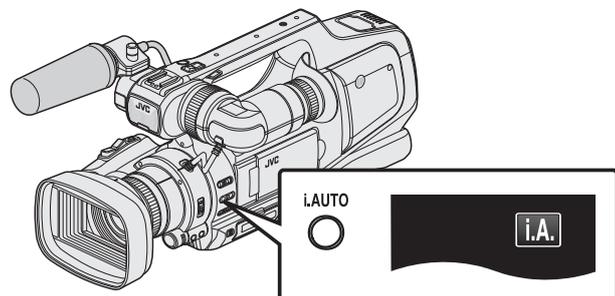


3 動画モードか確認する



- 動画モード  になっているか確認します。
- 静止画モード  になっているときは、動画モード()に切り換えてください。

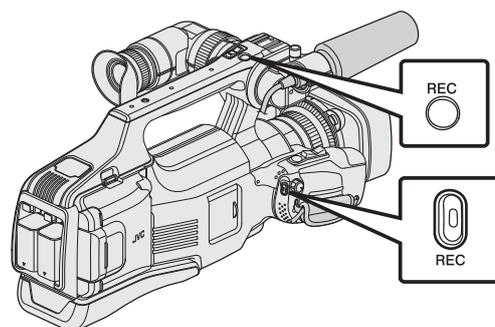
"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

4 撮影モードがインテリジェントオート **i.A.** か確認する

- マニュアル  になっているときは、インテリジェントオート **i.A.** に切り換えてください。

"インテリジェントオート/マニュアル撮影モードを選択する" (p. 19)

5 撮影を開始する



- もう一度押すと撮影を停止します。
- 一部の表示は約3秒間で消えます。D ボタンを使って表示を切り換えられます。
- ビューファインダーを使って撮影するときは、液晶モニターを閉じてください。

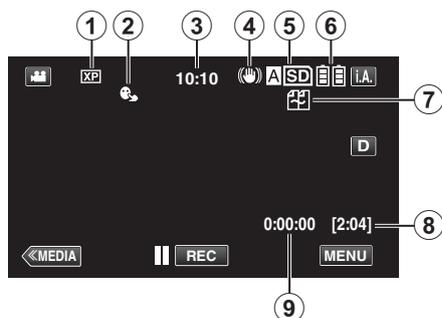
"ビューファインダー/液晶モニターで見る" (p. 14)

- 撮影が終わったら、レンズカバーを閉じてください。

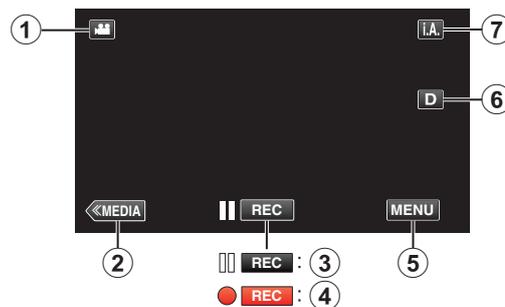
メモ：

- 被写体や撮影状況によっては、インテリジェントオートでも正しく撮影できないことがあります。

動画撮影時の画面表示



動画撮影時の操作ボタン



表示アイコン	説明
① 動画画質	撮影メニューの"動画画質"で設定している画質のアイコンを表示します。 "動画画質" (☞ p. 104)
② タッチ優先A E / A F	"タッチ優先A E / A F"の設定を表示します。お買い上げ時は"切"に設定されています。"被写体をきれいに撮影する(タッチ優先A E / A F)" (☞ p. 35)
③ 時刻	現在時刻を表示します。 "時計を合わせる" (☞ p. 12)
④ 手ぶれ補正	手ぶれ補正設定を表示します。 "手ぶれを補正して撮影する" (☞ p. 38)
⑤ 記録メディア	動画を記録するメディアのアイコンを表示します。記録メディアは変更できます。"動画記録スロット" (☞ p. 117) デュアル記録時は(DUALのアイコン)を表示します。 "2枚のSDカードに同時記録する(デュアル撮影)" (☞ p. 39)
⑥ バッテリー残量	使用状態におけるバッテリー残量の目安を表示します。 "残量時間を確認する" (☞ p. 47)
⑦ シームレス撮影 / オートリカバリー撮影	シームレス撮影 / オートリカバリー撮影を設定すると表示されます。SDカードが1枚しか入っていないときなど、シームレス撮影およびオートリカバリー撮影ができない状態では、  が表示されます。 • "シームレス撮影"が"切"に設定されているときは、アイコンは表示されません。 "シームレス撮影(シームレス撮影 / オートリカバリー撮影)" (☞ p. 106)
⑧ 撮影可能時間	動画撮影が可能な残り時間を表示します。 "残量時間を確認する" (☞ p. 47) デュアル記録時はABそれぞれのスロットのSDカードの記録可能時間を表示します。 "2枚のSDカードに同時記録する(デュアル撮影)" (☞ p. 39)
⑨ シーンカウンター (撮影した時間)	現在撮影している動画の撮影経過時間を表示します。 デュアル記録時はABそれぞれのスロットのSDカードの撮影経過時間を表示します。 "2枚のSDカードに同時記録する(デュアル撮影)" (☞ p. 39)

操作ボタン	説明
① 動画/静止画切換	動画モード(60i/60p)と静止画モードを切り換えます。
② メディア切換	メディア(再生)モードに切り換えます。
③ / ④ 撮影開始  REC 撮影停止 	REC ボタンと同じ動作をします。
⑤ MENU	撮影メニュー(動画)が表示されます。 "メニュー操作のしかた" (☞ p. 102)
⑥ 画面表示切換 D	ボタンをタッチするたびにフル表示(Df)とシンプル表示(D)を切り換えることができます。 • シンプル表示:一部の表示は約3秒間で消えます。 • フル表示:すべてを表示させることができます。画面表示切換ボタンが D から Df に変わります。 • 電源を切るとシンプル表示(D)になります。
⑦ 撮影モード切換 i.A./M	撮影モードを切り換えます。

マナーモード機能を使う

マナーモードでは操作音とシャッター音を出ないようにし、撮影モードのときは液晶画面の明るさを次のように設定します。

屋内などの暗い場所	明るさ設定 "1"よりさらに暗くなります。
屋外などの明るい場所	明るさ設定 "4"相当になります。

- "マナーモード"が "入"のときは、が表示されます。

■ 操作手順

- ① "MENU"をタッチする
- トップメニューが表示されます。
- ② "マナー"をタッチする



- ③ "入"をタッチする



撮影するときの便利な設定

- "オートパワーオフ"が "入"のときは、何も操作せずに5分経つと、節電のために電源が自動的に切れます。(バッテリー使用時のみ)
- "オートパワーオフ" (☞ p. 115)
- "タッチ優先 A E / A F"が "顔追尾"のときは、被写体の顔を検出して、ピントや明るさを自動的に合わせてきれいに撮影できます。
- "被写体をきれいに撮影する(タッチ優先 A E / A F)" (☞ p. 35)
- "シームレス撮影"が "入"の場合、SD カードが2枚入っている状態で、記録中のメディアの容量がなくなったとき、または記録中のメディアにエラーが発生したときに、撮影を止めずにもう一方のメディアに続けて記録します。
- "シームレス撮影(シームレス撮影 / オートリカバリー撮影)" (☞ p. 106)
- プログレッシブ(60p)記録すると、なめらかで奥行き感のある高画質な映像を撮影できます。また、動きの速い被写体でもちらつきを抑えてくっきりと撮影できます。
- "システムセレクト" (☞ p. 103)

ご注意 :

- レンズを直射日光などに向けないでください。
- 雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所では、使わないでください。
- 湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使わないでください。
- 本機の温度が上がりすぎると回路保護のため、電源が切れることがあります。
- バッテリーを1個取り付けた状態で撮影している場合、撮影を止めずにもう一方を取り付けることができます。
- バッテリーを2個取り付けている場合、片方または両方のバッテリー残量が残っているときは、もう一方を取りはずしても電源は切れません。
- アクセスランプ点灯中は、AC アダプター、SD カードを取りはずさないでください。記録したデータが読み取れなくなることがあります。
- アクセスランプ点灯中は、電源を切らないでください。記録したデータが読み取れなくなることがあります。
- 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示が出たり、正常に動作しないことがあります。このようなときは、一度電源を切ってから AC アダプターおよびバッテリーを取りはずしてください。本機がリセットされます。
- 60p モード("システムセレクト"を "60p")で記録した動画は、AVCHD Progressive 対応機器でのみ再生できます。

"システムセレクト" (☞ p. 103)

● 免責事項

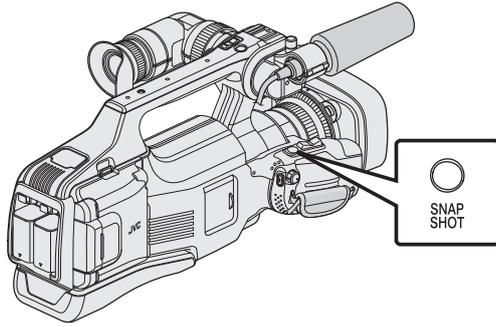
- 本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

メモ :

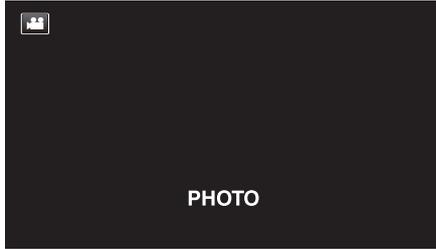
- 記録メディアの残量を確認してから撮影を開始しましょう。記録容量が十分でなければ、パソコンやディスクにデータを移動(保存)しておいてください。
- メディアに多くのファイルが存在する場合、再生時に画面が表示されるまでに時間がかかります。アクセスランプ点滅中は正しく動作していますので、しばらくお待ちください。
- 撮影終了後は、こまめに保存することをおすすめします。
- 仕様上、12時間以上の連続撮影ができませんので、自動的に撮影が停止します。(撮影の再開には、多少時間がかかる場合があります。)
- 長時間の撮影では、自動的に最大4GBのファイルに分割されます。
- 記録できる動画は、**000.mts~**999.mtsの1000シーンです。
- 室内で長時間録画するときには、ACアダプターをつないで撮影することもできます。
- 撮影条件によっては、画面の四隅が暗くなる場合がありますが、故障ではありません。このようなときはズームレバーを動かすなど、撮影条件を変えてご使用ください。

動画撮影中に静止画を撮影する

動画モード(待機中や撮影中)のときに **SNAPSHOT** ボタンを押すと、静止画を撮影できます。



- 静止画の記録中は画面に "PHOTO" が点灯します。



- 動画撮影中に撮影した静止画は、"静止画記録スロット"で設定してある保存先に記録されます。

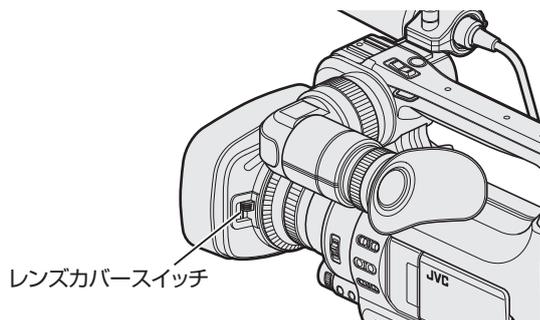
メモ：

- 動画モード中に撮影した静止画のサイズは、1920×1080 になります。
- 以下のような状況では、操作できません：
 - メニューが表示されているとき
 - 残量時間やバッテリー残量が表示されているとき
 - "お楽しみ撮影"のいずれかを設定しているとき
- "動画画質"が "SSW" または "SEW" に設定されているときは、動画モード中に静止画は撮影できません。

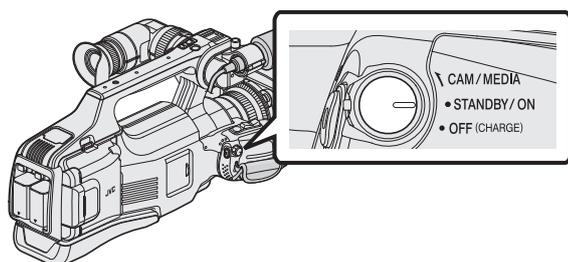
静止画をオートで撮影する

インテリジェントオート撮影を使えば、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。

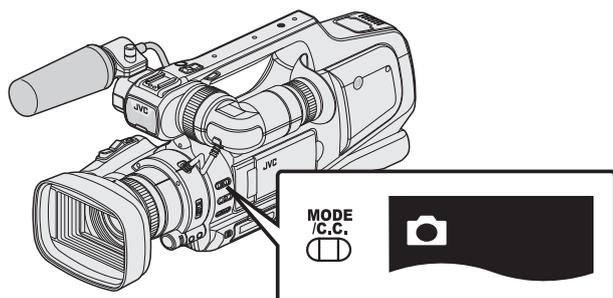
1 レンズカバーを開ける



2 "STANDBY/ON OFF"スイッチを "ON"にする



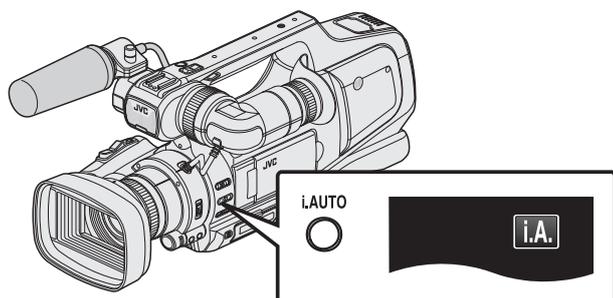
3 静止画モードか確認する



- 静止画モード  になっているか確認します。
- 動画モード  になっているときは、静止画モード()に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (☞ p. 20)

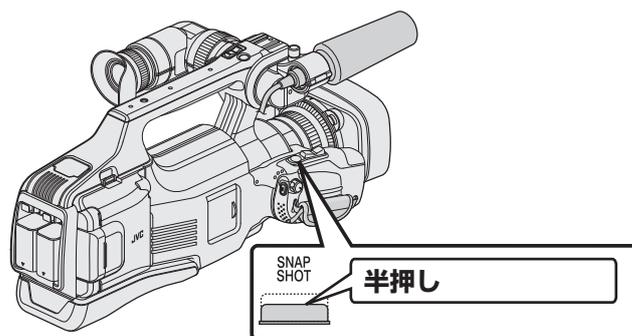
4 撮影モードがインテリジェントオート*i.A.*か確認する



- マニュアル  になっているときは、インテリジェントオート*i.A.*に切り換えてください。

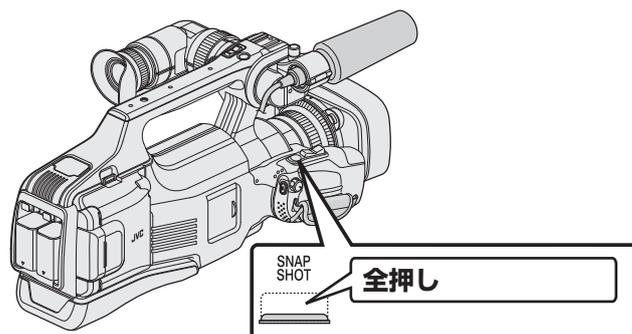
"インテリジェントオート/マニュアル撮影モードを選択する" (☞ p. 19)

5 被写体にピントを合わせる



- ピントが合うと、ピント合わせアイコンが緑色に点灯します。

6 シャッターを切る



- 静止画記録中は、PHOTO が点灯します。
- 一部の表示は約3秒間で消えます。D ボタンを使って表示を切り換えられます。
- ビューファインダーを使って撮影するときは、液晶モニターを閉じてください。

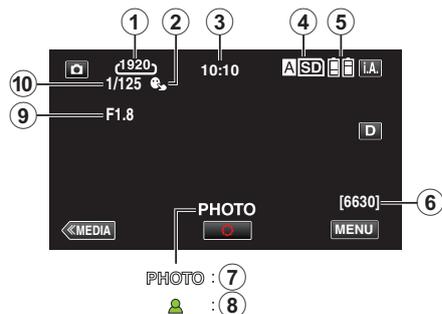
"ビューファインダー/液晶モニターで見る" (☞ p. 14)

- 撮影が終わったら、レンズカバーを閉じてください。

メモ：

- 被写体や撮影状況によっては、インテリジェントオートでも正しく撮影できないことがあります。

静止画撮影時の画面表示



静止画撮影時の操作ボタン



表示アイコン	説明
① 静止画サイズ	静止画サイズのアイコンを表示します。 ● 静止画サイズは変更できません。 "静止画サイズ" (☞ p. 111)
② タッチ優先 A E / A F	"タッチ優先 A E / A F" の設定を表示します。お買い上げ時は "切" に設定されています。"被写体をきれいに撮影する (タッチ優先 A E / A F)" (☞ p. 35)
③ 時刻	現在時刻を表示します。 "時計を合わせる" (☞ p. 12)
④ 記録メディア	静止画を記録するメディアのアイコンを表示します。記録メディアは変更できます。 "静止画記録スロット" (☞ p. 117)
⑤ バッテリー残量	使用状態におけるバッテリー残量の目安を表示します。 "残量時間を確認する" (☞ p. 47)
⑥ 撮影可能枚数	静止画撮影が可能な残り枚数を表示します。 "静止画の撮影可能枚数の目安 (単位: 枚)" (☞ p. 48)
⑦ 静止画記録中	静止画の記録中は "PHOTO" を表示します。
⑧ ピント合わせ	ピントが合うと緑色に点灯します。
⑨ 絞り値	絞り値を表示します。
⑩ シャッタースピード	シャッタースピードを表示します。

操作ボタン	説明
① 動画/静止画切換	動画モード (60i/60p) と静止画モードを切り換えます。
② メディア切換	メディア (再生) モードに切り換えます。
③ 静止画撮影	SNAPSHOT ボタンと同じ動作をします。ただし、半押しでのピント合わせはできません。
④ MENU	撮影メニュー (静止画) が表示されます。 "メニュー操作のしかた" (☞ p. 102)
⑤ 画面表示切換 D	ボタンをタッチするたびにフル表示 (D _F) とシンプル表示 (D) を切り換えることができます。 ● シンプル表示: 一部の表示は約 3 秒間で消えます。 ● フル表示: すべてを表示させることができます。画面表示切換ボタンが D から D _F に変わります。 ● 電源を切るとシンプル表示 (D) になります。
⑥ 撮影モード切換 i.A./M	撮影モードを切り換えます。

マナーモード機能を使う

マナーモードでは液晶画面を暗くし、操作音が出ません。発表会など暗い場所で静かに撮影したいときにお使いください。

- "マナーモード"が"入"のときは、が表示されます。

■ 操作手順

- ① "MENU"をタッチする
- トップメニューが表示されます。
- ② "マナー"をタッチする



- ③ "入"をタッチする



撮影するときの便利な設定

- "オートパワーオフ"が"入"のときは、何も操作せずに5分経つと、節電のために電源が自動的に切れます。(バッテリー使用時のみ)

"オートパワーオフ" (☞ p. 115)

- "タッチ優先A E / A F"が"顔追尾"のときは、被写体の顔を検出して、ピントや明るさを自動的に合わせてきれいに撮影できます。

"被写体をきれいに撮影する(タッチ優先A E / A F)" (☞ p. 35)

ご注意:

- レンズを直射日光などに向けないでください。
- 雨や雪の降る屋外や浴室などの湿度の多い場所では、使わないでください。
- 湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使わないでください。
- 本機の温度が上がりすぎると回路保護のため、電源が切れることがあります。
- アクセスランプ点灯中は、バッテリーやACアダプター、SDカードを取りはずさないでください。記録したデータが読み取れなくなることがあります。
- アクセスランプ点灯中は、電源を切らないでください。記録したデータが読み取れなくなることがあります。
- 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示が出たり、正常に動作しないことがあります。このようなときは、一度電源を切ってからACアダプターおよびバッテリーを取りはずしてください。本機がリセットされます。

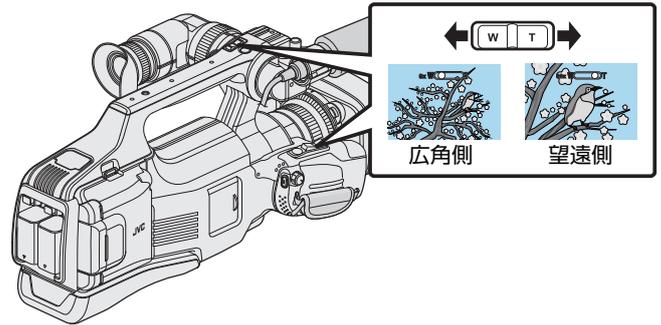
メモ:

- 大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。
- 撮影条件によっては、画面の四隅が暗くなることがありますが、故障ではありません。このようなときはズームレバーを動かすなど、撮影条件を変えてご使用ください。

ズームを使う

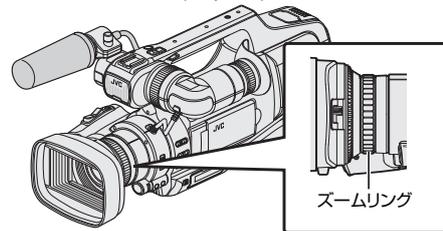
ズームを使うと、画角を調整できます。

- 視野を広く撮影するときは、W側(広角側)にしてください。
- 被写体を大きく撮影するときは、T側(望遠側)にしてください。



リング動作モードを"ZOOM"に設定すると、リングでズーム操作ができます。

"リング動作モードを選択する" (☞ p. 19)



メモ:

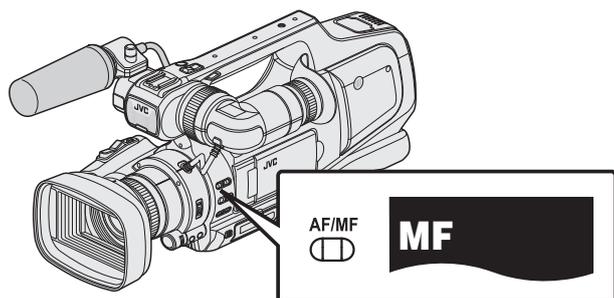
- デジタルズームでは映像を電子的に引き伸ばすため、映像が粗くなります。
- ズーム倍率の範囲は変更できます。

"ズーム倍率" (☞ p. 106)

手でピントをあわせる

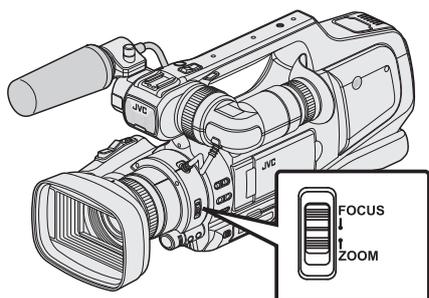
フォーカスリングを回して、手でピントを合わせます。

1 フォーカスを "MF"にする



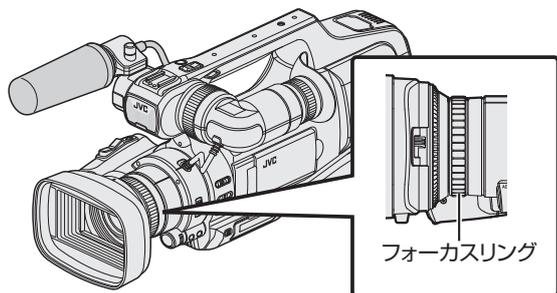
- マニュアルフォーカスアイコン "MF"が表示されます。

2 リング動作切換スイッチを "FOCUS"にする



3 フォーカスリングをまわしてフォーカス調整する

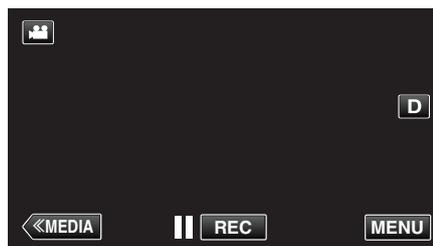
- フォーカスアシスト機能を使用すると、ピントあわせが簡単になります。



フォーカスアシストを使ってピントを合わせる

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。

1 "MENU"をタッチする

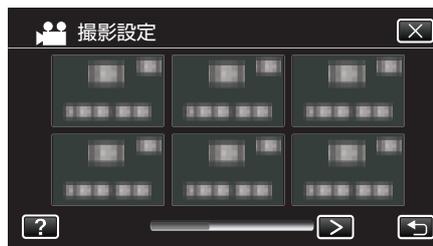


- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする



3 "フォーカスアシスト"をタッチする



- 前または次のメニューを表示するには、<または>をタッチします。
- X をタッチすると、メニューを閉じます。
- 冂 をタッチすると、前画面に戻ります。

4 "入"をタッチする



- 画面が白黒になり、ピントが合っている部分の輪郭に色が付きます。

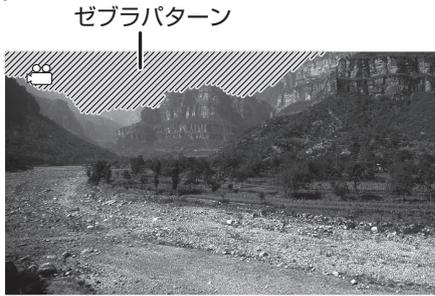
メモ：――

- フォーカスアシスト設定時は、画面が白黒になり、ピントが合っている部分の輪郭に選んだ色が付きます。輪郭線が見にくくなったときは色を変えてください。

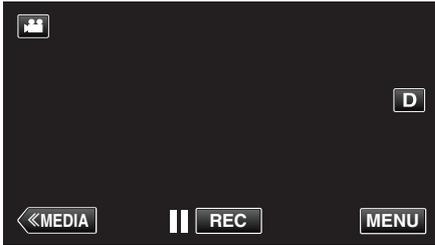
"撮影設定メニュー(動画)" (p. 103)

ゼブラパターンを表示する

動画撮影時、指定した明るさの部分のみ斜線のしま模様(ゼブラパターン)を表示します。



1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする

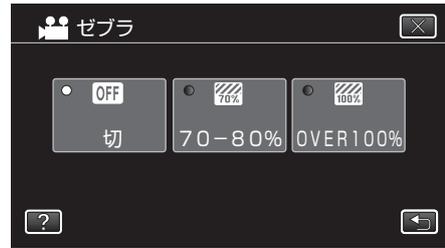


3 "ゼブラ"をタッチする



- 前または次のメニューを表示するには、**<**または**>**をタッチします。
- **×**をタッチすると、メニューを閉じます。
- **⏪**をタッチすると、前画面に戻ります。

4 "70-80%"または"OVER100%"をタッチする



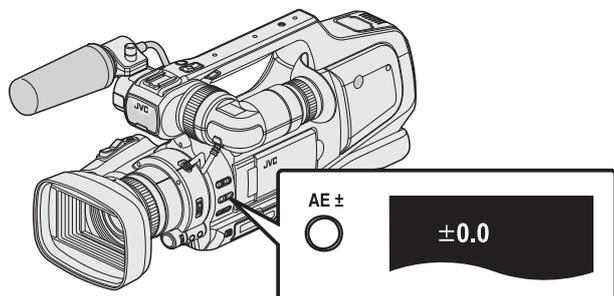
画面表示	設定
切	ゼブラ機能を使いません。
70-80%	白とびに近い(明るい)場所を、しま模様で表示します。
OVER100%	白とびした(明るすぎる)場所を、しま模様で表示します。

明るさを手動補正する

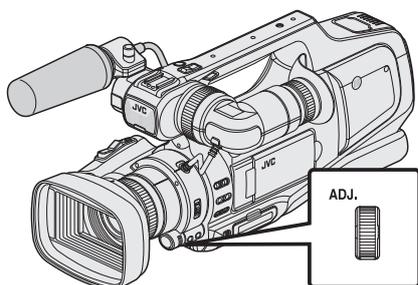
撮影している被写体の明るさは、カメラ本体の基準値で自動調整していますが、撮影状況によって、映像の明るい部分や暗い部分が見えにくくなる場合があります。これを防ぐため、手動で明るさを補正できます。

1 "AE ±"ボタンを押す

- 画面に AE 値が表示され、調整モードになります。

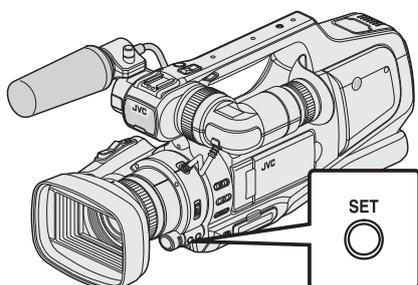


2 "ADJ."ダイヤルを回す



- 上に回すと値が大きくなり、映像が明るくなります。
- 下に回すと値が小さくなり、映像が暗くなります。

3 "SET"ボタンを押す



- マニュアル設定が確定します。
(設定値(-2.0 ~ +2.0) は画面に表示されています。)

メモ:

- 動画と静止画で別々に設定できます。
- 明るさ、シャッタースピード、絞りの3つを同時にマニュアルで設定することはできません。

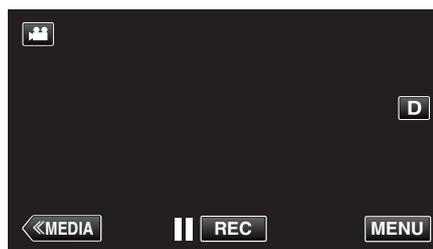
■ 明るさ補正をオートにする

1 AE 値の表示が消えるまで数回、"AE ±"ボタンを押す

逆光補正を設定する

逆光によって、被写体が暗くなるのを補正します。

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする(手順4へ) またはショートカットメニューから"逆光補正"をタッチする(手順5へ)



3 "逆光補正"をタッチする



- 前または次のメニューを表示するには、**<**または**>**をタッチします。
- **×**をタッチすると、メニューを閉じます。
- **↶**をタッチすると、前画面に戻ります。

4 "入"または"アドバンス"をタッチする



- "アドバンス"は、より強い逆光補正をおこないます。"入"で十分に補正されない場合にお使いください。
- 設定すると、アイコン  が表示されます。

設定	内容
切	逆光補正をおこないません。
入	逆光補正をおこないます。
アドバンス	より強い逆光補正効果を得たいときに選びます。

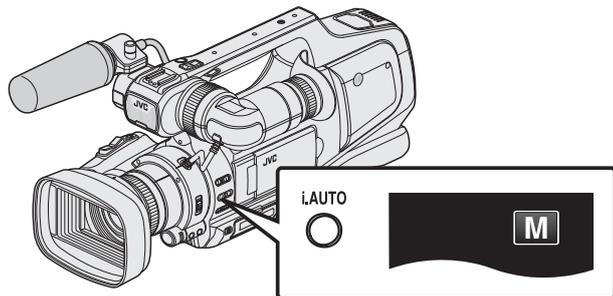
メモ:

- 明るさ補正を手動で設定しているときは、逆光補正は使用できません。

シャッタースピードを調整する

任意のシャッタースピードを設定します。オートに設定した場合、自動でシャッタースピードを制御します。

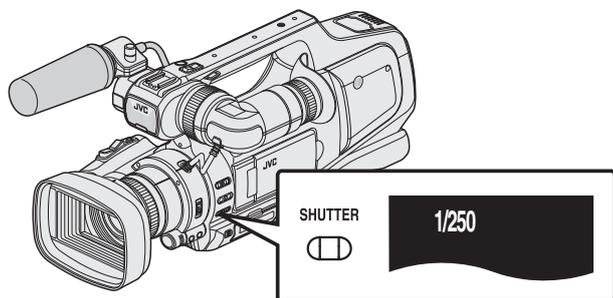
1 マニュアル撮影モードにする



- インテリジェントオート **i.A.** になっているときは、マニュアル **M** に切り換えてください。

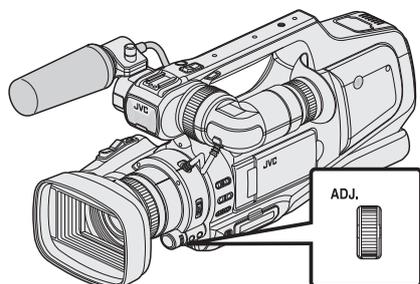
"インテリジェントオート/マニュアル撮影モードを選択する" (☞ p. 19)

2 "SHUTTER"ボタンを押す



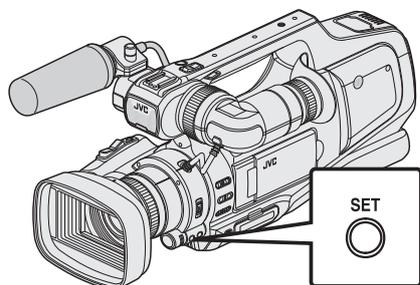
- 現在の値が表示されます。

3 "ADJ."ダイヤルを回す



- 上に回すと値が大きくなります。
- 下に回すと値が小さくなります。

4 "SET"ボタンを押す



- 設定を確定し、調整モードが終了します。

メモ：

- 動画と静止画で別々に設定できます。
- 明るさ、シャッタースピード、絞りの3つを同時にマニュアルで設定することはできません。

■ シャッタースピードをオートにする

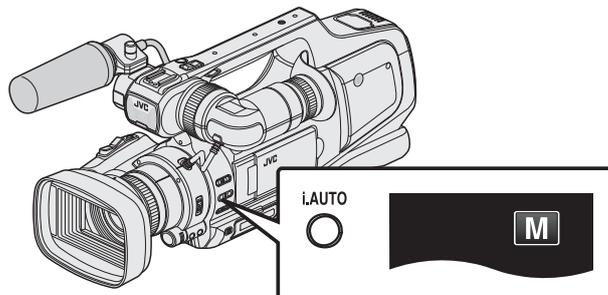
- 1 シャッタースピードの値の表示が消えるまで数回、"SHUTTER"ボタンを押す

絞りを調整する

レンズの絞り (F 値) を設定します。

F 値	内容
小さくする	被写体が明るくなります。 ピントのあう範囲が鋭くなり、背景がボケた柔らかい印象の映像になります。
大きくする	被写体が暗くなります。 背景までピントのあった映像になります。

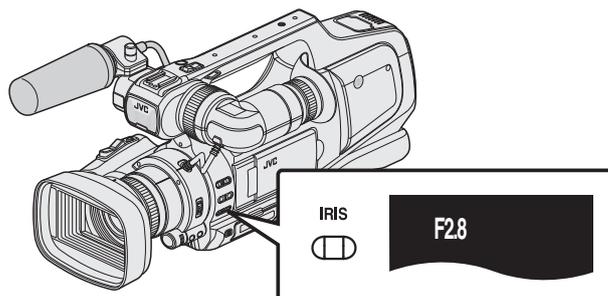
1 マニュアル撮影モードにする



- インテリジェントオート **i.A.** になっているときは、マニュアル **M** に切り換えてください。

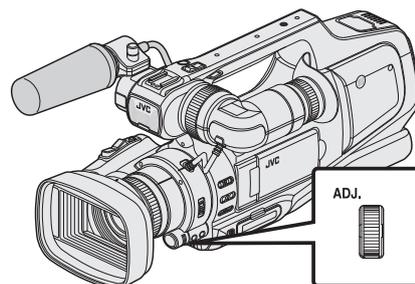
"インテリジェントオート/マニュアル撮影モードを選択する" (☞ p. 19)

2 "IRIS"ボタンを押す



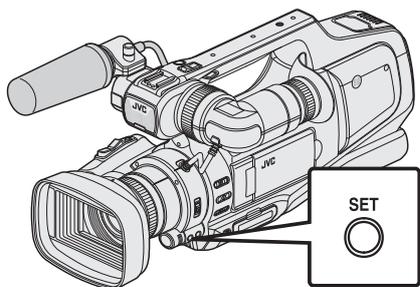
- 現在の F 値が表示されます。

3 "ADJ."ダイヤルを回す



- 上に回すと値が大きくなります。
- 下に回すと値が小さくなります。

4 "SET"ボタンを押す



- 設定を確定し、調整モードが終了します。

メモ： _____

- ズームを望遠にした場合は、ズームに応じた絞り値が設定され、黄色で表示されます。
ズームを広角にすると、最小値が設定できるようになります。
- 動画と静止画で別々に設定できます。
- 明るさ、シャッタースピード、絞りの3つを同時にマニュアルで設定することはできません。

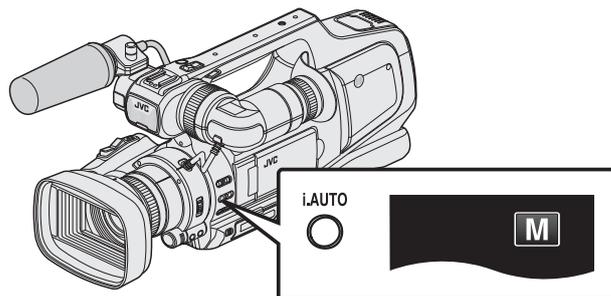
■ 絞りをオートにする

- 1 F値の表示が消えるまで数回、"IRIS"ボタンを押す

ホワイトバランスを設定する

光源に合わせて、色合いの設定ができます。

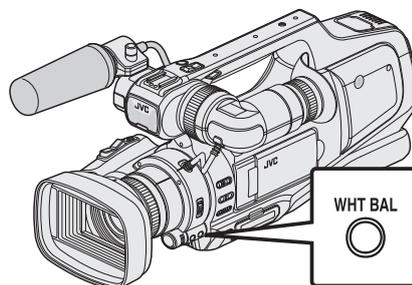
- 1 マニュアル撮影モードにする



- インテリジェントオート **i.A.** になっているときは、マニュアル **M** に切り換えてください。

"インテリジェントオート/マニュアル撮影モードを選択する" (p. 19)

- 2 "WHT BAL"ボタンを押す



- 3 撮影条件を選んでタッチする



- "ADJ."ダイヤルを回して項目を選び、"SET"ボタンを押します。(アイコンを直接タッチしても決定できます。)
- 設定後、ホワイトバランスのアイコンが表示されます。

設定	内容
A オート	自動的に自然な色合いになるように調節します。
ワンタッチ	色の不自然さが解消されないときに使います。
5200K	晴れた日の屋外で撮影するときに設定します。
6000K	曇りの日や日陰で撮影するときに設定します。
3200K	撮影ライトなど照明の下で撮影するときに設定します。

ワンタッチを使うときは

- 1 白い紙をレンズの前に置き、画面一杯に表示する
- 2 "ワンタッチ"にカーソルを合わせて、"SET"ボタンを押し続ける
または "ワンタッチ"のアイコンをタッチし続ける
 - メニューが消え、 が表示されます。

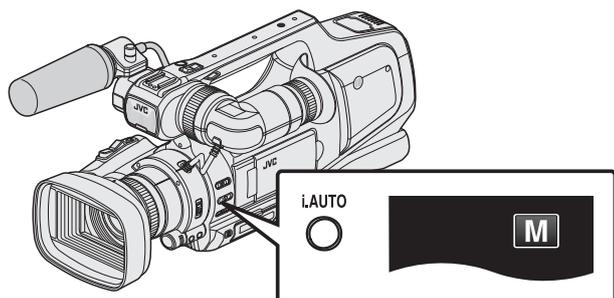
メモ： _____

- "ワンタッチ"をタッチし続けている時間が短いと(1秒未満)、設定は変更されません。

場面(被写体)に合わせて撮影する

代表的なシーンを最適な設定で撮影できます。

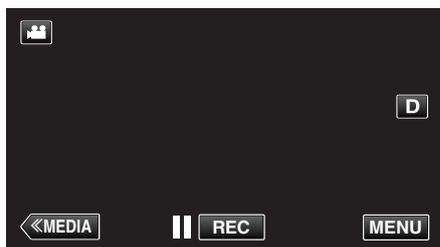
1 マニュアル撮影モードにする



- インテリジェントオート **i.A.** になっているときは、マニュアル **M** に切り換えてください。

"インテリジェントオート/マニュアル撮影モードを選択する" (p. 19)

2 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

3 "撮影設定"をタッチする



4 "シーンセレクト"をタッチする



- 前または次のメニューを表示するには、<または>をタッチします。
- X をタッチすると、メニューを閉じます。
- 〻 をタッチすると、前画面に戻ります。

5 シーンを選んでタッチする



- 選択したシーンを取り消す場合は、"切"をタッチしてください。
- X をタッチすると、メニューを閉じます。

※画像はイメージです。

設定	エフェクト
ナイトアイ	周囲が薄暗いときは、スローシャッターになり、自動的に感度を上げて明るくします。手ぶれしないように三脚を使用してください。 OFF ON
夜景	夜景などを自然な感じに撮影できます。 OFF ON • 静止画モードのときはスローシャッターになり、実際の映像よりも明るく撮影します。
ポートレート	背景をぼかして、人物を浮かび上がらせます。 OFF ON
スポーツ	動きの速いものを1コマ1コマ鮮明に撮影できます。 OFF ON
スノー	晴れた日の雪原などで、被写体が暗く映ることを防ぎます。 OFF ON
スポットライト	ライトの中の人物が明るくなりすぎないようにします。 OFF ON

メモ：

- "高速撮影"および"フレームインREC"のときは、"シーンセレクト"のすべてのシーンが設定できません。

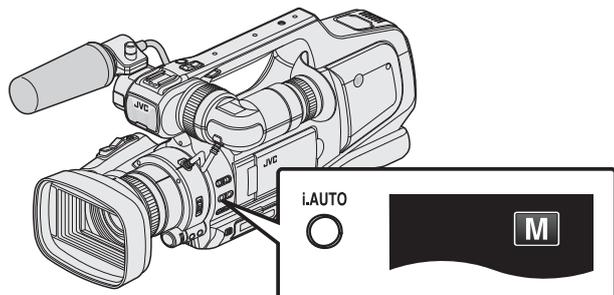
接写で撮影する

テレマクロ機能を設定すれば、被写体に接近して接写することができます。



※画像はイメージです。

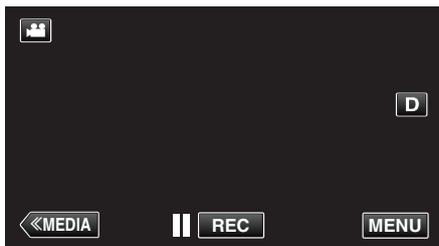
1 マニュアル撮影モードにする



- インテリジェントオート **i.A.** になっているときは、マニュアル **M** に切り換えてください。

"インテリジェントオート/マニュアル撮影モードを選択する" (p. 19)

2 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

3 "撮影設定"をタッチする



4 "テレマクロ"をタッチする



- 前または次のメニューを表示するには、**<**または**>**をタッチします。
- **X**をタッチすると、メニューを閉じます。
- **⏪**をタッチすると、前画面に戻ります。

5 "入"をタッチする



- 設定すると、アイコン  が表示されます。

設定	内容
切	望遠(T)側では約 1 m まで近づけます。 広角(W)側では約 5 cm まで近づけます。
入	望遠(T)側では約 60 cm まで近づけます。 広角(W)側では約 5 cm まで近づけます。

ご注意：

- 接写しないときは、「テレマクロ」を「切」にしてください。「入」のままだと、画像がぼけることがあります。

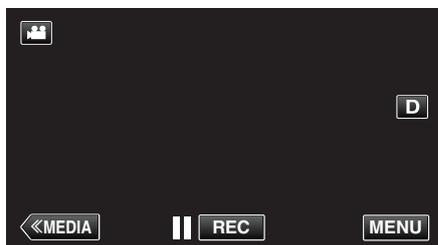
被写体をきれいに撮影する(タッチ優先AE/A F)

"タッチ優先AE/A F"はタッチした場所の情報を基にしてピントや明るさを調整する機能です。

この機能は、動画でも、静止画でも設定できます。

- フォーカスモードが"MF"のときは、"タッチ優先AE/A F"は使用できません。

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする



3 "タッチ優先AE/A F"をタッチする



- 前または次のメニューを表示するには、<または>をタッチします。
- ×をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⏪をタッチすると、前画面に戻ります。

4 設定したい項目をタッチする



顔追尾

色追尾

タッチエリア



- タッチした場所(顔・色・エリア)を基準にピントや明るさが自動的に調整されます。また、基準となっている被写体(顔・色)に青枠が表示され、基準となっているエリアには白枠が表示されます。
- 再設定したい場合は、設定したい場所(顔・色・エリア)を再度タッチしてください。
- "顔追尾"または"色追尾"を解除したい場合は、青枠をタッチしてください。
- "タッチエリア"を解除したい場合は、白枠をタッチしてください。

設定	内容
切	設定しません。
顔追尾	画面に が表示されます。タッチした顔(被写体)を追尾し、その被写体にピントや明るさを自動的に合わせて撮影します。また、タッチした顔(被写体)には青枠が付きまます。
色追尾	画面に が表示されます。タッチした色(被写体)を追尾し、その被写体にピントを自動的に合わせて撮影します。また、タッチした色(被写体)には青枠が付きまます。
タッチエリア	画面に が表示されます。タッチしたエリア(固定位置)にピントや明るさを自動的に合わせて撮影します。また、タッチしたエリアには白枠が付きまます。タッチ優先AE/A Fのタッチエリアは、光学ズーム領域に限り有効です。(デジタルズーム時は無効です)

メモ：――

- 選択した場所(顔・色・エリア)を再度タッチすると、設定が解除されます。
- 選択した場所(顔・色・エリア)以外をタッチすると、場所(顔・色・エリア)を再設定します。
- 被写体を追尾できなくなった場合は、再度被写体をタッチしてください。
- ズーム操作をすると、設定が解除されます。("タッチエリア"設定のみ)
- "色追尾"を設定している場合、似たような色を検出すると、対象の被写体(色)が変更されることがあります。このようなときは、被写体を再度タッチしてください。また、対象の被写体(色)を見失ったとき、画面中心に対象の被写体(色)が一定時間現れると、再追尾できます。

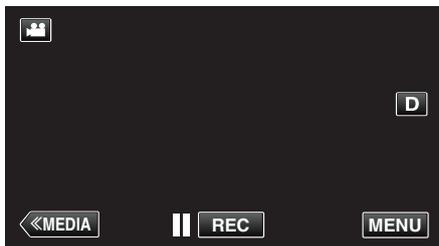
ご注意：――

- 液晶モニターの端にいる被写体をタッチした場合、正しく反応(認識)しないことがあります。このようなときは、被写体を中央寄りにしてから、タッチしてください。
- 撮影状況(距離、角度、明るさなど)、被写体の状態(顔の向きなど)によっては、"顔追尾"が正しく動作しないことがあります。特に逆光のときは顔の検出が難しくなります。
- 以下のような場合、"色追尾"が正しく動作しないことがあります。
 - コントラストがない被写体を撮影するとき
 - 高速で動く被写体を撮影するとき
 - 暗い室内などで撮影するとき
 - 周囲の明るさが変わったとき
- デジタルズーム中は、"タッチエリア"は使用できません。
- "顔追尾"を設定している場合、急速にビデオカメラを縦や横に動かすと被写体を見失うことがあります。

笑顔を自動で撮影する(スマイルショット)

"スマイルショット"は笑顔を検出して、自動的に静止画を撮影します。この機能は、動画でも、静止画でも設定できます。"スマイルショット"を設定する前に、"タッチ優先A E / A F"を"顔追尾"に設定してください。
"被写体をきれいに撮影する(タッチ優先A E / A F)" (p. 35)

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする(手順4へ) またはショートカットメニューから"スマイルショット"をタッチする(手順5へ)



3 "スマイルショット"をタッチする



- 前または次のメニューを表示するには、<または>をタッチします。
- ×をタッチすると、メニューを閉じます。
- ◀をタッチすると、前画面に戻ります。

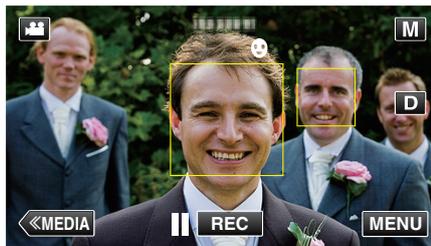
4 "入"をタッチする



- 前画面に戻りますので、×をタッチしてメニューを閉じます。

5 人物に本機を向ける

- 笑顔を検出すると、静止画が自動的に撮影されます。



- 静止画記録中は、PHOTO が点灯します。
- 撮影前にメニューで"スマイル%"を"入"に設定すると、顔枠とスマイル度(%)を表示できます。

"スマイル%"を設定する" (p. 37)

メモ:

- 人物の顔は最大 16 人まで検出します。スマイル度(%)の表示は、検出した顔の中で、画面内の顔サイズが大きい順に 3 つまで表示します。
- 撮影状況(距離、角度、明るさなど)や被写体の状態(顔の向き、笑顔の度合いなど)によって、正しく動作しないことがあります。また、逆光のときは笑顔の検出が難しくなります。
- 一度笑顔を撮影すると、次の撮影を行うまでに時間かかります。
- 以下のような状況では、"スマイルショット"が動作しません。
 - メニューが表示されているとき
 - 残量時間やバッテリー残量が表示されているとき
 - "お楽しみ撮影"のいずれかを設定しているとき

ご注意:

- "タッチ優先A E / A F"を"顔追尾"に設定していないと、"スマイルショット"は動作しません。
- 正しい効果が得られない場合は、"スマイルショット"を"切"にしてお使いください。
- "動画画質"が"S SW"または"S EW"に設定されているときは、スマイルショットは動作しません。

スマイル%を設定する

"スマイル%"では、人物の顔を検出したときに表示する項目を設定できます。
 この項目は "タッチ優先AE/A F"を "顔追尾"に設定しているときに表示されます。
 この機能は、動画でも、静止画でも設定できます。
 "被写体をきれいに撮影する(タッチ優先AE/A F)" (p. 35)

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする(手順4へ)

またはショートカットメニューから "スマイル%"をタッチする(手順5へ)



3 "スマイル%"をタッチする



- 前または次のメニューを表示するには、<または>をタッチします。
- Xをタッチすると、メニューを閉じます。
- 戻るをタッチすると、前画面に戻ります。

4 設定したい項目をタッチする



設定	内容
切	顔を検出すると顔枠のみを表示します。
入	顔を検出すると顔枠、スマイル度(%)を表示します。

- 顔枠: 検出した顔の周辺に枠が表示されます。
 スマイル度: 検出した笑顔について、その度合いを0~100%の範囲で表示します。



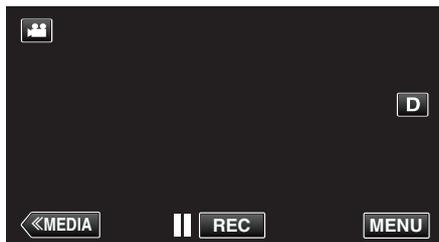
メモ:

- 人物の顔は最大16人まで検出します。スマイル度(%)の表示は、検出した顔の中で、画面内の顔サイズが大きい順に3つまで表示します。
- 撮影環境によっては、顔を検出できないことがあります。

手ぶれを補正して撮影する

手ぶれ補正を設定すると、撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする



3 "手ぶれ補正"をタッチする



- 前または次のメニューを表示するには、<または>をタッチします。
- X をタッチすると、メニューを閉じます。
- ◀ をタッチすると、前画面に戻ります。

4 設定したい項目をタッチする

設定	内容
切	手ぶれを補正しません。
EIS/OIS	通常の撮影条件で手ぶれを補正します。
AI S (動画モードのみ)	明るいシーンを広角側で撮影する場合に、より手ぶれ補正の効果を発揮します。 ※広角側(~5倍)のみ
エンハンスド AI S (動画モードのみ)	"AI S"よりも補正エリアが拡大し、広角から望遠まで、被写体と一緒に動きながら撮影しても、より強力に手ぶれを抑えることができます。

- 静止画モードでは、「切」と「手ぶれ補正」の設定になります。
- "動画画質"を "SSW"または "SEW"に設定しているときは、「エンハンスド AI S」は使用できません。

メモ：

- 三脚などに固定して動きの少ない被写体を撮影したい場合は、「切」にすることをおすすめします。
- 手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。
- "AI S"のときは、画角が狭くなります。"エンハンスド AI S"のときは、「AI S」のときより、さらに画角が狭くなります。
- 静止画撮影時は、SNAPSHOT ボタンを半押ししたときのみ手ぶれ補正が動作します。

2枚のSDカードに同時記録する(デュアル撮影)

デュアル撮影で2枚のSDカードに同時記録ができます。撮影中片方のSDカードにトラブルが起きても、もう一方のSDカードで撮影を続けることができます。撮影済みのファイルを失うこともありません。

1 SDカードを準備する

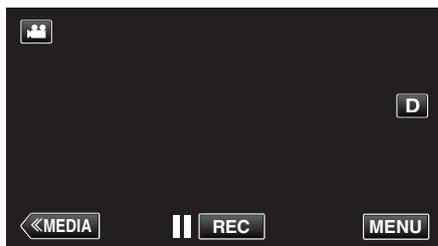
- SDカードはなるべく同じメーカー製で同じ型番のものを2枚使ってください。

"本機で使えるSDカードの種類" (p. 7)

- 撮影の前に両方のSDカードをフォーマットしてください。

"SDフォーマット" (p. 117)

2 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

3 "撮影設定"をタッチする

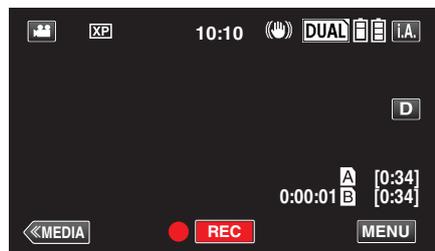


4 "デュアル撮影"をタッチする



- 前または次のメニューを表示するには、<または>をタッチします。
- Xをタッチすると、メニューを閉じます。
- ⏪をタッチすると、前画面に戻ります。

5 "入"をタッチする



- "デュアル撮影"が"入"のときは、メディア表示がDUALになります。
- A/BそれぞれのスロットのSDカードの記録可能時間を表示します。
- AまたはBが点滅している時は、そのスロットにSDカードが入っていません。

メモ:

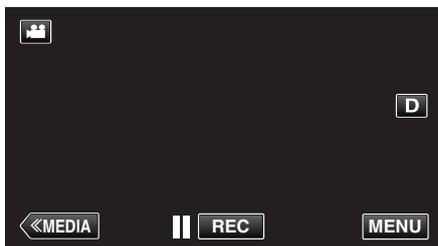
- SDカードが1枚しか入っていないときなど、デュアル撮影ができない状態では、1枚のSDカードに記録します。
- 撮影中に片方のSDカードの空き容量がなくなっても、もう一方のSDカードに空き容量があれば撮影を続けることができます。
- お楽しみ撮影を設定中のときは、デュアル撮影はできません。
- "動画記録形式"が"MOV"のときは、デュアル撮影はできません。
- "デュアル撮影"が"入"のときは、シームレス撮影はできません。
- "デュアル撮影"が"入"でも、静止画は2枚のSDカードに同時記録されません。

設定	内容
切	1枚のSDカードに記録します。
入	2枚のSDカードに記録します。

1つのファイルで撮影する(クリップ連続記録)

"クリップ連続記録"を"入"に設定すると、撮影と停止を繰り返しても、クローズをするまで1つのファイルで記録します。
パソコンなどで動画を扱う場合に、編集で動画を結合する手間を省く事ができます。

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "撮影設定"をタッチする

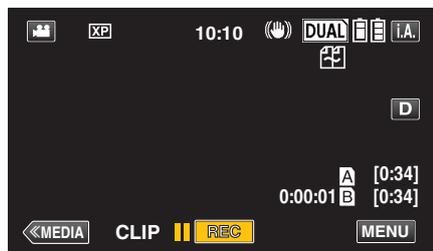


3 "クリップ連続記録"をタッチする



- 前または次のメニューを表示するには、<または>をタッチします。
- Xをタッチすると、メニューを閉じます。
- 〻をタッチすると、前画面に戻ります。

4 "入"をタッチする



- "クリップ連続記録"が"入"のときは"CLIP"を表示し、撮影開始ボタンが黄色になります。
- "クリップ連続記録"が"入"に設定して撮影しているときは、以下の操作で動画が1つのファイルで記録(クローズ)されます。
 - 電源を切る("STANDBY/ON"スイッチを"OFF")
 - 撮影中に"REC"ボタンを1秒以上押す
 - 撮影停止中に"MODE/C.C."ボタンを押す

メモ:

- 記録中にSDカードの容量が不足になったときも、動画ファイルをクローズします。
- お楽しみ撮影を設定中のときは、クリップ連続記録撮影はできません。
- "動画記録形式"が"MOV"のときは、クリップ連続記録撮影はできません。
- 長時間の撮影では、自動的に最大4GBのファイルに分割されます。
- 最初のクリップの撮影開始から12時間経過すると、自動的に撮影を停止し、ファイルをクローズします。
- バッテリー使用時の撮影可能時間は、通常の撮影より短くなります。
- クリップ連続記録中の撮影停止では、オートパワーオフが設定されていても電源は切れません。

設定	内容
切	クリップ連続記録をしません。
入	クリップ連続記録をします。

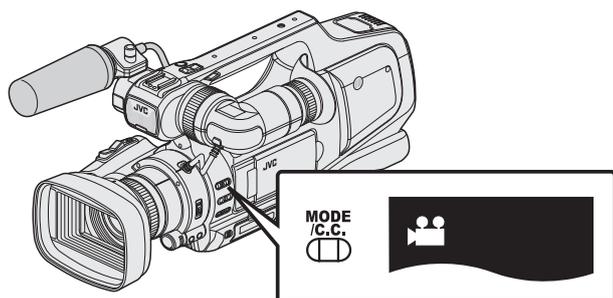
スローモーションを撮影する(高速撮影)

撮影速度を上げて動きを強調したスローモーション動画を撮影し、再生時に滑らかなスローモーション映像を再生できます。ゴルフのスイングなどを確認したいときに便利です。

撮影速度	300 fps
画像サイズ	720×480
最大撮影可能時間	144 分
最大再生可能時間	12 時間
モニター接続時の映像サイズ	1920×1080

- 再生するときは、実際の撮影時間と比べて 5 倍の再生時間になります。(例)1 分間撮影した場合、再生時間は 5 分間となります。

1 動画モードか確認する

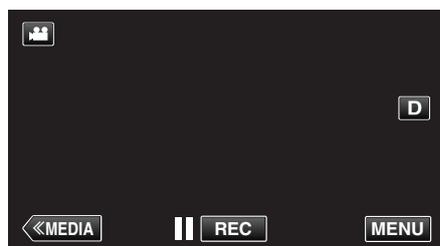


- 動画モード になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、動画モード()に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

- "動画記録形式"を "AVCHD"にしてください。
- "動画記録形式" (p. 103)
- "システムセレクト"を "60 i"にしてください。
- "システムセレクト" (p. 103)

2 "MENU"をタッチする

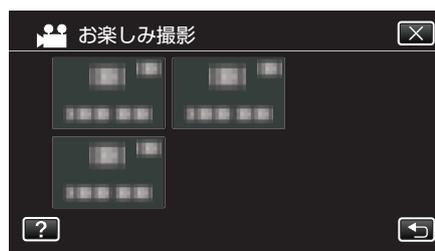


- トップメニューが表示されます。

3 "お楽しみ撮影"をタッチする



4 "高速撮影"をタッチする



- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⏪ をタッチすると、前画面に戻ります。

メモ:

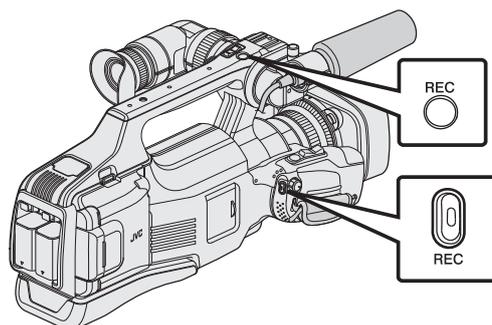
- "動画記録形式"が "MOV"のときは、高速撮影はできません。

5 "入"をタッチする



- "入"をタッチすると、1 秒間に 300 コマで撮影できるようになります。
- 高速撮影をしたくない場合は、"切"をタッチしてください。

6 撮影を開始する



- もう一度押すと撮影を停止します。
- 高速撮影の設定は、電源を切ると解除されます。

メモ:

- ほかの動画より画像が粗くなります。また、撮影中に LCD モニターに表示される映像も画質が粗くなります。
- 撮影した動画に音声は記録されません。
- 高速撮影を設定している間は、光学ズームのみ使えます。
- 高速撮影では、"タッチ優先 A E / A F"が "切"に設定されます。また、手ぶれ補正が "切"に設定されますので、三脚を使用して明るい場所なるべく被写体を拡大して撮影することをおすすめします。

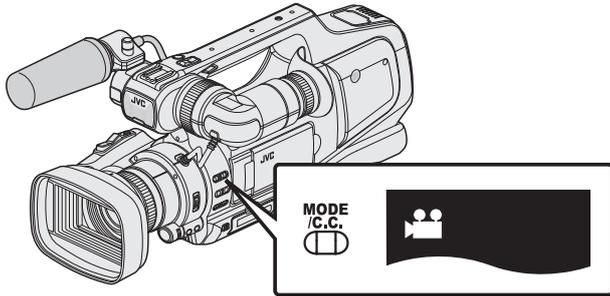
"三脚の取り付けかた" (p. 16)

- 高速撮影では、"タッチ優先 A E / A F"が "切"に設定されます。また、手ぶれ補正を "エンハンスド A I S"または "A I S"に設定しているときは、"E I S / O I S"に設定されます。

微速度撮影をする(タイムラプス撮影)

一定間隔に1コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。
花のつぼみが開く様子を観察するときなどに便利です。

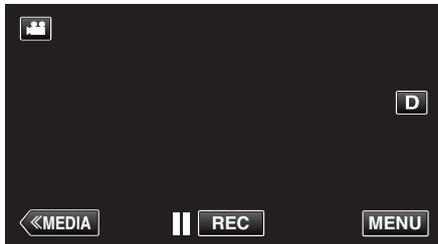
1 動画モードか確認する



- 動画モード になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、動画モード()に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

2 "MENU"をタッチする

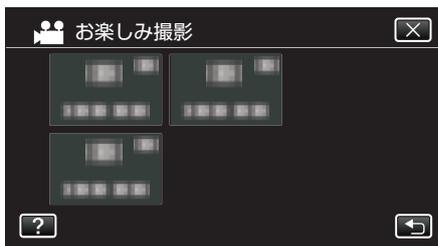


- トップメニューが表示されます。

3 "お楽しみ撮影"をタッチする



4 "タイムラプス撮影"をタッチする



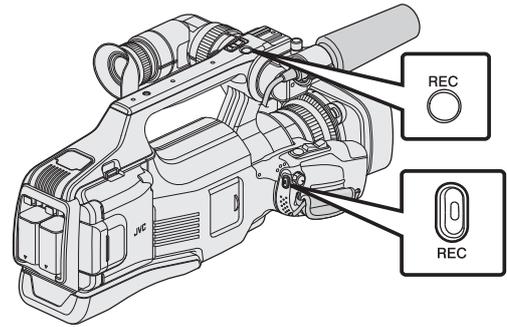
- X をタッチすると、メニューを閉じます。
- 戻る をタッチすると、前画面に戻ります。

5 撮影間隔(1~80秒)を選択してタッチする



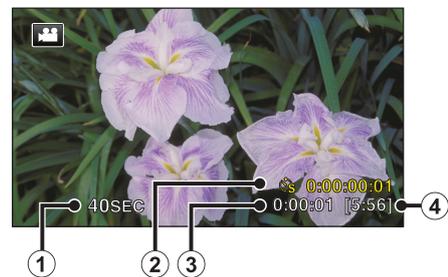
- 間隔秒数が大きいほど撮影間隔が長くなります。
- < または > をタッチすると、画面をスクロールできます。

6 撮影を開始する



- 設定した撮影間隔で1コマ撮影をします。
- 撮影間隔を"20秒間隔"以上に設定しているとき、撮影の合間は省電力状態になります。
次の撮影時間になると、自動的に省電力を解除し、撮影をします。
- もう一度押すと撮影を停止します。
- タイムラプス撮影の設定は、電源を切ると解除されます。

タイムラプス撮影中の画面表示



	画面表示	説明
①	撮影間隔	設定している撮影間隔を表示します。
②	実記録時間	実際に撮影した動画の記録時間を表示します。 記録時間はフレーム単位で増加します。
③	撮影経過時間	撮影を開始してから実際の経過時間を表示します。
④	撮影可能時間	設定中の動画画質で録画可能な残り時間です。

タイムラプス撮影の設定内容

間隔秒数が大きいほど撮影間隔が長くなります。

設定	内容
切	タイムラプス撮影をしません。
1秒間隔	1秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は30倍速で再生されます。
2秒間隔	2秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は60倍速で再生されます。
5秒間隔	5秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は150倍速で再生されます。
10秒間隔	10秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は300倍速で再生されます。
20秒間隔	20秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は600倍速で再生されます。
40秒間隔	40秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は1200倍速で再生されます。
80秒間隔	80秒間隔に1フレームずつ撮影します。 撮影した動画は2400倍速で再生されます。

ご注意：

- タイムラプス撮影で撮影した動画には、音声記録されません。
- タイムラプス撮影中は、ズーム操作、写真同時撮影、および手ぶれ補正が使用できません。
- 実記録時間の表示が"0:00:00:17"以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。
- タイムラプス撮影中は、シームレス撮影は行いません。

メモ：

- 電源を切るとタイムラプス撮影の設定がリセットされます。再度タイムラプス撮影をするときは、再設定が必要になります。
- 撮影開始から99時間を経過すると、自動的に撮影を停止します。
- 撮影間隔の長いタイムラプス撮影では、三脚およびACアダプターをご使用ください。
また、フォーカスやホワイトバランスをマニュアルで固定して使うことをおすすめします。

"三脚の取り付けかた" (☞ p. 16)

"手動でピントをあわせる" (☞ p. 28)

"ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 32)

- プログレッシブ方式(60p)で記録した場合、2倍の再生速度になります。
(例) "1秒間隔"で撮影した場合、60倍速で再生されます。

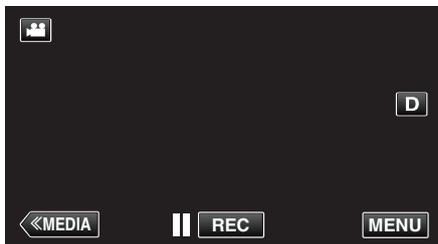
動きを検出し自動的に撮影する(フレームイン REC)

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を検出して、自動的に動画または静止画の撮影をします。(フレームイン REC)
フレームイン REC は、動画でも、静止画でも設定できます。

1 撮影する被写体に合わせて、構図を決める

- ズームなどを使って画角を合わせてください。

2 "MENU"をタッチする

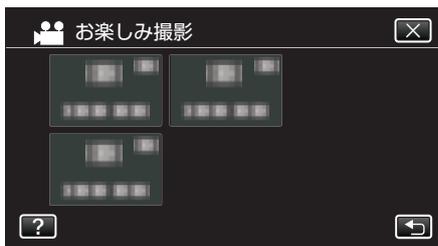


- トップメニューが表示されます。

3 "お楽しみ撮影"をタッチする



4 "フレームイン REC"をタッチする



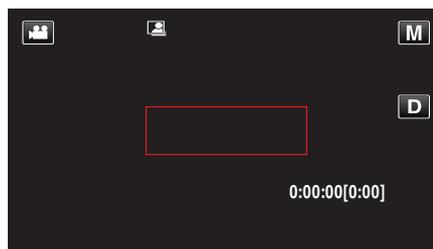
- X をタッチすると、メニューを閉じます。
- 戻る をタッチすると、前画面に戻ります。

5 "入"をタッチする



- 静止画撮影時は、「連写」も選択できます。ただし、「静止画サイズ」を「5664 x 4248」または「2816 x 2112」に設定しているときは、選択できません。

6 赤枠内の被写体が動いたら、自動的に撮影が開始される



- メニュー表示が消えてから、約 2 秒後に赤い枠を表示します。
- 動画撮影の場合、赤枠内の被写体の動き(明るさの変化)がなくなるまで撮影を続けます。赤枠内の被写体の動き(明るさの変化)がなくなると 5 秒後に撮影を停止します。
- 手で動画撮影を停止したい場合は、REC ボタンを押してください。ただし、動画撮影を停止後も「フレームイン REC」設定は「入」の状態を継続するため、赤枠内の被写体に動き(明るさの変化)を検出したら、再度撮影を開始します。フレームイン REC を解除するには、「フレームイン REC」設定を「切」にしてください。

ご注意:

- 「フレームイン REC」設定後は、デジタルズーム、手ぶれ補正、セルフタイマー、および連写は使えません。
- 「フレームイン REC」と「タイムラプス撮影」の併用はできません。設定した場合は、「タイムラプス撮影」を優先します。
- 「フレームイン REC」設定後は、「静止画サイズ」の変更ができません。「フレームイン REC」を設定にする前に、「静止画サイズ」を設定してください。
- 「フレームイン REC」設定後は、オートパワーオフおよびパワーセーブが無効になります。

メモ:

- 動画撮影の場合、変化がなくなると 5 秒後に撮影を停止します。
- 「フレームイン REC」の設定は、電源を切ると解除されます。
- 赤枠内の被写体の動きが早いなど明るさの変化が小さい場合は、撮影を開始できない場合があります。
- 赤枠内に動きが無くても、明るさの変化によっては撮影を開始してしまうことがあります。
- ズーム動作中は撮影を開始できません。

記念写真を撮影する(セルフタイマー)

記念写真を撮影するときは、10秒セルフタイマーや顔検出セルフタイマーを使うと便利です。

また、2秒セルフタイマーを使えば、シャッターを切るときの手ぶれを防ぐことができます。

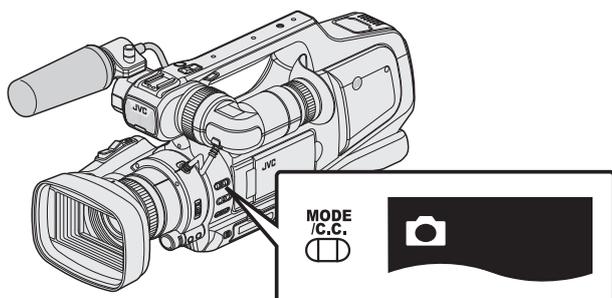
メモ:

セルフタイマーを設定したときは、三脚を使って撮影することをおすすめします。

"三脚の取り付けかた" (p. 16)

2秒/10秒セルフタイマーを使うとき

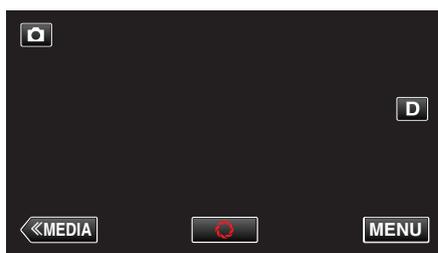
1 静止画モードか確認する



- 静止画モード になっているか確認します。
- 動画モード になっているときは、静止画モード()に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

2 "MENU"をタッチする

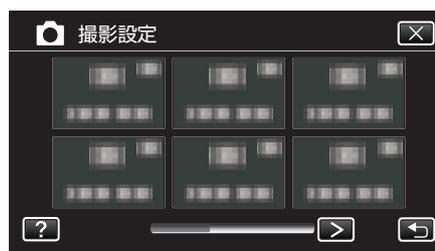


- トップメニューが表示されます。

3 "撮影設定"をタッチする



4 "セルフタイマー"をタッチする

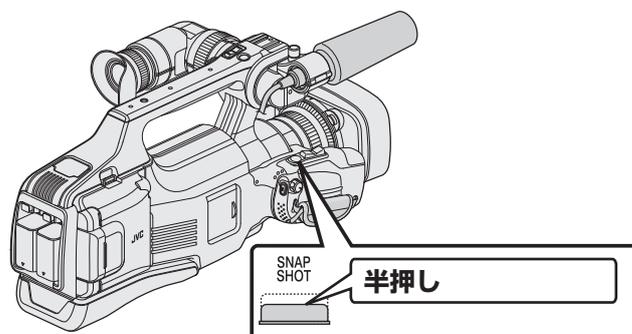


- 前または次のメニューを表示するには、 または をタッチします。
- をタッチすると、メニューを閉じます。
- をタッチすると、前画面に戻ります。

5 "2秒"または"10秒"をタッチする

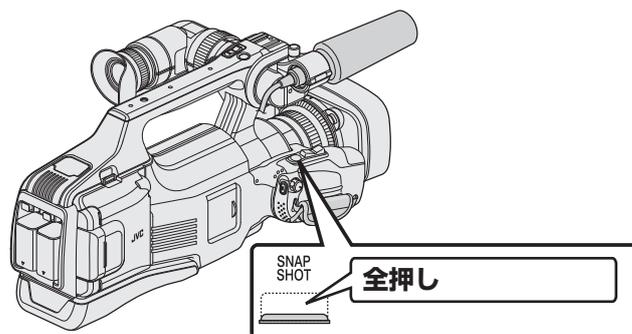


6 被写体にピントを合わせる



- ピントが合うと、ピント合わせアイコンが緑色に点灯します。

7 シャッターを切る

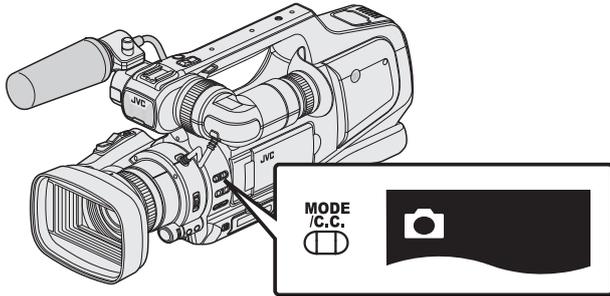


- 撮影までのカウントダウンが表示されます。
- 途中でセルフタイマー撮影を止めるには、もう一度 SNAPSHOT ボタンを押します。

顔検出セルフタイマーを使うとき

SNAPSHOT ボタンを押すと顔を検出し、画面内に1人加わると3秒後に撮影します。
撮影する人も一緒に写って撮影できます。

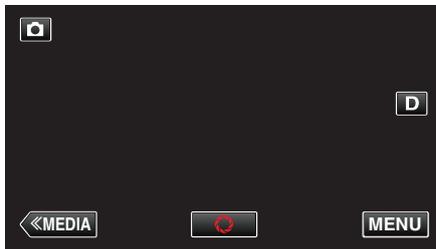
1 静止画モードが確認する



- 静止画モード になっているか確認します。
- 動画モード になっているときは、静止画モード()に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

2 "MENU"をタッチする

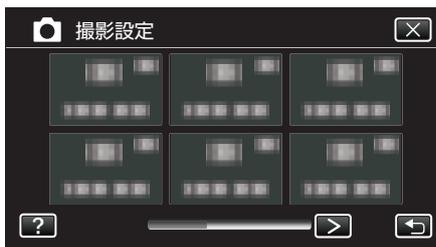


- トップメニューが表示されます。

3 "撮影設定"をタッチする



4 "セルフタイマー"をタッチする

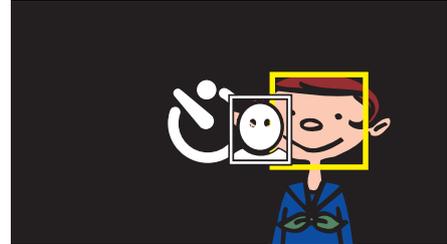
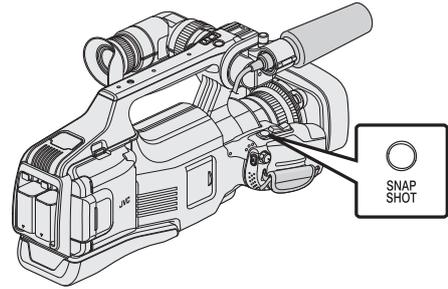


- 前または次のメニューを表示するには、 または をタッチします。
- をタッチすると、メニューを閉じます。
- をタッチすると、前画面に戻ります。

5 "顔検出"をタッチする

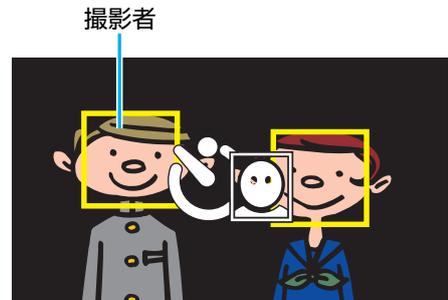


6 撮影する全員が本機側を向いていることを確認してから、SNAPSHOT ボタンを押す



- 人物の顔に枠が付きます。
- SNAPSHOT ボタンをもう一度押すと、10秒カウントダウンが始まります。

7 撮影者が画面内に入る



- 撮影者が画面内に入って3秒後にシャッターが切れます。
- 途中でセルフタイマー撮影を止めるには、もう一度 SNAPSHOT ボタンを押します。

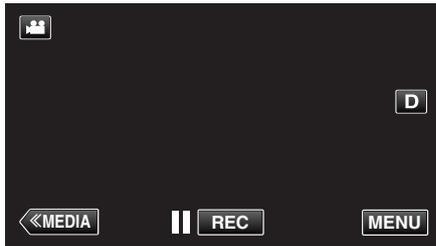
メモ:

- 撮影環境によっては"顔検出"で顔を検出できないことがあります。

残量時間を確認する

SD カードに記録できる動画の残量時間、およびバッテリー残量を確認できます。

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。

2 "インフォ"をタッチする



- 静止画を選んでいるときは、手順4へ進んでください。

3 残量時間を表示する



- 動画撮影モードのときのみ、残量時間が表示されます。
-  をタッチすると、バッテリー残量が表示されます。
- ACアダプターを接続しているときは、 は表示されません。
- 表示を終了するには  をタッチします。

4 バッテリー残量を表示する



- "撮影可能時間"は目安です。
- バッテリーを2個取り付けている場合、"撮影可能時間"は2個の合計時間が表示されます。
-  をタッチすると、動画撮影のときは、残量時間の表示画面に戻ります。
-  をタッチすると、表示を終了します。
- ACアダプターを接続しているときは、バッテリー残量が表示されません。

メモ： _____

- 残量時間表示からも動画画質を変更できます。動画画質を選んでタッチしてください。

動画の撮影可能時間の目安

画質	SDHC/SDXC カード						
	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	48 GB	64 GB	128 GB
60p	15 分	35 分	1 時間 10 分	2 時間 30 分	3 時間 50 分	5 時間	10 時間 10 分
UXP	20 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 40 分	4 時間 10 分	5 時間 40 分	11 時間 30 分
XP	30 分	1 時間	1 時間 50 分	3 時間 50 分	6 時間	8 時間 10 分	16 時間 20 分
SP	40 分	1 時間 20 分	2 時間 40 分	5 時間 30 分	8 時間 30 分	11 時間 30 分	23 時間 10 分
EP	1 時間 40 分	3 時間 30 分	7 時間	14 時間	21 時間 30 分	28 時間 50 分	57 時間 50 分
SSW	1 時間 20 分	2 時間 40 分	5 時間 20 分	10 時間 50 分	16 時間 40 分	22 時間 20 分	44 時間 50 分
SEW	2 時間 50 分	5 時間 40 分	11 時間 10 分	22 時間 30 分	34 時間 30 分	46 時間 10 分	92 時間 40 分
HS(高速撮影)	25 分	55 分	1 時間 50 分	3 時間 50 分	5 時間 50 分	7 時間 50 分	15 時間 50 分
MOV	10 分	25 分	50 分	1 時間 40 分	2 時間 30 分	3 時間 30 分	7 時間

- 撮影するシーンによって短くなる場合があります。

静止画の撮影可能枚数の目安(単位:枚)

画像サイズ	SDHC カード			
	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
5664x4248 (24M) (4:3)	200	500	1000	2100
2816x2112 (5.9M) (4:3)	1100	2200	4400	8800
2048x1536 (3.1M) (4:3)	2100	4200	8200	9999
1920x1080(2.1M) (16:9)	3100	6400	9999	9999
640x480 (0.3M) (4:3)	9999	9999	9999	9999

- 動画撮影中に静止画を撮影したとき、および撮影済みの動画から静止画を切り出したときは、1920 x 1080 のサイズで保存されます。

撮影時間の目安(バッテリー使用時)

バッテリーパック	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VF815	1 時間	2 時間
BN-VF823(付属)	1 時間 35 分	3 時間 5 分

- 上記の撮影時間は、バッテリーを 1 個使用した場合の時間です。
- "モニター明るさ"が "3"(標準)、"動画記録形式"が "AVCHD"、"システムセレクト"が "60i"のときの値です。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入/切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなる場合があります。(撮影予定時間の約 3 倍分のバッテリーを用意することをおすすめします)
- 撮影環境や使用方法によって、電池の消費が変化することがあります。
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。(新しいものに交換してください)

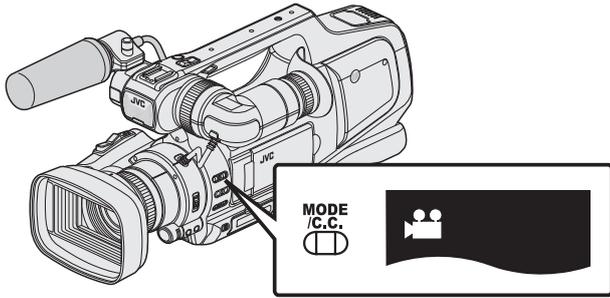
動画を再生する

本機では、つぎのような方法で動画を再生できます。

通常再生	撮影した動画をそのまま再生します。
ダイジェスト再生	撮影した映像を要約して再生(ダイジェスト再生)できます。
プレイリスト再生	作成したプレイリストを再生します。 "再生設定"メニューの"プレイリスト再生"から再生します。

■ 動画再生画面への切り換えかた

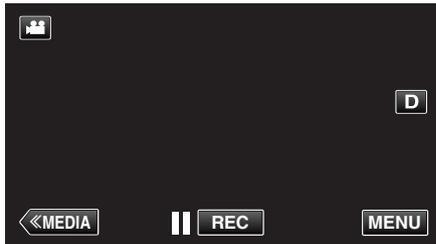
1 動画モードか確認する



- 動画モード  になっているか確認します。
- 静止画モード  になっているときは、動画モード()に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (☞ p. 20)

2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする

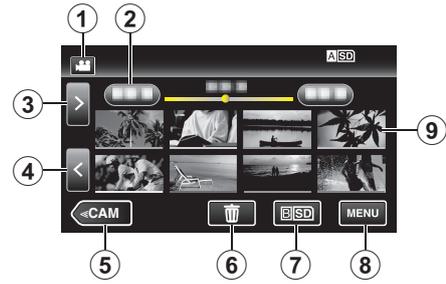


3 動画再生画面が開く



動画再生の操作ボタン

一覧表示中



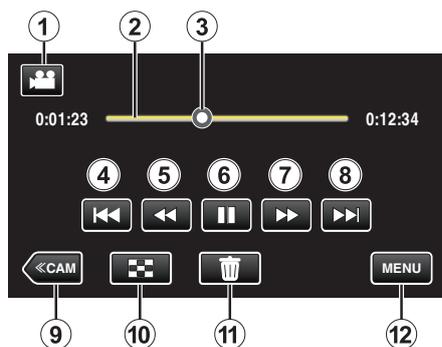
	画面表示	説明
①	動画/静止画切換	動画モード(60i/60p)と静止画モードを切り換えます。
②	日付	前/次の撮影日に移動します。
③	>	次の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。 • ズームレバーでも操作できます。
④	<	前の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。 • ズームレバーでも操作できます。
⑤	<<CAM	カメラ(撮影)モードに切り換えます。
⑥		削除用の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。
⑦	A SD/B SD	SDカードのスロットを切り換えます。
⑧	MENU	メニュー画面を表示します。
⑨	ファイル(映像)	タッチすると、再生を開始します。 右になぞると一覧表示が右にスクロールし、前の一覧表示(サムネイル表示)が表示されます。 左になぞると一覧表示が左にスクロールし、次の一覧表示(サムネイル表示)が表示されます。 画像の下線の色が同一のものは、同じ撮影日の動画をあらわします。

メモ:

- MOV形式とAVCHD形式の動画ファイルは、別々に一覧表示されます。
"動画記録形式"を再生する形式に設定してください。

"動画記録形式" (☞ p. 103)

動画再生中



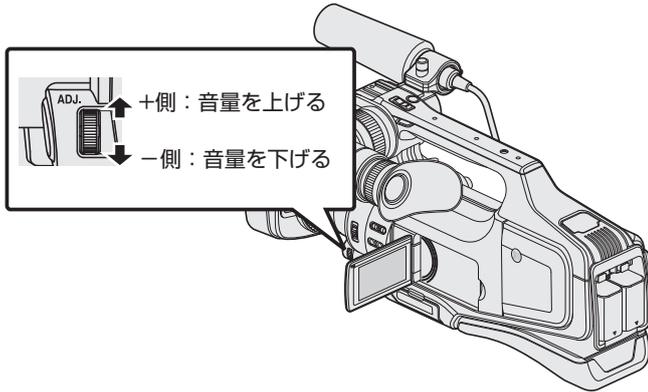
画面表示	説明
① 動画/静止画切換	動画モード(60i/60p)と静止画モードを切り換えます。
② 時系列バー	再生位置表示を左右になぞると、動画の位置を移動できます。 お好みの位置をタッチすると、その位置に移動します。
③ 再生位置表示	映像のおおよその再生位置を表示します。
④ ◀◀	シーンの先頭に戻ります。シーンの先頭で一時停止中の場合は、前のシーンに戻ります。 • ズームレバーでも操作できます。
⑤ ◀◀	早戻し(タッチするたびに速度が上がります)
⑤ ◀◀	一時停止中にコマ戻し/一時停止中に押し続けると逆スロー再生
⑥ ▶/	再生/一時停止します。
⑦ ▶▶	早送り(タッチするたびに速度が上がります)
⑦ ▶▶	一時停止中にコマ送り/一時停止中に押し続けるとスロー再生
⑧ ▶▶	次のシーンに進みます。 • ズームレバーでも操作できます。
⑨ <<CAM	カメラ(撮影)モードに切り換えます。
⑩ ❏	停止(一覧表示に戻ります)
⑪ ❏	現在表示している動画を削除します。
⑫ MENU	メニュー画面を表示します。

メモ: _____

- 操作は、タッチパネルをタッチまたは、なぞることで行います。
- 本機の操作を約5秒間行わないと、タッチパネルの操作ボタンが消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。
- 撮影した日付から目的の映像を探せます。
"目的の映像を撮影日から探す" (☞ p. 58)
- 画面に日時を表示して再生できます。
"日時表示" (☞ p. 112)
- バッテリー残量の表示は、使用状態におけるバッテリー残量の目安を表示します。

動画の音量を調節する

"ADJ."ダイヤルで音量を調節できます。



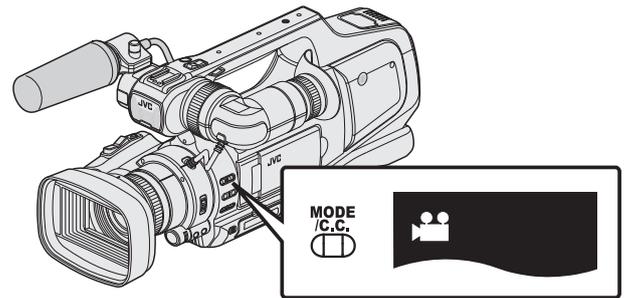
ご注意：

- 重要な記録内容(データ)はバックアップしてください。
重要な記録内容(データ)は DVD や他の記録メディアに保存用としてコピーすることをおすすめします。
- 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示が出たり、正常に動作しないことがあります。このようなときは、一度電源を切ってから AC アダプターおよびバッテリーを取りはずしてください。本機がリセットされます。
- 免責事項
 - ・本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
 - ・商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
 - ・万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
 - ・品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

通常再生

撮影した動画をそのまま再生します。

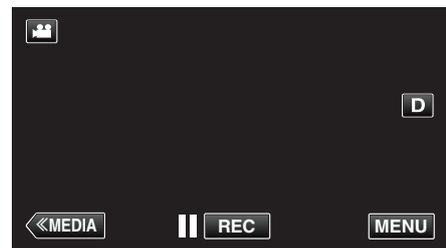
1 動画モードか確認する



- 動画モード になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、動画モード()に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



3 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



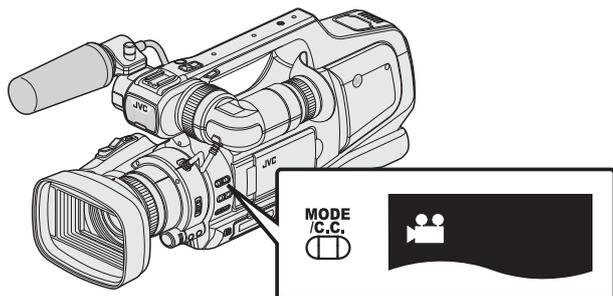
- **A/SD/B/SD** をタッチすると再生するメディアが切り換わり、一覧表示(サムネイル表示)が変更できます。
- 再生中に **||** をタッチすると、一時停止します。
- 再生中に **☒** をタッチすると、一覧表示に戻ります。
- 最後に再生したファイルには **▶** が表示されます。
- 撮影した日付ごとに違う色のラインが表示されます。
- 60p モードと 60i モードで記録した映像は、別々に一覧表示されます。
60p モードと 60i モードの一覧表示(サムネイル表示)を切り換えるときは、 をタッチしてください。
また、ダイジェスト再生、プレイリスト再生/編集のときなども、60p モードと 60i モードを選択してから実行してください。
- "動画記録形式"(AVCHD/MOV)の設定によって、それぞれの形式のファイル一覧を表示します。

再生する

撮影日などの情報を見る

選んだ映像の撮影日や再生時間が表示されます。

1 動画モードか確認する

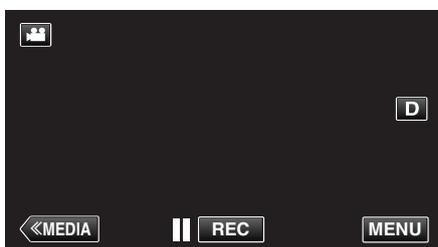


- 動画モード  になっているか確認します。
- 静止画モード  になっているときは、動画モード()に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

- "動画記録形式" (AVCHD/MOV) の設定によって、それぞれの形式のファイル一覧を表示します。

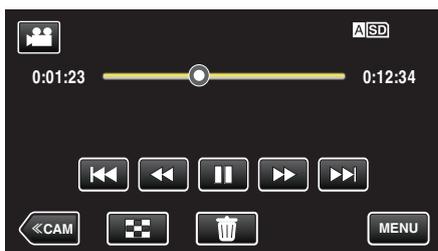
2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



3 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



4 "MENU"をタッチする



5 "インフォ"をタッチする



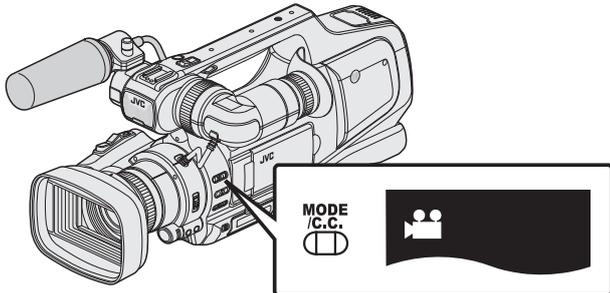
- X をタッチすると、メニューを閉じます。
選んだ映像の撮影日や再生時間が表示されます。



ダイジェスト再生

撮影した動画 (AVCHD 形式) を要約して再生 (ダイジェスト再生) できます。短時間で映像の内容を確認したいときに便利です。
※MOV 形式で撮影した動画では、この機能は使用できません。

1 動画モードが確認する

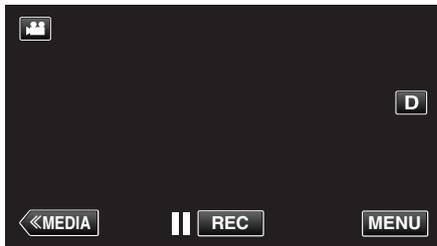


- 動画モード になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、動画モード () に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

- "動画記録形式" を "AVCHD" にしてください。
- "動画記録形式" (p. 103)

2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



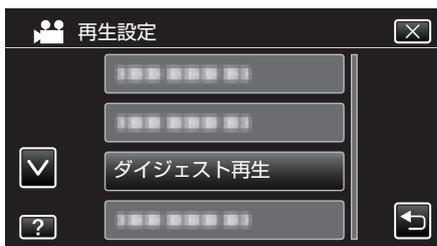
3 "MENU" をタッチする



4 "再生設定" をタッチする



5 "ダイジェスト再生" をタッチする



6 ダイジェスト再生したい日付をタッチする



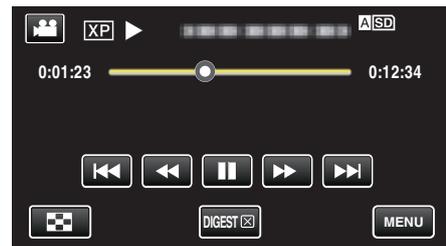
- 日付を選ぶと、"次へ"が表示されるのでタッチします。
- "すべて"をタッチすると、すべての日付をダイジェスト再生します。
- X をタッチすると、メニューを閉じます。
- 左向き矢印をタッチすると、前画面に戻ります。

7 ダイジェスト再生時間を選ぶ



- 撮影時間によって、ダイジェスト再生時間の表記が変わります。
- ダイジェスト再生時間を選んだ後、"ダイジェスト再生"の開始に2秒以上かかる場合は、開始まで作成の進行状況が表示されます。
- ダイジェスト再生時間は目安です。

8 ダイジェスト再生が開始される



- 再生中に をタッチすると、一時停止します。
- をタッチすると、一覧表示に戻ります。
- "DIGEST [X]" をタッチすると、通常再生画面になります。
- 動画再生中の操作について
"動画再生の操作ボタン" (p. 49)

9 ダイジェスト再生が自動的に終了するか、または "MENU" をタッチすると、次の画面を表示する



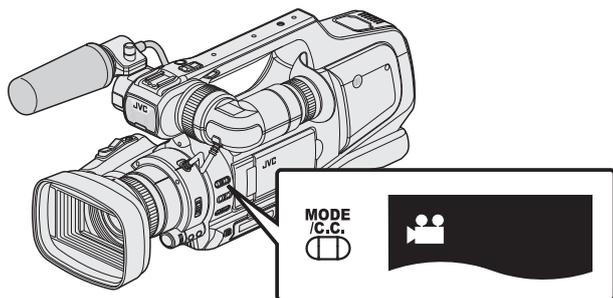
- 通常再生へ: 通常の再生をします。
- もう一度始めから見る: もう一度、ダイジェスト再生をします。
- プレイリストに保存: ダイジェスト再生の映像が、プレイリストに保存されます。
- "プレイリスト再生" (p. 54)
- 日付選択: 手順 6 に戻ります。

プレイリスト再生

作成したプレイリストを再生します。

※MOV形式で撮影した動画では、この機能は使用できません。

1 動画モードか確認する

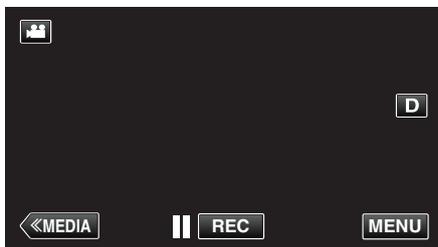


- 動画モード になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、動画モード()に切り換えてください。

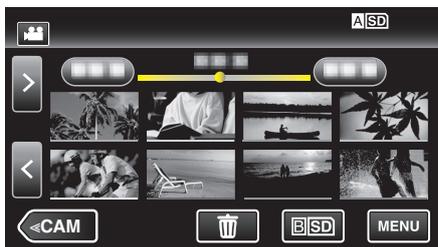
"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

- "動画記録形式"を"AVCHD"にしてください。
- "動画記録形式" (p. 103)

2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



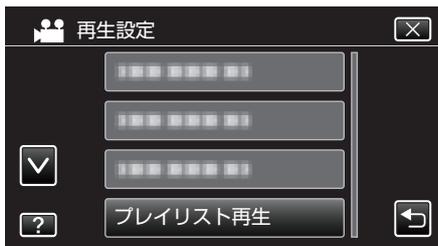
3 "MENU"をタッチする



4 "再生設定"をタッチする



5 "プレイリスト再生"をタッチする



6 プレイリストを選んで、タッチする



- プレイリストの再生が始まります。
- "動画を再生する" (p. 49)
- 再生中に をタッチすると、一覧表示に戻ります。
- "確認"をタッチしてからプレイリストを選ぶと、プレイリストの内容を確認できます。確認終了後は をタッチしてください。
- (ダイジェスト再生)アイコンが表示されているプレイリストは、ダイジェスト再生で作成されたプレイリストです。

プレイリストを作るには:

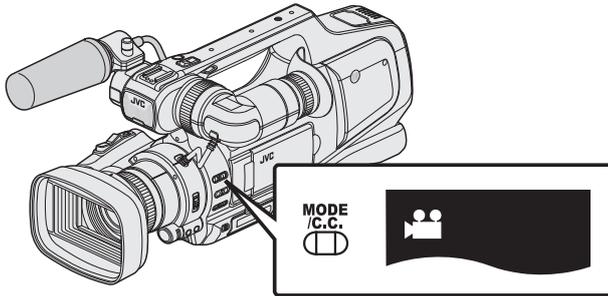
"録画した動画から選んでプレイリストを作る" (p. 67)

特殊ファイル再生

撮影中に電源をはずしたりするなど、記録が正常に終了しなかった場合、管理情報が壊れた動画ができることがあります。このような場合、以下の操作で管理情報が壊れた動画を再生することができます。

※MOV形式で撮影した動画では、この機能は使用できません。

1 動画モードが確認する



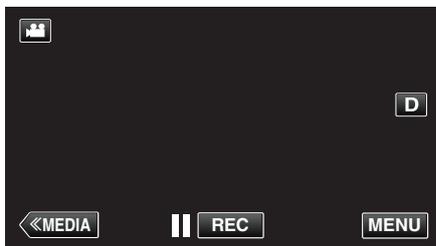
- 動画モード になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、動画モード()に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

- "動画記録形式"を"AVCHD"にしてください。

"動画記録形式" (p. 103)

2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



3 "MENU"をタッチする



4 "再生設定"をタッチする



5 "特殊ファイル再生"をタッチする



6 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



"動画を再生する" (p. 49)

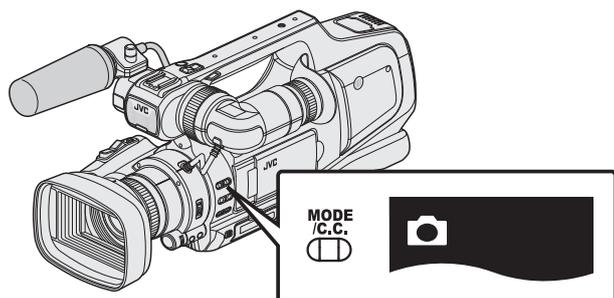
メモ：

- 管理情報が壊れたとき、EXTMOV フォルダに MTS ファイルが作成されます。
- 壊れたファイルの状況によって、再生できないことやスムーズに再生しないことがあります。

静止画を再生する

撮影した静止画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生できます。

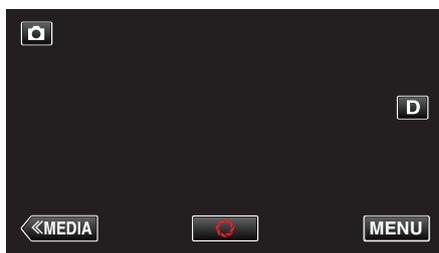
1 静止画モードか確認する



- 静止画モード になっているか確認します。
- 動画モード になっているときは、静止画モード()に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



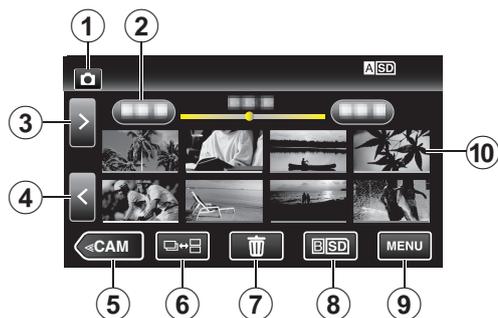
3 ファイル(静止画)をタッチして、再生を開始する



- **A/SD/B/SD** をタッチすると再生するメディアが切り換り、一覧表示(サムネイル表示)が変更できます。
- 再生中に をタッチすると、一覧表示に戻ります。
- 最後に再生したファイルには が表示されます。
- 撮影した日付ごとに違う色のラインが表示されます。

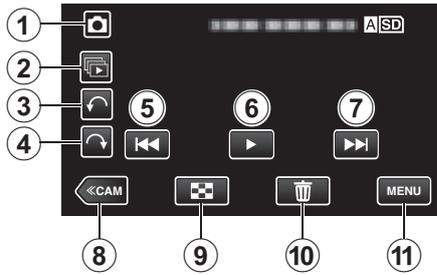
静止画再生の操作ボタン

一覧表示中



	画面表示	説明
①	動画/静止画切換	動画モード(60i/60p)と静止画モードを切り換えます。
②	日付	前/次の撮影日に移動します。
③	>	次の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。 • ズームレバーでも操作できます。
④	<	前の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。 • ズームレバーでも操作できます。
⑤	<<CAM	カメラ(撮影)モードに切り換えます。
⑥		2秒以内に連続して撮影された静止画および連写モードで撮影された静止画は、グループ化されて緑色の枠がつき、別の一覧表示に表示されます。 ボタンをタッチするたびに、通常の一覧表示とグループ化された一覧表示が切り換わります。
⑦		削除用の一覧表示(サムネイル表示)を表示します。
⑧	A/SD/B/SD	SDカードのスロットを切り換えます。
⑨	MENU	メニュー画面を表示します。
⑩	ファイル(静止画)	タッチすると、再生を開始します。 右になぞると一覧表示が右にスクロールし、前の一覧表示(サムネイル表示)が表示されます。 左になぞると一覧表示が左にスクロールし、次の一覧表示(サムネイル表示)が表示されます。

静止画再生中



	画面表示	説明
①	動画/静止画切換	動画モード(60i/60p)と静止画モードを切り換えます。
②		連写した静止画を連続再生します。
③		タッチするたびに、左に 90°回転します。
④		タッチするたびに、右に 90°回転します。
⑤		前の静止画に戻ります。 • ズームレバーでも操作できます。
⑥		スライドショーを開始/一時停止します。 "スライドショーで再生する" (p. 57)
⑦		次の静止画に進みます。 • ズームレバーでも操作できます。
⑧	<<CAM	カメラ(撮影)モードに切り換えます。
⑨		一覧表示に戻ります。
⑩		現在表示している静止画を削除します。
⑪	MENU	メニュー画面を表示します。

メモ：

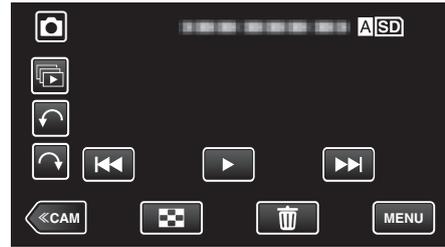
- 操作は、タッチパネルをタッチまたは、なぞることで行います。
 - 本機の操作を約5秒間行わないと、タッチパネルの操作ボタンが消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。
 - 再生中に、静止画を左右いずれかに 90°回転させることができます。回転は表示中の画像にのみ行えます。
 - 撮影した日付から目的の映像を探せます。多くなってきた映像から探すのに便利です。
- "目的の映像を撮影日から探す" (p. 58)

ご注意：

- 本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示が出たり、正常に動作しないことがあります。このようなときは、一度電源を切ってから AC アダプターおよびバッテリーを取りはずしてください。本機がリセットされます。

スライドショーで再生する

静止画はスライドショー機能を使って再生できます。静止画の再生中に▶をタッチすると、スライドショーが始まります。



"静止画再生の操作ボタン" (p. 56)

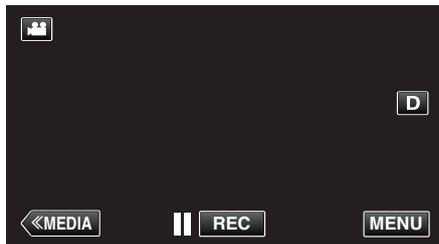
メモ：

- スライドショー再生の画面切換に効果を付けることができます。
- "スライドショー効果" (p. 113)

目的の映像を撮影日から探す

撮影した映像が多いと、見たい映像を一覧表示から探すのが大変です。そんなときは、見たい映像を検索してみましょう。撮影日から映像を検索して再生できます。

1 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



2 "MENU"をタッチする



- **A/SD/B/SD** をタッチすると再生するメディアが切り換り、一覧表示(サムネイル表示)が変更できます。
- 動画モード、静止画モードのどちらでも検索することができます。
※画面は動画モードです。

3 "再生設定"をタッチする



4 "日付検索"をタッチする



5 撮影日をタッチしたあとに、"次へ"をタッチする



- 選択した撮影日を取り消す場合は、その日付を再度タッチしてください。

6 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



- 動画モード時には動画を、静止画モード時には静止画を選ぶことができます。
- 選んだ日に撮影したファイル(映像)のみ表示されます。
- X をタッチすると検索を終了し、通常の一覧表示(サムネイル表示)に戻ります。

選んだ日付の映像を削除するには：
一覧表示(サムネイル表示)で  をタッチすると、不要な映像を削除できます。

"不要な映像を削除する" (p. 63)

テレビにつないで見る

本機をテレビにつないで見ることができます。テレビの種類や接続するケーブルによって、テレビに映る画質が変わります。お使いのテレビに最適な方法で接続してください。

- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

"HDMI 端子につないで見る" (p. 59)

"AV 端子につないで見る" (p. 61)

- テレビに日付を表示するには、"日時表示"と"テレビ表示"をそれぞれ"入"に設定してください。

"日時表示" (p. 112)

"テレビ表示" (p. 116)

テレビの表示が不自然なとき

症状	対処
テレビに正常に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● ケーブルを抜き差ししてください。 ● 本機の電源を入れ直してください。 ● バッテリー残量が少ないときは、映像が正常に表示されないことがあります。AC アダプターをお使いください。
テレビに縦長に映る	<ul style="list-style-type: none"> ● "出力設定"メニューの"ビデオ出力"を"4:3"に変更してください。 <p>"ビデオ出力" (p. 116)</p>
テレビに横長に映る	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ側で画面を調整してください。
不自然な色で映る	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビ側で画面を調整してください。
HDMI CEC が正常に動作せずに、本機とテレビが連動しない	<ul style="list-style-type: none"> ● HDMI CEC 規格に対応したテレビに接続した場合、テレビの仕様によっては、本機の動作に予期せぬ影響を及ぼすことがあります。すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。 ● "HDMI 機器制御"を"切"にしてください。 <p>"HDMI 機器制御" (p. 116)</p>
表示言語が変わった	<ul style="list-style-type: none"> ● 違う言語に設定したテレビと HDMI ケーブルで接続するときに発生する場合があります。

ご注意：

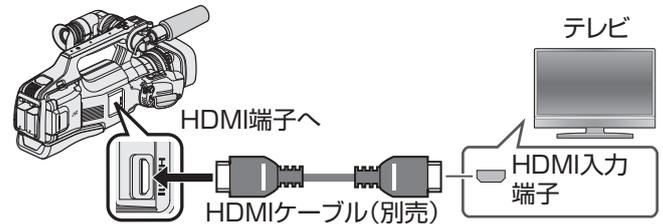
- ファイルにアクセスしているときは、記録メディアを出したり、電源を消したりしないでください。動作中にバッテリーの残量がなくなったら、データが破損する原因になりますので、必ず付属の AC アダプターを使用してください。記録メディアのデータが壊れた場合、メディアをフォーマットしてください。

HDMI 端子につないで見る

ハイビジョンテレビをお使い場合は、本機の HDMI 端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

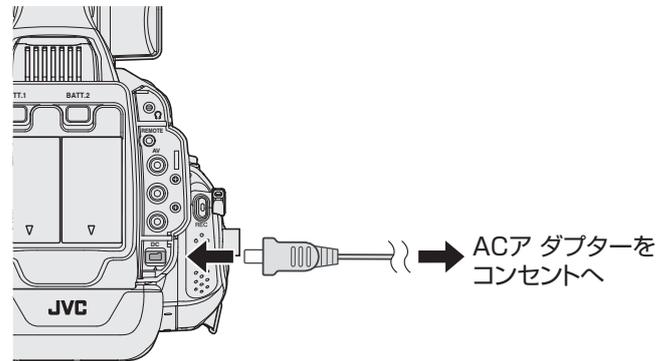
- HDMI ケーブルをお使いになるときは、High Speed HDMI ケーブルをお使いください。
- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

1 テレビに接続する

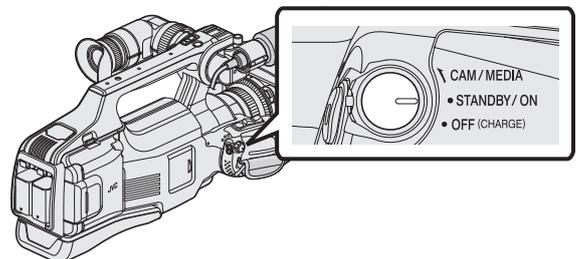


- カメラの電源を切ってください。

2 本機に AC アダプターをつなぐ



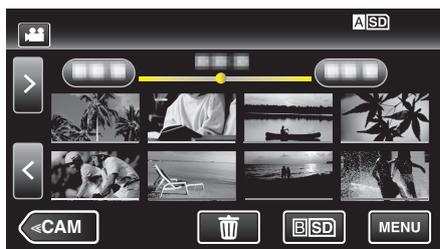
3 "STANDBY/ON OFF"スイッチを"ON"にする



4 テレビの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子に入力を切り換える



5 映像を再生する



"動画を再生する" (☞ p. 49)

"静止画を再生する" (☞ p. 56)

メモ: _____

- 接続に応じて、"HDMI 出力"の設定を変更してください。
- "HDMI 出力" (☞ p. 116)
- お使いのテレビの機種によっては、HDMI ケーブルで接続したときに、映像や音声は正常に出力されない場合があります。このときは、以下の操作をしてください。
 - 1) HDMI ケーブルを抜き差ししてください。
 - 2) 本機の電源を入れ直してください。
 - テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

テレビとの HDMI 連動機能を使う

本機と HDMI CEC 規格に準拠したリンク連動機能対応テレビを HDMI ケーブルで接続すると、本機とテレビを連動させることができます。

- HDMI CEC (Consumer Electronics Control) は HDMI ケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

メモ: _____

- すべての HDMI 対応機器が HDMI CEC 規格に対応しているわけではありません。非対応機器を接続した場合、本機の HDMI 機器制御は動きません。
- すべての HDMI CEC 対応機器との動作を保証するものではありません。
- HDMI CEC 対応機器であっても各機器の仕様により搭載機能が異なる場合がありますので、本機との連動機能がすべて働くわけではありません。(お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください)
- 接続機器によっては、意図しない動作をする場合があります。このようなときは、"HDMI 機器制御"を "切"にしてください。

"HDMI 機器制御" (☞ p. 116)

準備

- HDMI ケーブルで本機とテレビを接続する
- "HDMI 端子とつないで見る" (☞ p. 59)
- テレビの電源を入れ、HDMI CEC に関する設定を "入"にする (お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください)
 - 本機の電源を入れ、"共通"メニューの "HDMI 機器制御"を "入"にする
- "HDMI 機器制御" (☞ p. 116)

操作方法 1

- 1 本機の電源を入れる
- 2 再生モードにする
- 3 HDMI ケーブルで接続する
 - 自動的に、テレビの入力が HDMI 入力に切り換わります。

操作方法 2

- 1 テレビの電源を切る
 - 自動的に、本機の電源が切れます。

メモ: _____

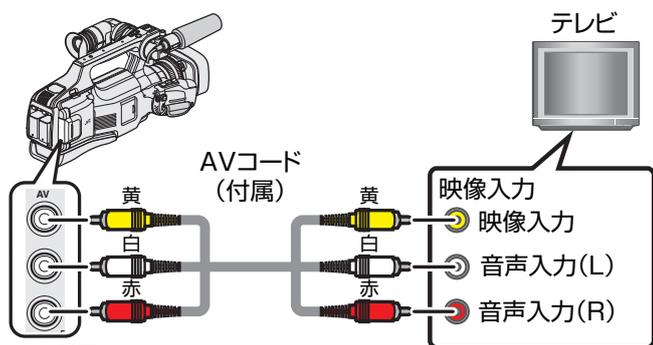
- 接続したテレビによって、本機の電源を入れると、自動的にテレビで選択した表示言語に換わります。(本機がテレビで選択した表示言語を対応できるときのみ) テレビと違う表示言語を使いたいときは、"HDMI 機器制御"を "切"にしてください。
- 本機の表示言語を換えても、テレビの表示言語は自動的に換わりません。
- アンプやセレクターなどを接続したときに正常に動作しないことがあります。"HDMI 機器制御"を "切"にしてください。
- HDMI CEC が正常に動作しない場合、本機の電源を入れ直してください。

AV 端子とつないで見る

本機の AV 端子に付属の AV コードを接続すると、映像をテレビで再生できます。

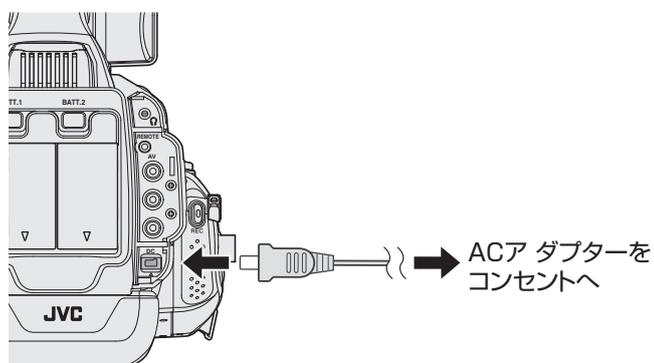
- お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

1 テレビに接続する

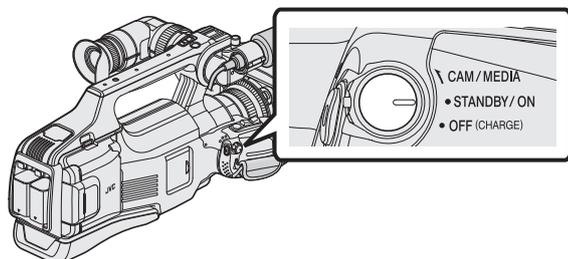


- カメラの電源を切ってください。

2 本機に AC アダプターをつなぐ



3 "STANDBY/ON OFF"スイッチを "ON"にする



4 テレビの外部入力ボタンなどを押し、本機を接続した端子に入力を切り換える



5 映像を再生する



"動画を再生する" (☞ p. 49)

"静止画を再生する" (☞ p. 56)

メモ：

- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

本機で作った DVD やブルーレイディスクを再生する

本機のバックアップ機能で作成した DVD やブルーレイディスクは、別売の再生機能付き DVD ライター CU-VD50 (DVD のみ) や一般の DVD やブルーレイディスクプレイヤーを使ってテレビで再生できます。また、DVD は DVD ライターと本機をつないで再生することもできます。

"BD ライター (外付型ブルーレイドライブ) でディスクを作る" (p. 73)

"DVD ライターでディスクを作る" (p. 81)

- 一般の DVD プレイヤーやブルーレイディスクプレイヤーの再生方法については、お使いのプレイヤーの取扱説明書をご覧ください。

再生機器	DVD (AVCHD 形式)	ブルーレイディスク
本機と接続した DVD ライター	○	—
本機と接続した BD ライター (外付型ブルーレイドライブ)	○	○
DVD プレイヤー/ DVD レコーダー	○※	—
ブルーレイプレーヤー/ ブルーレイレコーダー	○※	○
再生機能付き DVD ライター (CU-VD50)	○	—

※AVCHD 対応機器のみ

ご注意:

- AVCHD 形式で作成した DVD は、標準画質の DVD プレイヤーなどでは再生できません。ディスクを取り出せなくなることがあります。

ブルーレイプレーヤー、DVD プレイヤーでのダイジェスト再生について

作成したディスク内の動画を、シーンごとに数秒ずつ連続して再生します。

- 1 作成したディスクをプレーヤーにセットする
- 2 テレビで "ダイジェスト再生" を選ぶ
 - ダイジェストは連続で再生されます。



(本機の画面は表示されません。)

メモ:

- 通常再生・インデックスメニューに戻るとき
 - 1) ダイジェスト再生中、プレーヤーのリモコンのトップメニューボタンを押す
 - 2) どれかを選ぶ
- 本機に DVD ライターや BD ライター (外付型ブルーレイドライブ) を接続して再生する場合は、ダイジェスト再生ができません。

不要な映像を削除する

記録メディアの容量が少なくなってきたら、不要な動画や静止画を削除しましょう。

映像を削除すると、記録メディアの空き容量を増やすことができます。

"表示(再生)しているファイルを削除する" (☞ p. 63)

"選んで削除する" (☞ p. 63)

メモ:

- 一度削除した映像は、元に戻せません。
- プレイリストに含まれている映像を削除したときは、プレイリストが変更されます。
- 保護(プロテクト)されている映像は削除できません。プロテクトを解除してから、削除してください。

"映像を保護する" (☞ p. 64)

- 重要なファイルは必ずパソコンにバックアップしてください。

"Windows パソコンに保存する" (☞ p. 99)

"Mac コンピューターに保存する" (☞ p. 101)

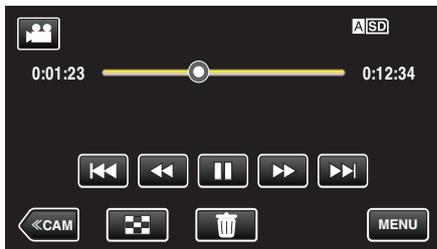
表示(再生)しているファイルを削除する

表示(再生)しているファイルを削除します。

ご注意:

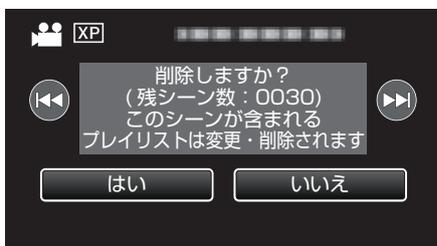
- 一度削除した映像は、元に戻せません。

1 𠂇 をタッチする



- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。

2 "はい"をタッチする



- ◀◀/▶▶をタッチすると、前後のファイルが選べます。
- 全てのファイルが削除されると、一覧表示の画面に戻ります。

選んで削除する

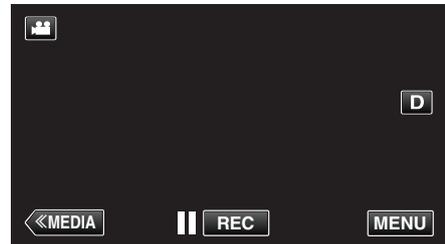
削除する映像を選んで、まとめて削除します。

ご注意:

- 一度削除した映像は、元に戻せません。

1 動画または静止画を選ぶ

2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。

3 𠂇 をタッチする



- 動画の一覧は、記録の設定にしたがって AVCHD (60i)/AVCHD (60p)/MOV が別々に表示されます。

4 削除したいファイル(映像)をタッチする

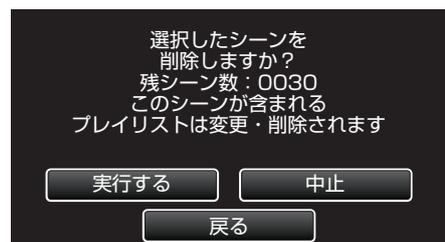


- タッチしたファイルに✓が表示されます。✓表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- "全選択"をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- "全解除"をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。

5 "決定"をタッチする



6 "実行する"をタッチして、削除する



- 削除が終了したら、「OK」をタッチしてください。
- 削除を取り消したい場合は、「中止」をタッチしてください。

映像を保護する

大切な動画/静止画を誤って削除してしまうことのないように、大事な映像は保護しておきましょう。

"表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する" (p. 64)

"選んで保護する/選んで保護を解除する" (p. 64)

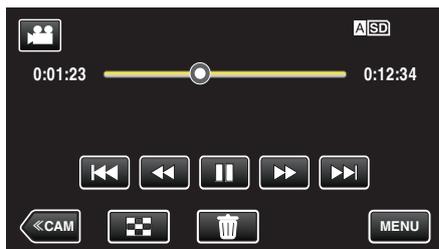
ご注意:

- 記録メディアをフォーマットをした場合は、保護している映像も削除されてしまいますのでご注意ください。

表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する

表示(再生)しているファイルを保護、または保護されているファイルを解除します。

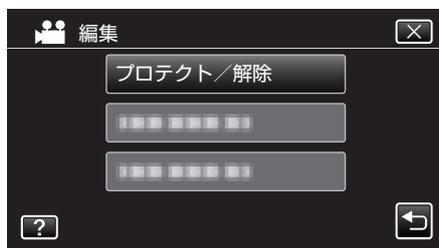
- "MENU"をタッチする



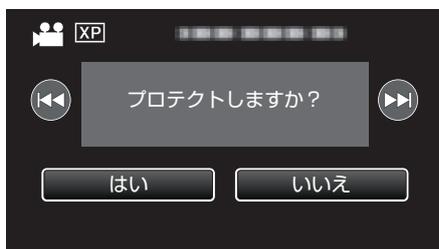
- "編集"をタッチする



- "プロテクト/解除"をタッチする



- "はい"をタッチする

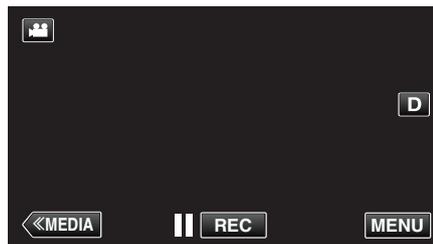


- ◀◀/▶▶をタッチすると、前後のファイルが選べます。
- 設定が終わったら、"OK"をタッチしてください。

選んで保護する/選んで保護を解除する

映像を選んでまとめて保護、または解除します。

- 動画または静止画を選ぶ
- <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



- "MENU"をタッチする

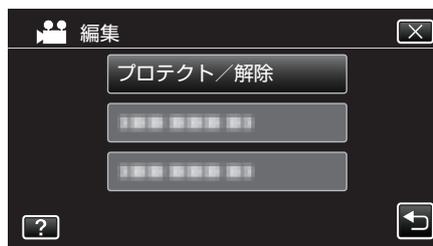


- 動画の一覧は、記録の設定にしたがって AVCHD (60i)/AVCHD (60p)/MOV が別々に表示されます。

- "編集"をタッチする



- "プロテクト/解除"をタッチする



- 保護したい、または保護を解除したいファイル(映像)をタッチする



- タッチしたファイルに✓が表示されます。
✓表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- 既に保護されているファイルは On と ✓ が表示されます。
保護を解除するには、解除したいファイルをタッチし、✓を消してください。
- "全選択"をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- "全解除"をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。

7 "決定"をタッチして、終了する

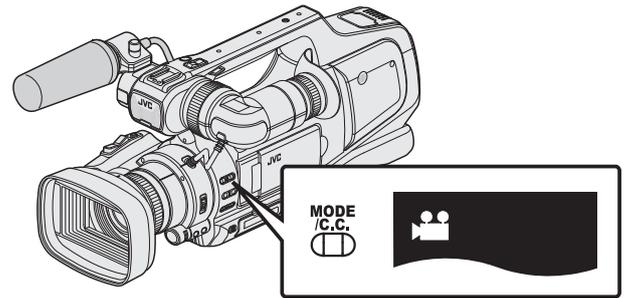


- 選択したファイルに、保護を意味する **On** が表示されます。保護を解除したファイルからは、**On** の表示が消えます。

再生中の動画を静止画にする

撮影した動画のお気に入りの場面を静止画に切り出して保存できます。

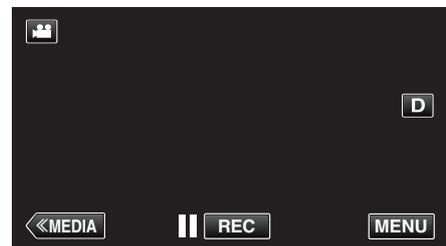
1 動画モードか確認する



- 動画モード **📹** になっているか確認します。
- 静止画モード **📷** になっているときは、動画モード(**📹**)に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

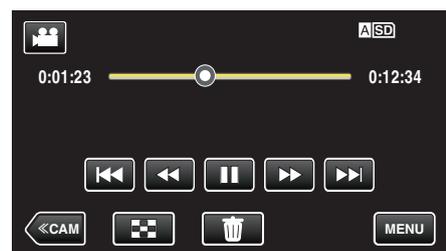
2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



3 動画を選択してタッチする

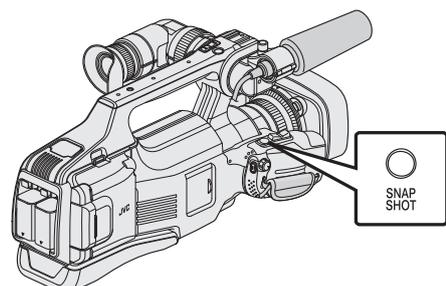


- 動画の一覧は、記録の設定にしたがって AVCHD (60i)/AVCHD (60p)/MOV が別々に表示されます。

4 お望みの場面で一時停止 **||** をタッチする

- 一時停止したあとに、操作ボタンのコマ送り **▶▶** とコマ戻し **◀◀** をタッチして、切り出したい場面を微調整できます。

5 SNAPSHOT ボタンを押す



メモ：

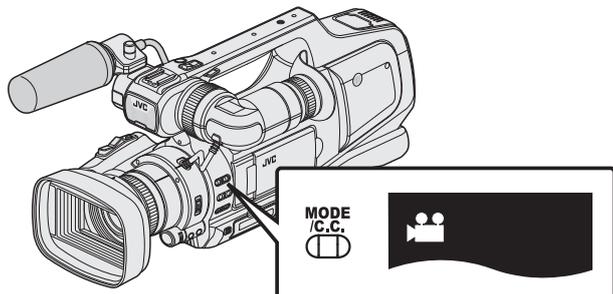
- 切り出した静止画のサイズは、1920×1080 になります。
- 切り出した静止画は、動画を再生しているメディアに記録されます。

動画を必要な部分だけにする(トリミング)

動画の必要な部分だけを切り出してコピーし、新しい動画として保存できます。

- 編集した元の動画は、そのまま残ります。

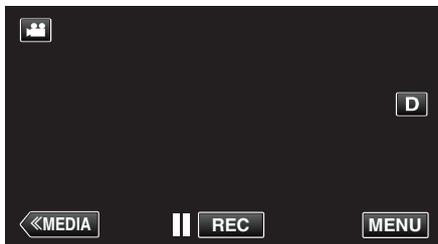
1 動画モードか確認する



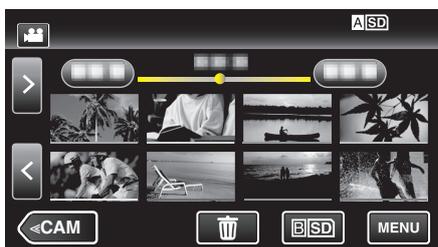
- 動画モード になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、動画モード()に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



3 "MENU"をタッチする



- 動画の一覧は、記録の設定にしたがって AVCHD (60i)/AVCHD (60p)/MOV が別々に表示されます。

4 "編集"をタッチする



5 "トリミング"をタッチする



6 編集したい動画をタッチする

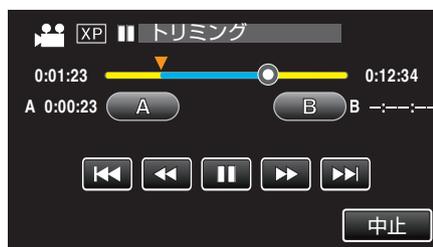


7 切り出し開始位置で || をタッチして一時停止し、"A"をタッチする



- "A"をタッチすると、開始位置が決定します。
- 開始位置を決めたら、▶ をタッチして再生を再開してください。

8 切り出し終了位置で || をタッチして一時停止し、"B"をタッチする



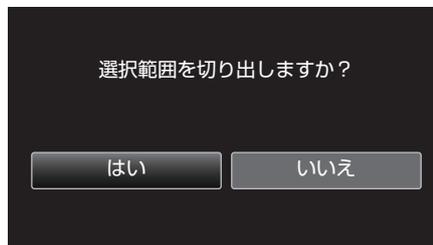
- "B"をタッチすると、終了位置が決定します。
- 開始位置または終了位置を修正するときは、お好みの場面(位置)で "A"または "B"をタッチしてください。

9 "決定"をタッチする



- "決定"をタッチすると、切り出し範囲が確定します。

10 "はい"をタッチする



- コピーが完了したら、"OK"をタッチしてください。
- コピー完了後、コピーした動画が一覧表示に追加されます。

メモ:

- 分割点が選んだ場面から多少ずれることがあります。

録画した動画から選んでプレイリストを作る

録画した動画 (AVCHD 形式) から好みのものを選んで作成したリストをプレイリストといいます。

プレイリストを作成しておくとお気に入りの動画だけを好きな順番に並べて再生できます。

動画ファイルをプレイリストに登録しても、元の動画ファイルはそのまま残ります。

※MOV 形式で撮影した動画では、この機能は使用できません。

● プレイリストを新規作成するには

"映像を選んでプレイリストを作る" (☞ p. 67)

"撮影日を選んでプレイリストを作る" (☞ p. 68)

● 作成したプレイリストを編集したり、削除するには

"プレイリストを編集する" (☞ p. 70)

"プレイリストを削除する" (☞ p. 72)

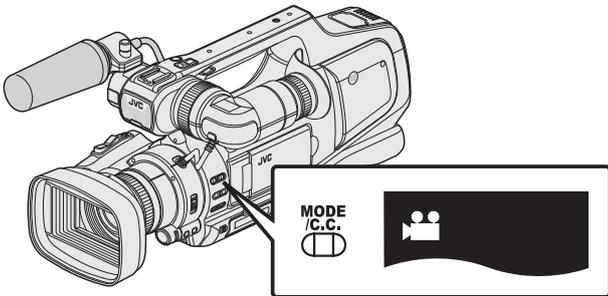
メモ：

● 動画ファイルを削除またはムーブすると、プレイリストから同じ動画が取り除かれます。

映像を選んでプレイリストを作る

動画を1つずつ並べ、プレイリストを作ります。

1 動画モードが確認する



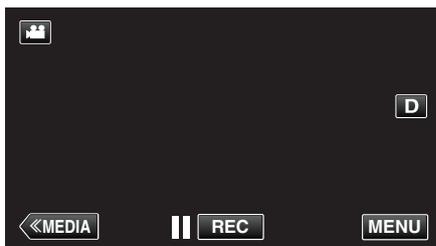
- 動画モード になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、動画モード () に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (☞ p. 20)

● "動画記録形式"を "AVCHD" にしてください。

"動画記録形式" (☞ p. 103)

2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



3 "MENU" をタッチする

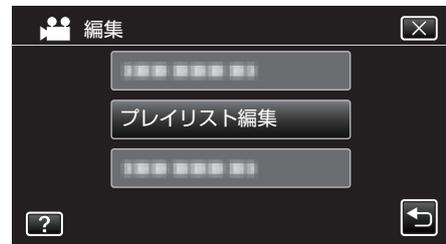


- 動画の一覧は、記録の設定にしたがって AVCHD (60i)/AVCHD (60p)/MOV が別々に表示されます。

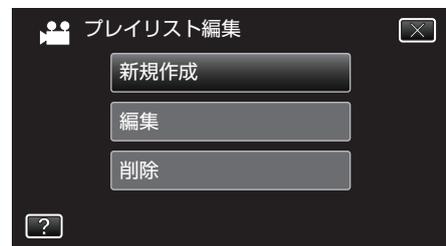
4 "編集" をタッチする



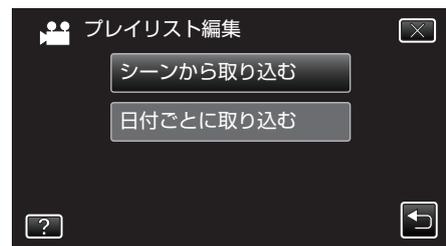
5 "プレイリスト編集" をタッチする



6 "新規作成" をタッチする



7 "シーンから取り込む" をタッチする



8 プレイリストに追加したい動画をタッチする



- 選択した動画に が表示されます。
- 選択した動画をもう一度タッチすると、選択した動画を確認できます。確認終了後は をタッチしてください。
- をタッチする、またはズームレバーを動かすと前/次の動画を表示できます。
- 1920 は動画サイズを表しています。
- 動画サイズが異なるファイルは、同一のプレイリストに取り込めません。

9 "追加"をタッチし、動画を最後の部分に挿入する

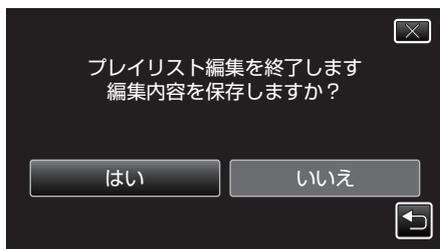


- 手順 8~9 を繰り返し、プレイリストに動画を並べてください。
- プレイリスト(下段)の動画の順番を入れ換えたいときは、手順 8 の操作後、← または → で挿入位置を選び、「追加」をタッチしてください。
- 挿入された動画を選択すると、▶ が表示されます。◀ をタッチすると選択を解除します。
- 選択した動画をもう一度タッチすると、選択した動画を確認できます。確認終了後は ◀ をタッチしてください。
- プレイリスト(下段)の中の動画を削除したいときは、動画をタッチしたあとに "取消" をタッチしてください。
- 1920 は動画サイズを表しています。

10 プレイリストの編集が終わったあと、「保存」をタッチする



11 "はい"をタッチする

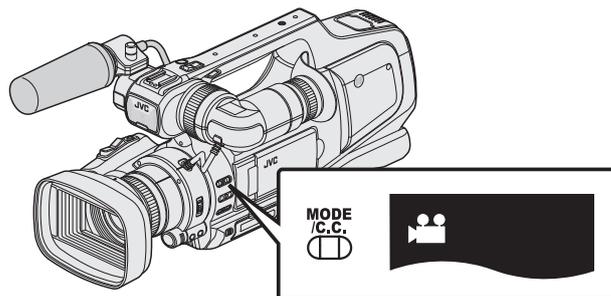


- メモ : _____
- 各画面で × をタッチすると、メニューを閉じます。

撮影日を選んでプレイリストを作る

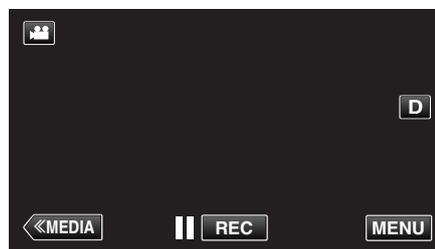
動画を撮影日ごとにまとめて並べ、プレイリストを作ります。

1 動画モードか確認する



- 動画モード になっているか確認します。
 - 静止画モード になっているときは、動画モード()に切り換えてください。
- "動画/静止画撮影モードを選択する" (☞ p. 20)
- "動画記録形式"を "AVCHD" にしてください。
- "動画記録形式" (☞ p. 103)

2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



3 "MENU"をタッチする



- 動画の一覧は、記録の設定にしたがって AVCHD(60i)/AVCHD(60p)/MOV が別々に表示されます。

4 "編集"をタッチする



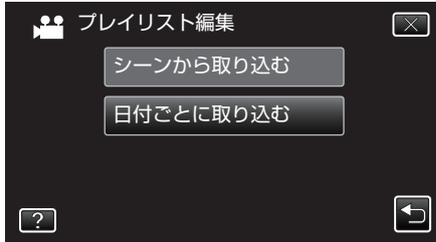
5 "プレイリスト編集"をタッチする



6 "新規作成"をタッチする



7 "日付ごとに取り込む"をタッチする



8 プレイリストに追加したい撮影日の動画をタッチする



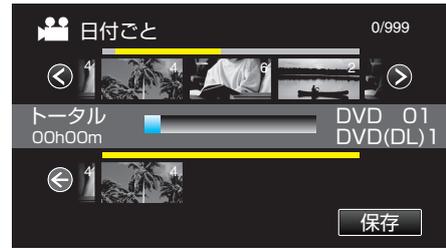
- 選択した動画に▶が表示されます。
- 選択した動画をもう一度タッチすると、同じ撮影日内の動画を確認できます。確認終了後は⏏をタッチしてください。
- </>をタッチする、またはズームレバーを動かすと前/次の動画を表示できます。
- 動画に表示されている数字は、同じ撮影日の動画数です。

9 "追加"をタッチし、動画を最後の部分に挿入する

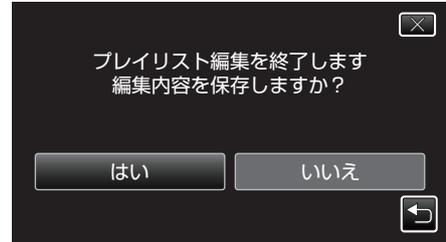


- 手順 8~9 を繰り返し、プレイリストに動画を並べてください。
- プレイリスト(下段)の動画の順番を入れ換えたいときは、手順 8 の操作後、← または → で挿入位置を選び、"追加"をタッチしてください。
- 挿入された動画を選択すると、▶が表示されます。⏏をタッチすると選択を解除します。
- 選択した動画をもう一度タッチすると、選択した動画と同じ撮影日内の動画を確認できます。確認終了後は⏏をタッチしてください。
- プレイリスト(下段)の中の動画を削除したいときは、動画をタッチしたあとに"取消"をタッチしてください。

10 プレイリストの編集が終わったあと、"保存"をタッチする



11 "はい"をタッチする



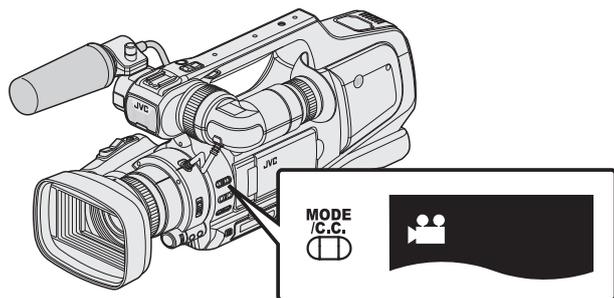
メモ：――

- 各画面で × をタッチすると、メニューを閉じます。

プレイリストを編集する

作成したプレイリストの内容を変更できます。
ダイジェスト再生から作成したプレイリストの内容は変更できません。

1 動画モードか確認する



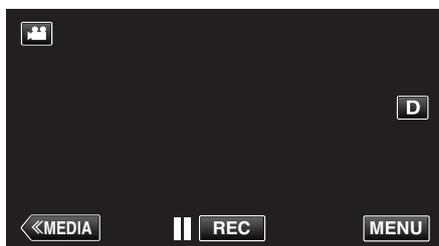
- 動画モード になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、動画モード()に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

- "動画記録形式"を"AVCHD"にしてください。

"動画記録形式" (p. 103)

2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



3 "MENU"をタッチする

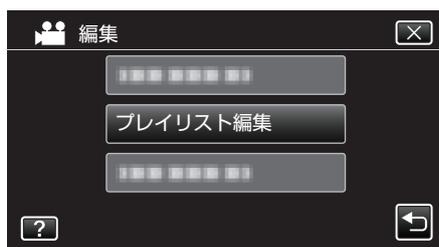


- 動画の一覧は、記録の設定にしたがって AVCHD(60i)/AVCHD(60p)/MOV が別々に表示されます。

4 "編集"をタッチする



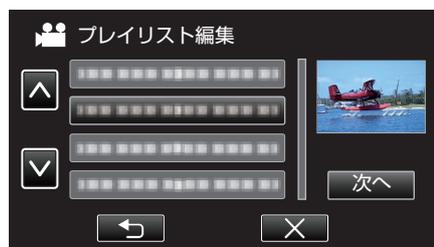
5 "プレイリスト編集"をタッチする



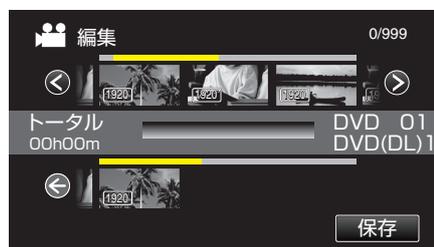
6 "編集"をタッチする



7 編集したいプレイリストを選択してタッチし、タッチしたあとに、"次へ"をタッチする



8 プレイリストに並べる動画(上段)をタッチする



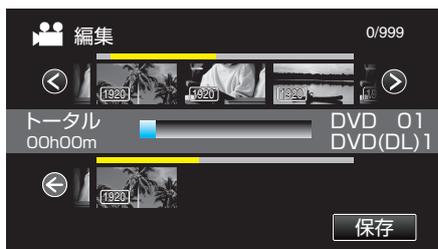
- 選択した動画に ▶ が表示されます。
- 選択した動画をもう一度タッチすると、選択した動画を確認できます。確認終了後は ◀ をタッチしてください。
- </> をタッチする、またはズームレバーを動かすと前/次の動画を表示できます。
- 1920 は動画サイズを表しています。

9 "追加"をタッチし、動画を最後の部分に挿入する

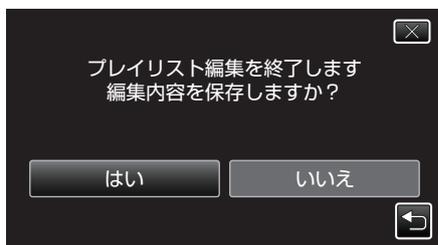


- 手順 8~9 を繰り返し、プレイリストに動画を並べてください。
- プレイリスト(下段)の動画の順番を入れ換えたいときは、手順 8 の操作後、◀ または ▶ で挿入位置を選び、"追加"をタッチしてください。
- 挿入された動画を選択すると、▶ が表示されます。◀ をタッチすると選択を解除します。
- 選択した動画をもう一度タッチすると、選択した動画を確認できます。確認終了後は ◀ をタッチしてください。
- プレイリスト(下段)の中の動画を削除したいときは、動画をタッチしたあとに"取消"をタッチしてください。
- 1920 は動画サイズを表しています。

10 プレイリストの編集が終わったあと、「保存」をタッチする



11 "はい"をタッチする



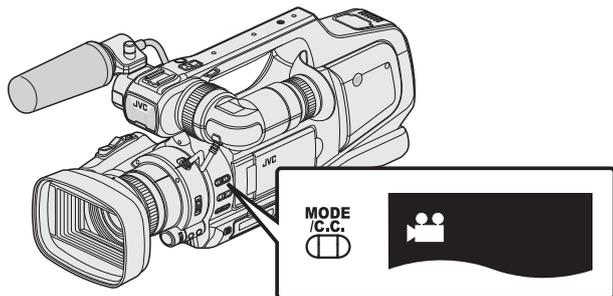
メモ：_____

- 各画面で X をタッチすると、メニューを閉じます。

プレイリストを削除する

作成したプレイリスト削除します。

1 動画モードか確認する



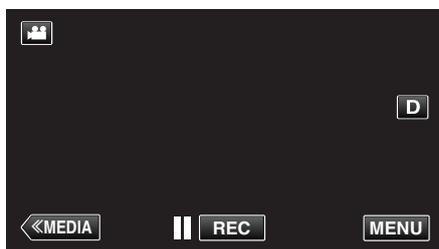
- 動画モード になっているか確認します。
- 静止画モード になっているときは、動画モード()に切り換えてください。

"動画/静止画撮影モードを選択する" (p. 20)

- "動画記録形式"を "AVCHD"にしてください。

"動画記録形式" (p. 103)

2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



3 "MENU"をタッチする

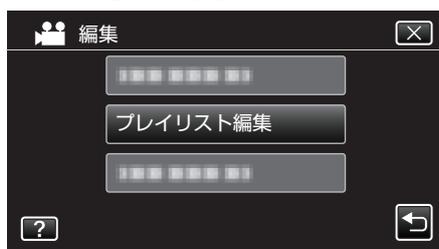


- 動画の一覧は、記録の設定にしたがって AVCHD (60i)/AVCHD (60p)/MOV が別々に表示されます。

4 "編集"をタッチする



5 "プレイリスト編集"をタッチする



6 "削除"をタッチする

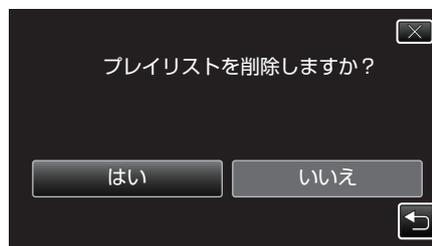


7 削除するプレイリストを選び、タッチしたあとに、"次へ"をタッチする



- "すべて削除"を選ぶと、作成したプレイリストをすべて削除します。

8 "はい"をタッチして削除する



- 削除が終わったら、"OK"をタッチしてください。
- 削除が完了すると、削除するプレイリスト選択画面に戻ります。

メモ:

- 各画面で X をタッチすると、メニューを閉じます。

BDライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを作る

※外付型ブルーレイドライブの当社製品は、「BDライター」になります。別売のBDライター(外付型ブルーレイドライブ)を使えば、撮影した映像(AVCHD形式)をディスクに保存したり、作成したディスクを再生したりできます。

対応するBDライター(外付型ブルーレイドライブ)

- 当社製(BDライター)
 - ・CU-BD50
- I-O DATA(アイ・オー・データ機器)製
 - ・BRD-U8S
 - ・BRD-U8DM

※ BRD-U8S および BRD-U8DM は、生産が完了しています。在庫については、販売店にご確認ください。
(2014年8月現在)

BDライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを作るには

■ BDライター(外付型ブルーレイドライブ)を準備する

"BDライター(外付型ブルーレイドライブ)を準備する" (☞ p. 73)

■ ディスクに保存する

"映像をまとめて保存する" (☞ p. 74)

"日付を選んでまとめて保存する" (☞ p. 76)

"プレイリストを選んで保存する" (☞ p. 77)

"映像を選んで保存する" (☞ p. 79)

保存したい動画、または静止画を選んで保存します。

■ その他操作

"BDライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを再生する" (☞ p. 81)

メモ:

- MOV形式で撮影した映像はディスクにできません。
- DVD-Video形式でディスクを作成することはできません。
- 1枚のディスクに動画(60i)、動画(60p)、静止画を混在させて保存することはできません。
- ディスクに記録できる時間は、撮影のしかたによって変化します。
- 多くのファイルをバックアップするときは、バックアップが終了するまでに時間がかかる場合があります。アクセスランプ点滅中は正しく動作していますので、しばらくお待ちください。
- 作成したディスクには、日付情報は字幕として保存されます。

BDライター(外付型ブルーレイドライブ)を準備する

メモ:

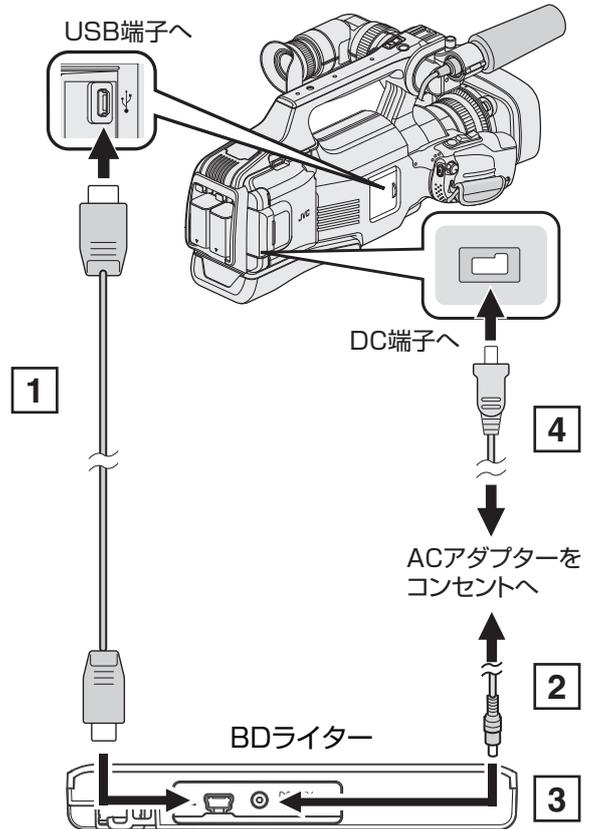
- 本機をBDライター(外付型ブルーレイドライブ)へ接続するときは、ミニA(オス)ーB(オス)の変換USBケーブルをご利用ください。付属のUSBケーブルはご利用いただけませんので、ご注意ください。
- また、BDライター(外付型ブルーレイドライブ)に付属のUSBケーブルを使用するときは、下記の変換USBケーブルをお買い求めください。

サービス扱い: QAM0852-001 ※ ミニA(オス)ーA(メス)

※販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

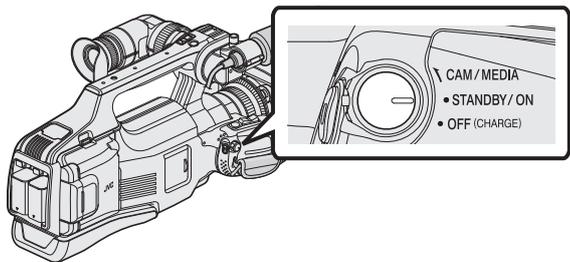
<http://www.3jvckenwood.com/support/hrepair.html>

- 1 電源(バッテリーとACアダプター)を取りはずす
- 2 USBケーブルとACアダプターを接続する



- 1 お使いのBDライター(外付型ブルーレイドライブ)に合ったUSBケーブルで本機とつなぐ
- 本機に付属のUSBケーブルは使用できません。
- 2 BDライター(外付型ブルーレイドライブ)の電源をつなぐ
- 3 BDライター(外付型ブルーレイドライブ)の電源を入れる
- 4 本機にACアダプターをつなぐ
 - BDライター(外付型ブルーレイドライブ)の取扱説明書もご覧ください。

3 "STANDBY/ON OFF"スイッチを "ON"にする



- 本機の電源を入れると、"バックアップ"メニューが表示されます。
- USB ケーブルをつないでいる間は、"バックアップ"メニューが表示されません。

4 新しいディスクを入れる



- 1 取り出しボタンを押して、ディスクトレイを開ける
- 2 新しいディスクを確実にはめ込む
- 3 取り出しボタンを押して、ディスクトレイを閉じる

メモ：
I-O DATA 製の外付型ブルーレイドライブを使用するには、下記の USB ケーブルをお買い求めください。本機に付属の USB ケーブルは使用できません。

- I-O DATA 製: USB-MAB/100 ミニ A (オス) – B (オス)
- また、BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)に付属の USB ケーブルを使用するときは、下記の変換 USB ケーブルをお買い求めください。
- サービス扱い: QAM0852-001 ※ ミニ A (オス) – A (メス)
※最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

<http://www3.jvckenwood.com/support/hrepair.html>

- ご注意：
- 機器を接続するときは、必ず電源を切ってください。電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。
 - 本機に付属の AC アダプターを、BD ライターに接続しないでください。
 - BD ライターに付属の AC アダプターを、本機に接続しないでください。

ディスクを作る

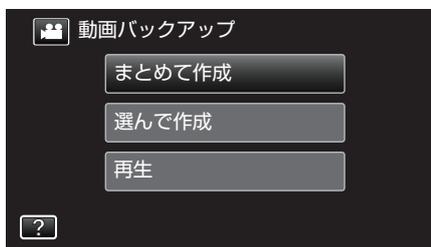
ディスクを作成する

- 1 BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)を準備する
 - BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)に新しいディスクを入れてください。
 "BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)を準備する" (p. 73)
- 2 以下の保存方法を選んで実行する
 - "映像をまとめて保存する" (p. 74)
 - "日付を選んでまとめて保存する" (p. 76)
 - "プレイリストを選んで保存する" (p. 77)
 - "映像を選んで保存する" (p. 79)

映像をまとめて保存する

本機に記録した動画、または静止画をまとめて保存します。一度も保存していない動画、または静止画だけをまとめて保存することもできます。

- 1 動画または静止画を選ぶ
- 2 "まとめて作成"(動画)または "まとめて保存"(静止画)をタッチする



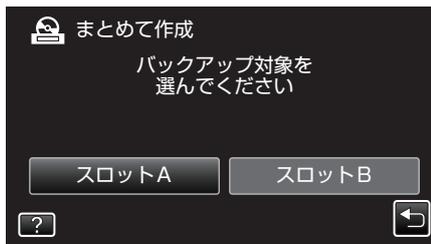
- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。
- 人をタッチすると、動画(60i)、動画(60p)、静止画を切り換えることができます。保存したいファイルのモードに切り換えてください。

3 "BD"または "DVD(AVCHD)"をタッチする

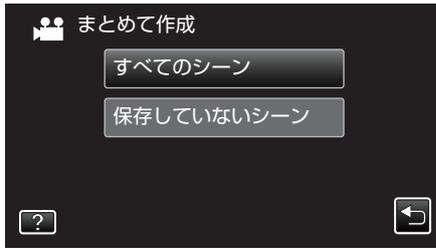


- タッチした項目にメディアを切り換えます。ディスクに合わせて項目を選んでください。
- "BD"を選ぶと、ハイビジョン画質のままブルーレイディスクに保存できます。
- "DVD(AVCHD)"を選ぶと、ハイビジョン画質のまま DVD に保存できます。
- 手順2で動画(60p)を選択した場合は、自動的に "BD" が選択されるため、この画面は表示されません。

4 保存するメディアをタッチする

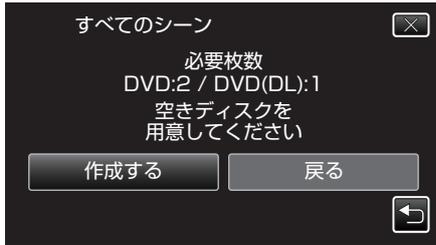


5 作成方法をタッチする



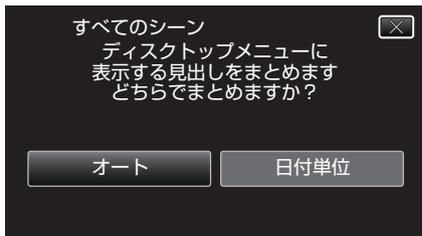
- "すべてのシーン"(動画)/"すべての画像"(静止画):
本機内にあるすべての動画、または静止画を保存します。
- "保存していないシーン"(動画)/"保存していない画像"(静止画):
一度も保存していない動画、または静止画をまとめて保存します。

6 "作成する"をタッチする



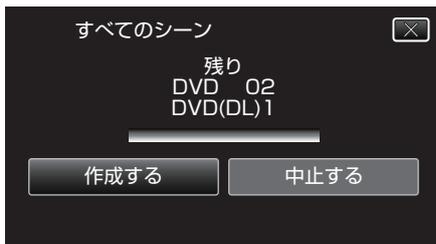
- 作成に必要なディスクの枚数が表示されます。
ディスクを用意してください。

7 "オート"または"日付単位"をタッチする(👤モードのみ)



- "オート"を選ぶと、撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
- "日付単位"を選ぶと、撮影日を見出しにします。

8 "作成する"をタッチする



- 「新しいディスクに入れ替えてください」「中止」を押すと作成を 終了 します」と表示されたときは、新しいディスクに入れ換えてください。

9 "作成しました"が表示されたら、"OK"をタッチする



10 本機の電源を切ったあとに、USB ケーブルを抜く

ご注意:

- 保存が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。また、特殊ファイルも保存できません。
- DVD のファイナライズは自動的に行われます。
BD-R/BD-RE は追記できますが、DVD-R/DVD-RW には追記ができなくなります。
- "DVD(AVCHD)"を選んで作成した DVD は、AVCHD 対応機器でのみ再生できます。
- 60p モード("システムセレクト"を"60p")で記録した動画は、ブルーレイディスクにのみ保存できます。
- 60p モード("システムセレクト"を"60p")で記録した動画を保存したブルーレイディスクは、AVCHD Progressive 対応機器でのみ再生できます。

メモ:

- 作成したディスクを確認するときは、"BDライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを再生する" (p. 81) をご覧ください。

"BDライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを再生する" (p. 81)

日付を選んでまとめて保存する

撮影した日付ごとに動画、または静止画をまとめて保存します。

- 1 動画または静止画を選ぶ
- 2 "選んで作成"(動画)または"選んで保存"(静止画)をタッチする



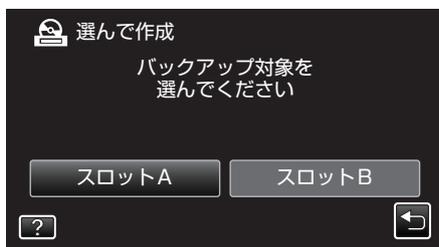
- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。
- 人をタッチすると、動画(60i)、動画(60p)、静止画を切り換えることができます。保存したいファイルのモードに切り換えてください。

- 3 "BD"または"DVD(AVCHD)"をタッチする

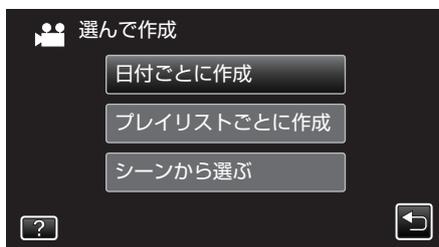


- タッチした項目にメディアを切り換えます。ディスクに合わせて項目を選んでください。
- "BD"を選ぶと、ハイビジョン画質のままブルーレイディスクに保存できます。
- "DVD(AVCHD)"を選ぶと、ハイビジョン画質のまま DVD に保存できます。
- 手順2で動画(60p)を選択した場合は、自動的に"BD"が選択されるため、この画面は表示されません。

- 4 保存するメディアをタッチする



- 5 "日付ごとに作成"(動画)または"日付ごとに保存"(静止画)をタッチする



- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。

- 6 保存したい撮影日をタッチする



- 保存したい作成日がない場合は、手順2で動画(60i)、動画(60p)、静止画を適切なモードに切り換えてください。

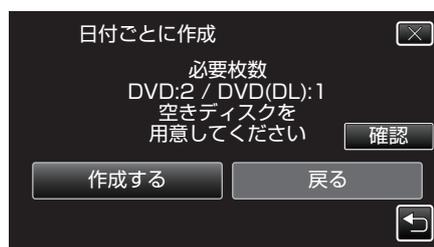
メモ:

- 複数の撮影日を選んで保存することはできません。複数の撮影日を保存したいときは、プレイリストを作成してから保存することをおすすめします。

"録画した動画から選んでプレイリストを作る" (p. 67)

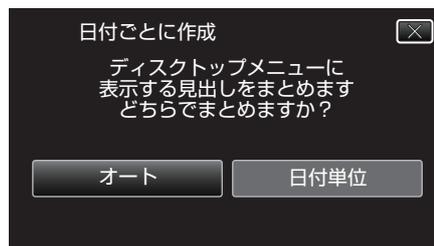
"プレイリストを選んで保存する" (p. 77)

- 7 "作成する"をタッチする



- 作成に必要なディスクの枚数が表示されます。ディスクを用意してください。

- 8 "オート"または"日付単位"をタッチする(人モードのみ)



- "オート"を選ぶと、撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
- "日付単位"を選ぶと、撮影日を見出しにします。

- 9 "作成する"をタッチする



- 「新しいディスクに入れ替えてください「中止」を押すと作成を終了します」と表示されたときは、新しいディスクに入れ換えてください。

10 "作成しました"が表示されたら、"OK"をタッチする



11 本機の電源を切ったあとに、USB ケーブルを抜く

ご注意:

- 保存が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。また、特殊ファイルも保存できません。
- DVD のファイナライズは自動的に行われます。BD-R/BD-RE は追記できますが、DVD-R/DVD-RW には追記ができなくなります。
- "DVD(AVCHD)"を選んで作成した DVD は、AVCHD 対応機器でのみ再生できます。
- 60p モード("システムセレクト"を"60p")で記録した動画は、ブルーレイディスクにのみ保存できます。
- 60p モード("システムセレクト"を"60p")で記録した動画を保存したブルーレイディスクは、AVCHD Progressive 対応機器でのみ再生できます。

メモ:

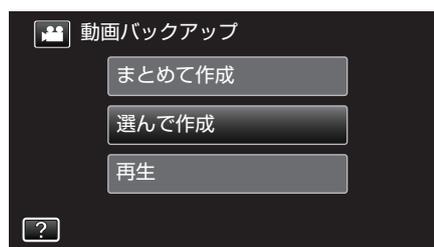
- 作成したディスクを確認するときは、"BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを再生する" (p. 81) をご覧ください。

"BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを再生する" (p. 81)

プレイリストを選んで保存する

作成したプレイリストをお好みの順番に並べて保存します。

- 1 動画を選ぶ
- 2 "選んで作成"をタッチする



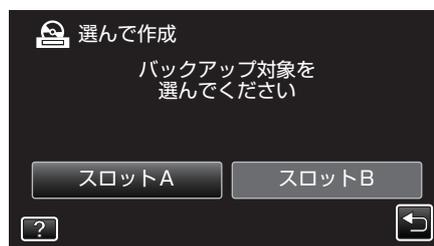
- 動画をタッチすると、動画(60i)、動画(60p)、静止画を切り換えることができます。保存したいファイルのモードに切り換えてください。

- 3 "BD"または"DVD(AVCHD)"をタッチする

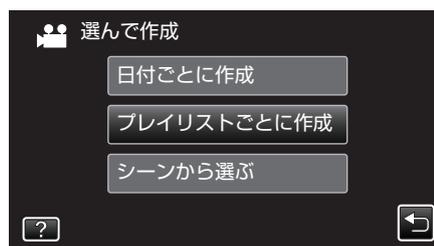


- タッチした項目にメディアを切り換えます。ディスクに合わせて項目を選んでください。
- "BD"を選ぶと、ハイビジョン画質のままブルーレイディスクに保存できます。
- "DVD(AVCHD)"を選ぶと、ハイビジョン画質のまま DVD に保存できます。

- 4 保存するメディアをタッチする



- 5 "プレイリストごとに作成"をタッチする



6 ディスクに保存したいプレイリストをタッチする



- 選択したプレイリスト(上段)に▶が表示されます。◀をタッチすると選択を解除します。
- 選択したプレイリストをもう一度タッチすると、プレイリストの内容を確認できます。確認終了後は▶をタッチしてください。
- </>をタッチする、またはズームレバーを動かすと前次のプレイリストを表示できます。
- 保存したいプレイリストがない場合は、手順2で動画(60i)、動画(60p)を適切なモードに切り換えてください。

7 "追加"をタッチし、プレイリストを挿入する

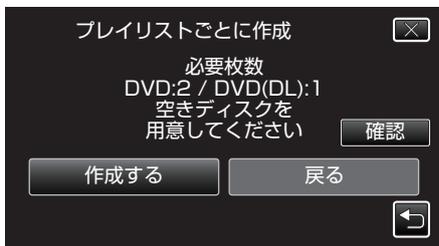


- 手順6~7を繰り返し、プレイリストを並べます。
- プレイリスト(下段)の順番を入れ換えたいときは、手順6の操作後、←または→で挿入位置を選び、「追加」をタッチしてください。
- 挿入されたプレイリストを選択すると、▶が表示されます。◀をタッチすると選択を解除します。
- 選択したプレイリストをもう一度タッチすると、プレイリストの内容を確認できます。確認終了後は▶をタッチしてください。
- プレイリスト(下段)の中の動画を削除したいときは、動画をタッチしたあとに「取消」をタッチしてください。

8 編集が終わったあと、「保存」をタッチする



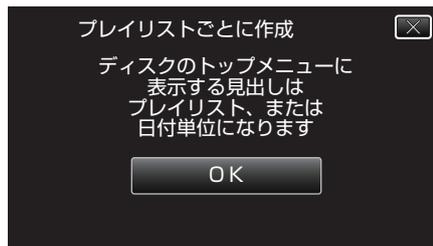
9 "作成する"をタッチする



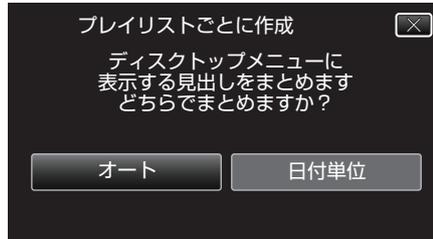
- 作成に必要なディスクの枚数が表示されます。ディスクを用意してください。
- "確認"をタッチすると、内容の確認ができます。

10 "OK"をタッチする

- 手順10の画面が表示されない場合、そのまま手順11にお進みください。



または、「オート」または「日付単位」をタッチする



- "オート"を選ぶと、撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
- "日付単位"を選ぶと、撮影日を見出しにします。

11 "作成する"をタッチする



- 「新しいディスクに入れ替えてください」「中止」を押すと作成を終了します」と表示されたときは、新しいディスクに入れ換えてください。

12 "作成しました"が表示されたら、「OK」をタッチする



13 本機の電源を切ったあとに、USB ケーブルを抜く

ご注意:

- 保存が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。また、特殊ファイルも保存できません。
- DVD のファイナライズは自動的に行われます。BD-R/BD-RE は追記できますが、DVD-R/DVD-RW には追記ができません。
- "DVD(AVCHD)"を選んで作成した DVD は、AVCHD 対応機器でのみ再生できます。
- 60p モード("システムセレクト"を"60p")で記録した動画は、ブルーレイディスクにのみ保存できます。
- 60p モード("システムセレクト"を"60p")で記録した動画を保存したブルーレイディスクは、AVCHD Progressive 対応機器でのみ再生できます。

メモ:

- 作成したディスクのトップメニューには、プレイリストが並びます。
- 作成したディスクを確認するときは、"BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを再生する" (p. 81) をご覧ください。

"BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを再生する" (p. 81)

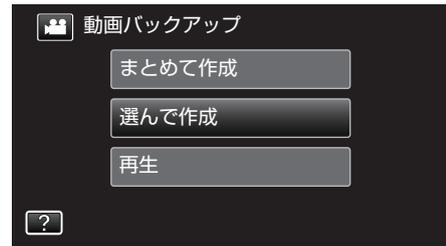
- プレイリストを作成するには

"録画した動画から選んでプレイリストを作る" (p. 67)

映像を選んで保存する

保存したい動画、または静止画を選んで保存します。

- 1 動画または静止画を選ぶ
- 2 "選んで作成"(動画)または"選んで保存"(静止画)をタッチする



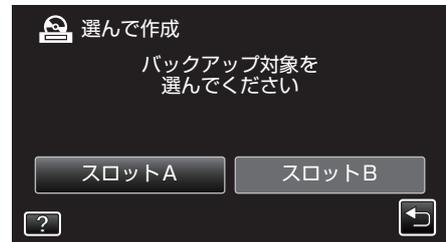
- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。
- 人をタッチすると、動画(60i)、動画(60p)、静止画を切り換えることができます。保存したいファイルのモードに切り換えてください。

- 3 "BD"または"DVD(AVCHD)"をタッチする

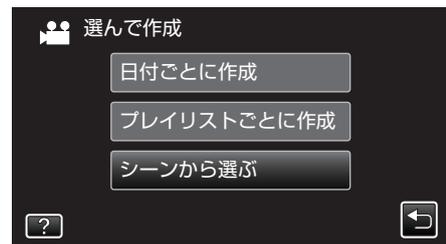


- タッチした項目にメディアを切り換えます。ディスクに合わせて項目を選んでください。
- "BD"を選ぶと、ハイビジョン画質のままブルーレイディスクに保存できます。
- "DVD(AVCHD)"を選ぶと、ハイビジョン画質のまま DVD に保存できます。

- 4 保存するメディアをタッチする



- 5 "シーンから選ぶ"(動画)または"画像から選ぶ"(静止画)をタッチする



- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。

6 保存したい動画、または静止画をタッチする

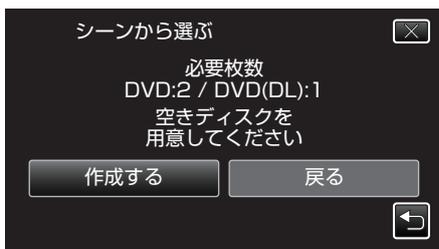


- タッチしたファイルに ✓ が表示されます。
✓ 表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- "確認"をタッチすると、映像を確認できます。
- 保存したい動画または静止画がない場合は、手順2で動画(60i)、動画(60p)、静止画を適切なモードに切り換えてください。

7 選び終わったら、"保存"をタッチする

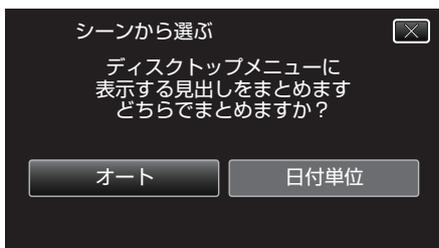


8 "作成する"をタッチする



- 作成に必要なディスクの枚数が表示されます。
ディスクを用意してください。

9 "オート"または"日付単位"をタッチする(👤モードのみ)



- "オート"を選ぶと、撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
- "日付単位"を選ぶと、撮影日を見出しにします。

10 "作成する"をタッチする



- 「新しいディスクに入れ替えてください「中止」を押すと作成を 終了 します」と表示されたときは、新しいディスクに入れ換えてください。

11 "作成しました"が表示されたら、"OK"をタッチする



12 本機の電源を切ったあとに、USB ケーブルを抜く

ご注意 :

- 保存が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。また、特殊ファイルも保存できません。
- DVD のファイナライズは自動的に行われます。
BD-R/BD-RE は追記できますが、DVD-R/DVD-RW には追記ができなくなります。
- "DVD(AVCHD)"を選んで作成した DVD は、AVCHD 対応機器でのみ再生できます。
- 60p モード("システムセレクト"を "60p")で記録した動画は、ブルーレイディスクにのみ保存できます。
- 60p モード("システムセレクト"を "60p")で記録した動画を保存したブルーレイディスクは、AVCHD Progressive 対応機器でのみ再生できます。

メモ :

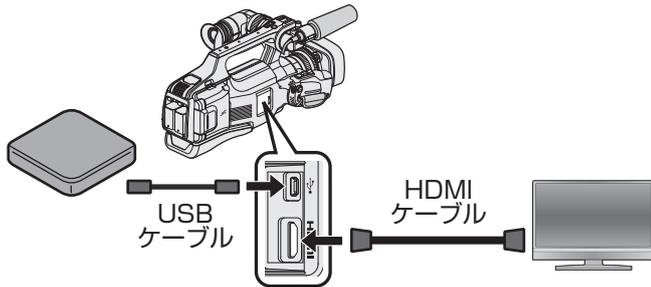
- 作成したディスクを確認するときは、"BDライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを再生する" (📖 p. 81) をご覧ください。
"BDライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを再生する" (📖 p. 81)

BDライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを再生する

本機で作ったブルーレイディスクやDVDを見ることができます。

1 本機にBDライターとテレビを接続する

(テレビを接続しなくても本機の液晶モニターで再生できます。)

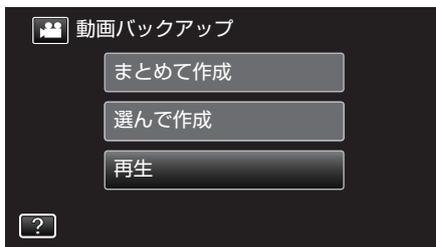


"BDライター(外付型ブルーレイドライブ)を準備する" (☞ p. 73)

"テレビにつないで見る" (☞ p. 59)

- BDライター(外付型ブルーレイドライブ)に見たいディスクを入れてください。

2 "バックアップ"メニューの"再生"をタッチする



- ディスクの動画が一覧表示(サムネイル表示)されます。
- 人をタッチすると、動画(60i)、動画(60p)、静止画を切り換えることができます。再生したいファイルのモードに切り換えてください。

3 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



- 動画再生の操作については、「動画再生の操作ボタン」(☞ p. 49)をご覧ください。

"動画再生の操作ボタン" (☞ p. 49)

- 再生を終了するときは、再生を停止したあとに、本機の電源を切ってください。そのあとで、USBケーブルをはずしてください。

メモ：

- 再生映像をテレビで見たいときは、本機にBDライター(外付型ブルーレイドライブ)を接続した状態で、HDMIケーブルまたはAVコードをテレビに接続してください。

"HDMI端子につないで見る" (☞ p. 59)

"AV端子につないで見る" (☞ p. 61)

DVDライターでディスクを作る

別売のDVDライターを使えば、撮影した映像(AVCHD形式)をディスクに保存したり、作成したディスクを再生したりできます。

対応するDVDライター

品名	説明
DVDライター • CU-VD3	<ul style="list-style-type: none"> • 本機で撮影した映像を、パソコンを使わずにDVDを作成することができます。 http://www3.jvckenwood.com/dvmain/acc/cuvid3.html
DVDライター • CU-VD50	<ul style="list-style-type: none"> • DVDを作成でき、パソコンと接続してパソコン用の外付DVDドライブとしてお使いいただけます。また、テレビとCU-VD50を接続して、作成したDVDを再生することができます。 http://www3.jvckenwood.com/dvmain/acc/cuvid50.html

メモ：

- DVDライターCU-VD3およびCU-VD50は、生産が完了しています。在庫については、販売店にご確認ください。

DVDライターでディスクを作るには

■ DVDライターを準備する

"DVDライターを準備する(CU-VD3の場合)" (☞ p. 82)

"DVDライターを準備する(CU-VD50の場合)" (☞ p. 82)

■ ディスクに保存する

"映像をまとめて保存する" (☞ p. 83)

"日付を選んでまとめて保存する" (☞ p. 84)

"プレイリストを選んで保存する" (☞ p. 85)

"映像を選んで保存する" (☞ p. 86)

■ その他操作

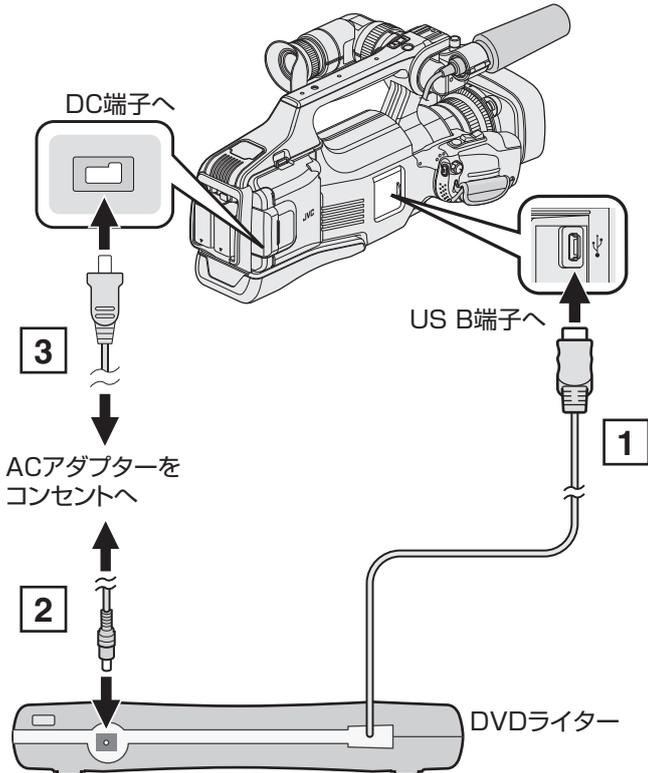
"本機とDVDライターをつないで再生する" (☞ p. 87)

メモ：

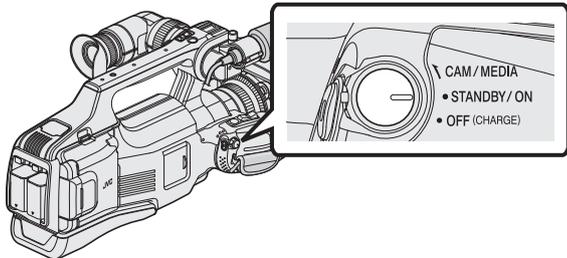
- MOV形式で撮影した映像はディスクにできません。
- 本機で作成したディスクはAVCHD形式で保存されます。AVCHD対応機器(ブルーレイレコーダーなど)で再生してください。なお、DVD-Video形式でディスクを作成することはできません。
- UXPモードで撮影した映像はDVDライターで保存できません。
- 1枚のディスクに動画(60i)、動画(60p)、静止画を混在させて保存することはできません。
- 多くのファイルをバックアップするときは、バックアップが終了するまでに時間がかかる場合があります。アクセスランプ点滅中は正しく動作していますので、しばらくお待ちください。
- 作成したディスクには、日付情報は字幕として保存されます。

DVDライターを準備する(CU-VD3の場合)

- 1 電源(バッテリーとACアダプター)を取りはずす
- 2 USBケーブルとACアダプターを接続する



- 1 DVDライターのUSBケーブルを本機につなぐ
- 2 DVDライターのACアダプターをつなぐ
- DVDライターの電源を入れます。
- 3 本機にACアダプターをつなぐ
 - DVDライターの取扱説明書もご覧ください。
- 3 "STANDBY/ON OFF"スイッチを"ON"にする



- 本機の電源を入れると、"バックアップ"メニューが表示されます。
 - USBケーブルをつないでいる間は、"バックアップ"メニューが表示されます。
- 4 新しいディスクを入れる



- 1 取り出しボタンを押して、ディスクトレイを開ける
- 2 トレイを完全に引き出して、新しいディスクを確実ににはめ込む
- 3 ディスクトレイを「カチッ」と音がするまで押して閉じる

ご注意:

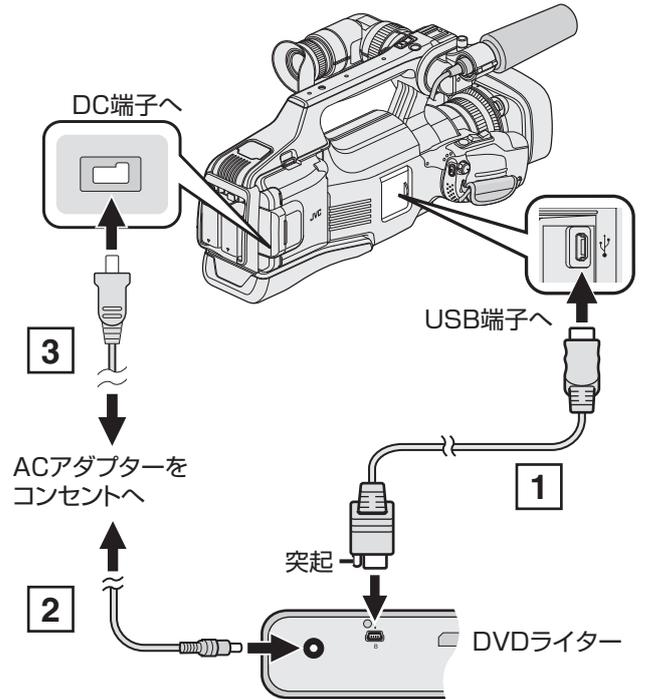
- 機器を接続するときは、必ず電源を切ってください。電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

メモ:

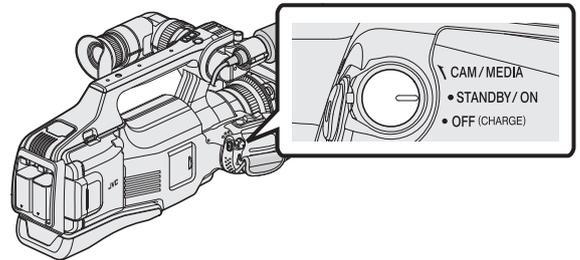
- DVDライター CU-VD3は、生産が完了しています。在庫については、販売店にご確認ください。

DVDライターを準備する(CU-VD50の場合)

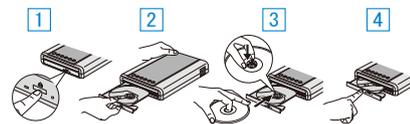
- 1 電源(バッテリーとACアダプター)を取りはずす
- 2 USBケーブルとACアダプターを接続する



- 1 DVDライター付属のUSBケーブルでつなぐ
- 2 DVDライターのACアダプターをつなぐ
- DVDライターの電源を入れます。
- 3 本機にACアダプターをつなぐ
 - DVDライターの取扱説明書もご覧ください。
- 3 "STANDBY/ON OFF"スイッチを"ON"にする



- 本機の電源を入れると、"バックアップ"メニューが表示されます。
 - USBケーブルをつないでいる間は、"バックアップ"メニューが表示されます。
- 4 新しいディスクを入れる



- 1 取り出しボタンを押す
- 2 ディスクトレイを引き出す
- 3 トレイを完全に引き出して、新しいディスクを確実ににはめ込む
- 4 ディスクトレイを「カチッ」と音がするまで押して閉じる

ご注意:

- 機器を接続するときは、必ず電源を切ってください。電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

メモ:

- DVDライター CU-VD50のボタンのうち、電源ボタンと取り出しボタン以外は、本機との接続中は機能しません。
- DVDライター CU-VD50は、生産が完了しています。在庫については、販売店にご確認ください。

ディスクを作る

1 DVDライターを準備する

- DVDライターに新しいディスクを入れてください。
"DVDライターを準備する(CU-VD3の場合)" (☞ p. 82)
"DVDライターを準備する(CU-VD50の場合)" (☞ p. 82)

2 以下の保存方法を選んで実行する

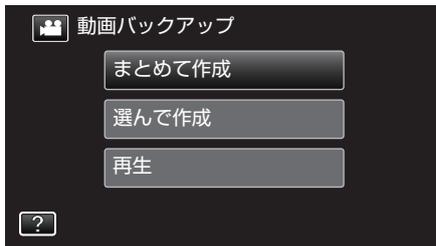
- "映像をまとめて保存する" (☞ p. 83)
- "日付を選んでまとめて保存する" (☞ p. 84)
- "プレイリストを選んで保存する" (☞ p. 85)
- "映像を選んで保存する" (☞ p. 86)

映像をまとめて保存する

本機に記録した動画、または静止画をまとめて保存します。一度も保存していない動画、または静止画だけをまとめて保存することもできます。

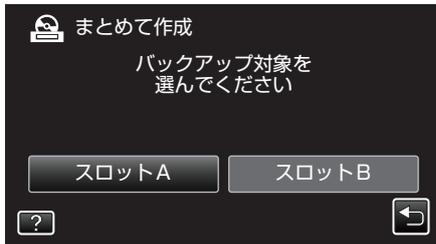
1 動画または静止画を選ぶ

2 "まとめて作成"(動画)または"まとめて保存"(静止画)をタッチする

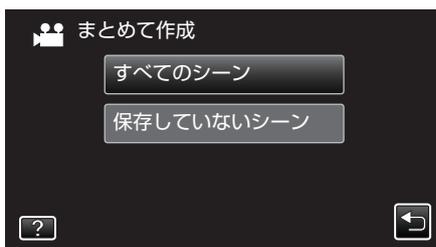


- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。
- 人をタッチすると、動画と静止画を切り換えることができます。

3 保存するメディアをタッチする



4 作成方法をタッチする



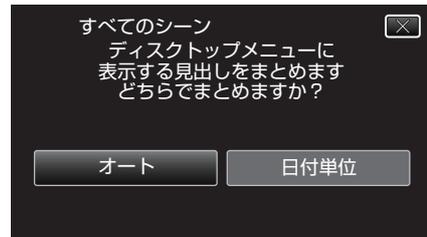
- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。
- "すべてのシーン"(動画)/"すべての画像"(静止画):
本機内にあるすべての動画、または静止画を保存します。
- "保存していないシーン"(動画)/"保存していない画像"(静止画):
一度も保存していない動画、または静止画をまとめて保存します。

5 "作成する"をタッチする



- 作成に必要なディスクの枚数が表示されます。ディスクを用意してください。

6 "オート"または"日付単位"をタッチする(人モードのみ)



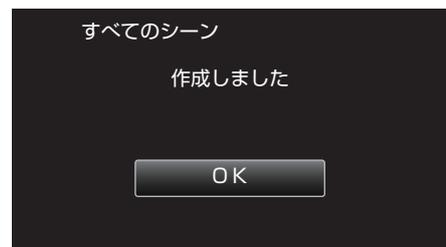
- "オート"を選ぶと、撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
- "日付単位"を選ぶと、撮影日を見出しにします。

7 "作成する"をタッチする



- 「新しいディスクに入れ替えてください」[中止]を押すと作成を終了します」と表示されたときは、新しいディスクに入れ替えてください。

8 "作成しました"が表示されたら、"OK"をタッチする



9 本機の電源を切ったあとに、USBケーブルを抜く

ご注意:

- 保存が終わるまで、電源を切ったり、USBケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。また、特殊ファイルも保存できません。
- DVDのファイナライズは自動的に行われます。DVD-R/DVD-RWには追記ができなくなります。

メモ:

- 作成したディスクを確認するときは、「本機とDVDライターをつないで再生する」(☞ p. 87)をご覧ください。

「本機とDVDライターをつないで再生する」(☞ p. 87)

日付を選んでまとめて保存する

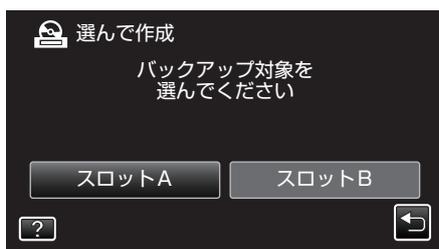
撮影した日付ごとに動画、または静止画をまとめて保存します。

- 1 動画または静止画を選ぶ
- 2 "選んで作成"(動画)または"選んで保存"(静止画)をタッチする

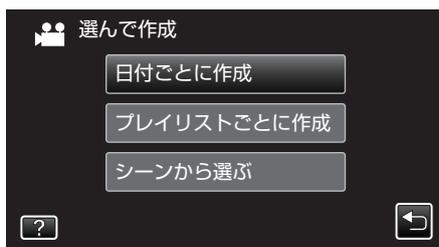


- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。
- 人をタッチすると、動画と静止画を切り換えることができます。

- 3 保存するメディアをタッチする



- 4 "日付ごとに作成"(動画)または"日付ごとに保存"(静止画)をタッチする



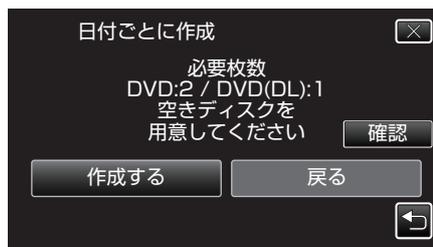
- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。

- 5 保存したい撮影日をタッチする



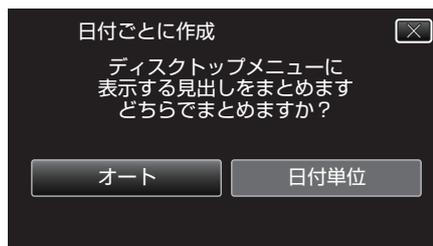
- 複数の撮影日を選んで保存することはできません。複数の撮影日を保存したいときは、プレイリストを作成してから保存することをおすすめします。
- "録画した動画から選んでプレイリストを作る" (p. 67)
- "プレイリストを選んで保存する" (p. 85)

- 6 "作成する"をタッチする



- 作成に必要なディスクの枚数が表示されます。ディスクを用意してください。
- "確認"をタッチすると、内容の確認ができます。

- 7 "オート"または"日付単位"をタッチする(人モードのみ)



- "オート"を選ぶと、撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
- "日付単位"を選ぶと、撮影日を見出しにします。

- 8 "作成する"をタッチする



- 「新しいディスクに入れ替えてください「中止」を押すと作成を終了します」と表示されたときは、新しいディスクに入れ換えてください。

- 9 "作成しました"が表示されたら、"OK"をタッチする



- 10 本機の電源を切ったあとに、USB ケーブルを抜く

ご注意:

- 保存が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。また、特殊ファイルも保存できません。
- DVD のファイナライズは自動的に行われます。DVD-R/DVD-RW には追記ができなくなります。

メモ:

- 作成したディスクを確認するときは、「本機と DVD ライターをつないで再生する」(p. 87) をご覧ください。

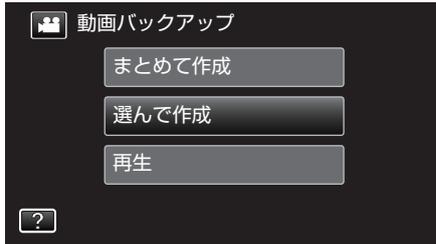
"本機と DVD ライターをつないで再生する" (p. 87)

プレイリストを選んで保存する

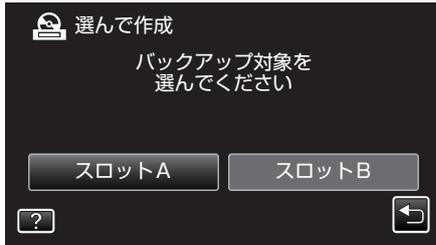
作成したプレイリストをお好みの順番に並べて保存します。

1 動画を選ぶ

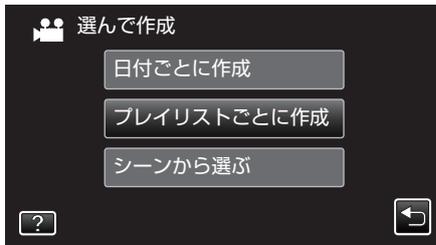
2 "選んで作成"をタッチする



3 保存するメディアをタッチする



4 "プレイリストごとに作成"をタッチする



5 ディスクに保存したいプレイリストをタッチする



- 選択したプレイリスト(上段)に▶が表示されます。◀をタッチすると選択を解除します。
- 選択したプレイリストをもう一度タッチすると、プレイリストの内容を確認できます。確認終了後は◀をタッチしてください。
- </>をタッチする、またはズームレバーを動かすと前/次のプレイリストを表示できます。

6 "追加"をタッチし、プレイリストを挿入する



- 手順5~6を繰り返し、プレイリストを並べます。
- プレイリスト(下段)の順番を入れ換えたいときは、手順5の操作後、←または→で挿入位置を選び、"追加"をタッチしてください。
- 挿入されたプレイリストを選択すると、▶が表示されます。◀をタッチすると選択を解除します。
- 選択したプレイリストをもう一度タッチすると、プレイリストの内容を確認できます。確認終了後は◀をタッチしてください。
- プレイリスト(下段)の中の動画を削除したいときは、動画をタッチしたあとに"取消"をタッチしてください。

7 編集が終わったあと、"保存"をタッチする

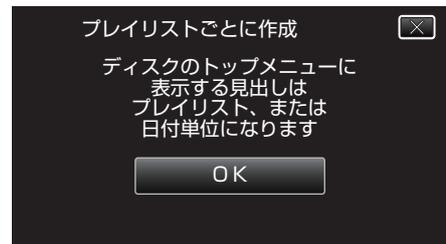


8 "作成する"をタッチする



- 作成に必要なディスクの枚数が表示されます。ディスクを用意してください。
- "確認"をタッチすると、内容の確認ができます。確認終了後は◀をタッチしてください。

9 "OK"をタッチする



10 "作成する"をタッチする



- 「新しいディスクに入れ替えてください」[中止]を押すと作成を終了します」と表示されたときは、新しいディスクに入れ換えてください。

11 "作成しました"が表示されたら、"OK"をタッチする



12 本機の電源を切ったあとに、USB ケーブルを抜く

ご注意： _____

- 保存が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。また、特殊ファイルも保存できません。
- DVD のファイナライズは自動的に行われます。DVD-R/DVD-RW には追記ができなくなります。

メモ： _____

- 作成したディスクのトップメニューには、プレイリストが並びます。
- 作成したディスクを確認するときは、「本機と DVD ライターをつないで再生する」(p. 87) をご覧ください。

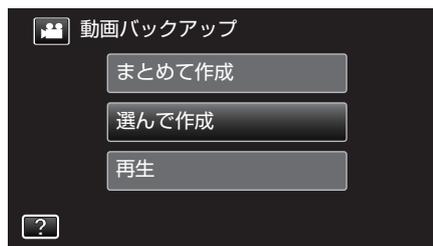
"本機と DVD ライターをつないで再生する" (p. 87)

- プレイリストを作成するには
"録画した動画から選んでプレイリストを作る" (p. 67)

映像を選んで保存する

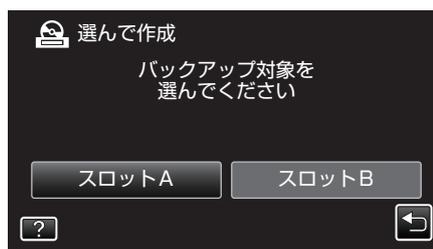
保存したい動画、または静止画を選んで保存します。

- 1 動画または静止画を選ぶ
- 2 "選んで作成"(動画)または"選んで保存"(静止画)をタッチする

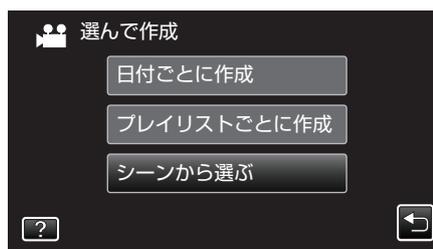


- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。
- 人をタッチすると、動画と静止画を切り換えることができます。

3 保存するメディアをタッチする



4 "シーンから選ぶ"(動画)または"画像から選ぶ"(静止画)をタッチする



- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。

5 保存したい動画、または静止画をタッチする



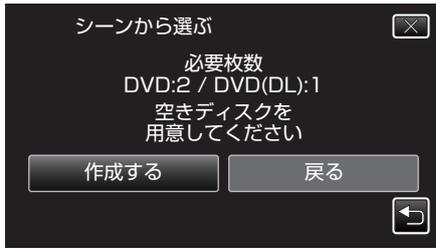
- タッチしたファイルに✓が表示されます。✓表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- "確認"をタッチすると、映像を確認できます。
- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。

6 選び終わったら、"保存"をタッチする



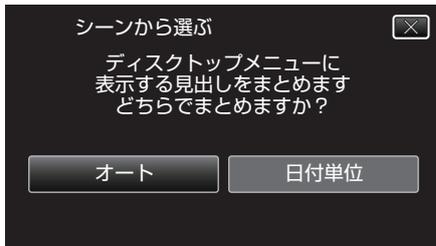
- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。

7 "作成する"をタッチする



- 作成に必要なディスクの枚数が表示されます。ディスクを用意してください。

8 "オート"または"日付単位"をタッチする(人モードのみ)



- "オート"を選ぶと、撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
- "日付単位"を選ぶと、撮影日を見出しにします。

9 "作成する"をタッチする



- 「新しいディスクに入れ替えてください」「中止」を押すと作成を完了します」と表示されたときは、新しいディスクに入れ替えてください。

10 "作成しました"が表示されたら、"OK"をタッチする



11 本機の電源を切ったあとに、USB ケーブルを抜く

ご注意：_____

- 保存が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。また、特殊ファイルも保存できません。
- DVD のファイナライズは自動的に行われます。DVD-R/DVD-RW には追記ができなくなります。

メモ：_____

- 作成したディスクを確認するときは、「本機と DVD ライターをつないで再生する」(p. 87) をご覧ください。

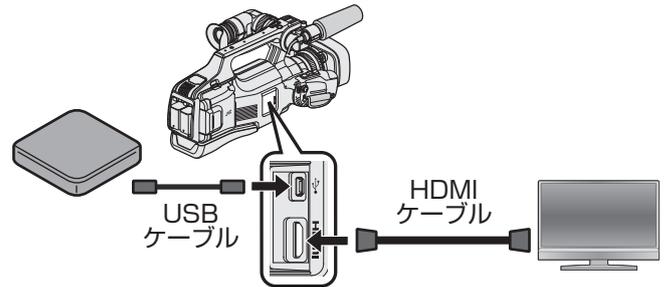
"本機と DVD ライターをつないで再生する" (p. 87)

本機と DVD ライターをつないで再生する

本機で作った DVD を見ることができます。

1 本機に DVD ライターとテレビを接続する

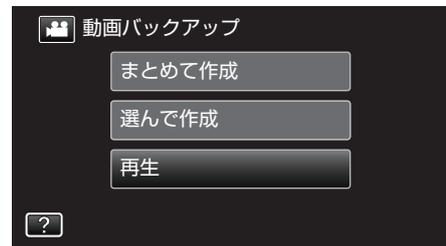
(テレビを接続しなくても本機の液晶モニターで再生できます。)



"DVD ライターを準備する (CU-VD3 の場合)" (p. 82)
 "DVD ライターを準備する (CU-VD50 の場合)" (p. 82)
 "テレビにつないで見る" (p. 59)

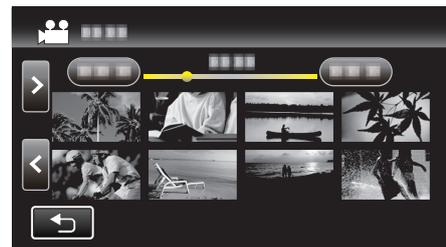
- DVD ライターに見たいディスクを入れてください。

2 "バックアップ"メニューの"再生"をタッチする



- ディスクの動画が一覧表示(サムネイル表示)されます。

3 ファイル(映像)をタッチして、再生を開始する



- "c" をタッチすると、「バックアップ」メニューに戻ります。
- 動画再生の操作については、「動画再生の操作ボタン」(p. 49) をご覧ください。
 "動画再生の操作ボタン" (p. 49)
- 再生を終了するときは、再生を停止したあとに、本機の電源を切ってください。そのあとで、USB ケーブルをはずしてください。

メモ：_____

- 再生映像をテレビで見たいときは、本機に DVD ライターを接続した状態で、HDMI ケーブルまたは AV コードをテレビに接続してください。

"HDMI 端子とつないで見る" (p. 59)

"AV 端子とつないで見る" (p. 61)

ブルーレイレコーダーと接続してディスクを作る

ブルーレイレコーダーと USB ケーブルで接続すると、ブルーレイレコーダーでディスクを作成できます。

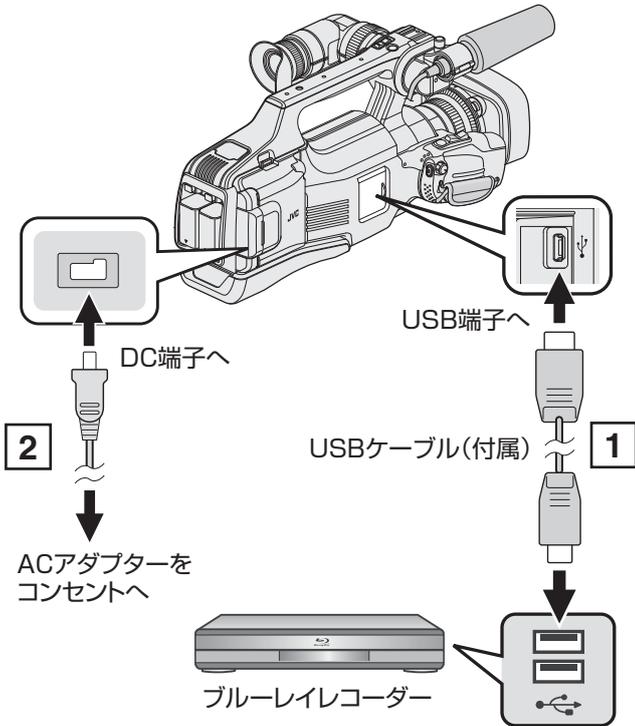
※ MOV 形式で撮影した映像では、この機能は使用できません。

メモ：

- 推奨および動作確認済みブルーレイレコーダー以外をお使いの場合は、不具合が発生することがあります。下記のホームページを確認してから、接続してください。

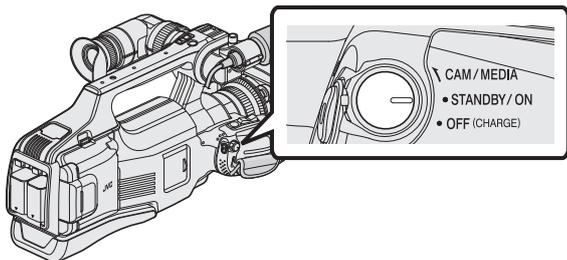
<http://www.3jvckenwood.com/support/qa/cam.html>

- 1 電源(バッテリーと AC アダプター)を取りはずす
- 2 ブルーレイレコーダーに接続する



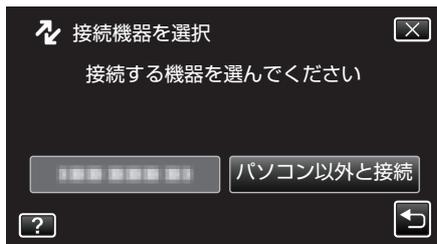
- 1 付属の USB ケーブルでつなぐ
- 2 本機に AC アダプターをつなぐ

- 3 "STANDBY/ON OFF"スイッチを "ON"にする

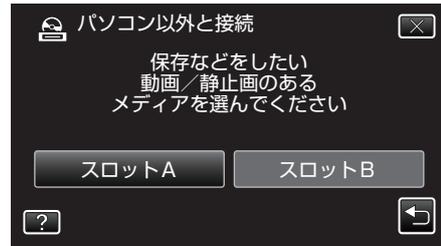


- 本機の電源を入ると、"接続機器を選択"画面が表示されます。

- 4 "パソコン以外と接続"をタッチする



- 5 設定したいメディアをタッチする



- カメラ側の操作が完了すると、次の画面が表示されます。



- 画面が切り換わったら、ブルーレイレコーダー側で操作してください。

- 6 ブルーレイレコーダー側でダビングする

- ブルーレイレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ダビングが終了したら、USB ケーブルを抜いてください。USB ケーブルを抜くまで本機は操作できません。

メモ：

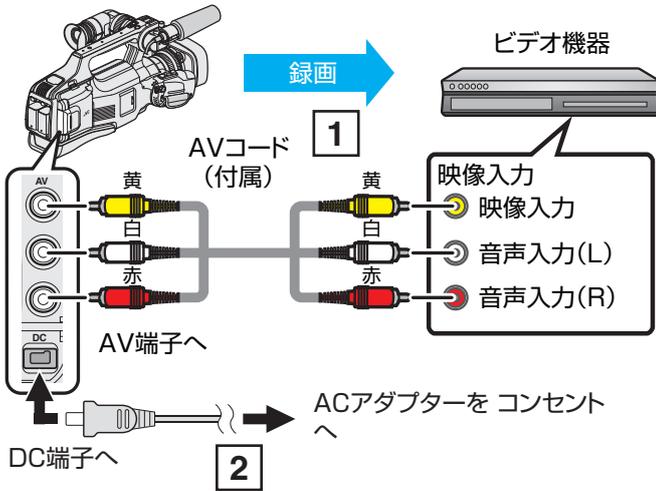
- 60p モード("システムセレクト"を "60p")で記録した動画を保存するときは、AVCHD Progressive 対応のブルーレイレコーダーをお使いください。
- 60p モード("システムセレクト"を "60p")で記録した動画は、ブルーレイディスクにのみ保存できます。

DVD レコーダーにつないでディスクにダビングする

DVD レコーダーに接続して、動画を標準画質でダビングできます。

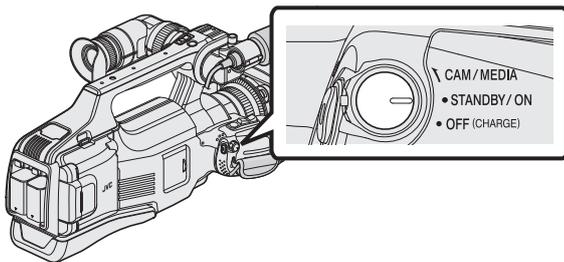
- テレビや DVD レコーダーの取扱説明書もご覧ください。

- 1 電源(バッテリーと AC アダプター)を取りはずす
- 2 DVD レコーダーに接続する

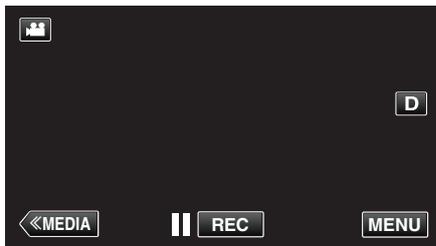


- 1 付属のAVケーブルでつなぐ
- 2 本機にACアダプターをつなぐ

- 3 "STANDBY/ON OFF"スイッチを "ON"にする



- 4 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



- 5 テレビ・DVD レコーダーの録画の準備をする
 - 対応する外部入力に切り換えます。
 - DVD レコーダーにディスク (DVD-R など)を入れます。
- 6 本機の再生の準備をする
 - "出力設定"メニューの "ビデオ出力"を接続するテレビの画面比 ("4:3"または "16:9")に合わせます。
 "ビデオ出力" (p. 116)
- 7 録画を開始する
 - 本機で動画を再生し、DVD レコーダーの録画ボタンを押してください。
 "動画を再生する" (p. 49)
 - 再生が終わったら、DVD レコーダーの録画を停止してください。

メモ:

- ダビングしたい動画がたくさんあるときは、事前にプレイリストを作成しておき、プレイリストを再生してお気に入りの動画を一度にダビングすることができます。

"映像を選んでプレイリストを作る" (p. 67)

"プレイリスト再生" (p. 54)

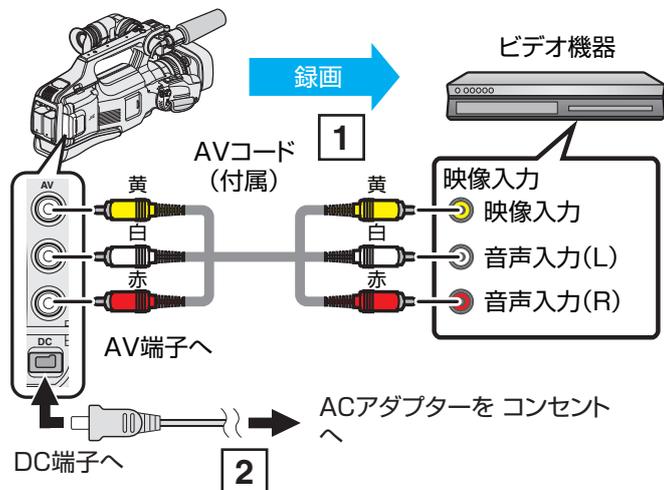
- 記録日時をダビングしたいときは、"再生設定"メニューの "日時表示"を "入"にしてください。また、"出力設定"メニューの "テレビ表示"を "入"にしてください。

ビデオデッキにつないでVHSテープにダビングする

ビデオデッキに接続して、動画を標準画質でダビングできます。

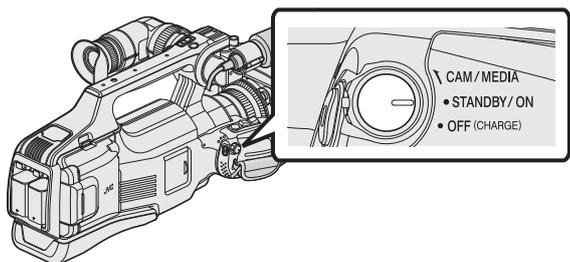
- テレビやビデオデッキの取扱説明書もご覧ください。

- 1 電源(バッテリーとACアダプター)を取りはずす
- 2 ビデオ機器に接続する

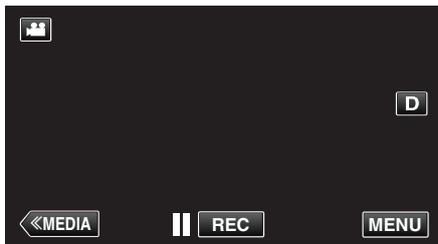


- 1 付属のAVケーブルでつなぐ
- 2 本機にACアダプターをつなぐ

- 3 "STANDBY/ON OFF"スイッチを"ON"にする



- 4 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



- 5 テレビ・ビデオ機器の録画の準備をする
 - 対応する外部入力に切り換えます。
 - ビデオデッキにビデオテープを入れます。
- 6 本機の再生の準備をする
 - "出力設定"メニューの"ビデオ出力"を接続するテレビの画面比("4:3"または"16:9")に合わせます。
 - "ビデオ出力" (p. 116)
- 7 録画を開始する
 - 本機で動画を再生し、ビデオ機器の録画ボタンを押してください。
 - "動画を再生する" (p. 49)
 - 再生が終わったら、ビデオ機器の録画を停止してください。

メモ: _____

- ダビングしたい動画がたくさんあるときは、事前にプレイリストを作成しておき、プレイリストを再生してお気に入りの動画を一度にダビングすることができます。

"映像を選んでプレイリストを作る" (p. 67)

"プレイリスト再生" (p. 54)

- 記録日時をダビングしたいときは、"再生設定"メニューの"日時表示"を"入"にしてください。また、"出力設定"メニューの"テレビ表示"を"入"にしてください。

外付型ハードディスクに保存する

市販の外付型ハードディスク(以下、外付型 HDD)に動画(AVCHD 形式)や静止画を保存したり、本機で再生したりできます。

※ MOV 形式で撮影した映像では、この機能は使用できません。

- 外付型 HDD の取扱説明書もご覧ください。

対応する外付型 HDD

I-O DATA(アイ・オー・データ機器)社の HDJ-U シリーズ、HDCA-U/UT シリーズなどをお使いください。(2014 年 8 月現在)

メモ: _____

- 外付型 HDD は、2 TB まで使用できます。

外付型 HDD で保存や再生するには

"外付型ハードディスクを準備する" (☞ p. 91)

"映像をまとめて保存する" (☞ p. 92)

"外付型ハードディスク内の映像を再生する" (☞ p. 94)

"外付型ハードディスク内のフォルダを削除する" (☞ p. 94)

外付型 HDD から取り込むには

"外付型ハードディスクから取り込む" (☞ p. 95)

メモ: _____

- 本機ではじめて使う外付型 HDD をつなぐときは、フォーマットしてください。(データはすべて消えます。)
- "外付型ハードディスクをフォーマットする" (☞ p. 95)
- 2TB を超える HDD は使用できません。
- 動画の保存には時間がかかります。(例: 画質 XP の場合、1 時間の動画の保存に約 20 分かかる。)
- 多くのファイルをバックアップするときは、バックアップが終了するまでに時間がかかる場合があります。アクセスランプ点滅中は正しく動作していますので、しばらくお待ちください。
- 再生中に、映像や音声途切れることがあります。

ご注意: _____

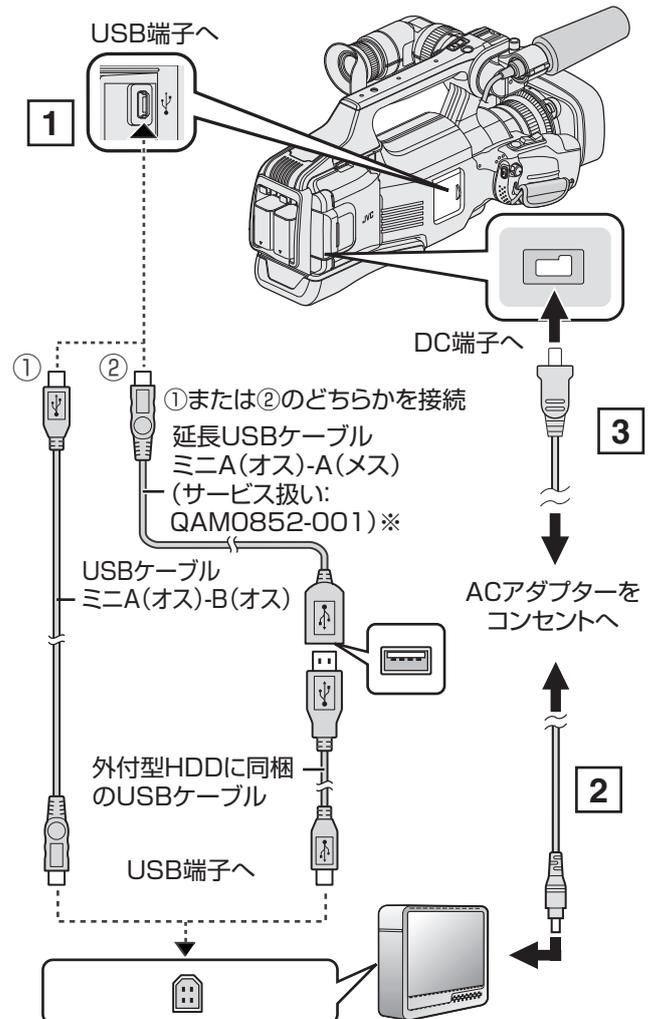
- 本機と外付型 HDD の間に、USB ハブを接続しないでください。
- DVD ライターや BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)を使うとき、または別の外付型 HDD を使うときは、接続中の外付型 HDD を本機から取りはずします。
- ファイルの保存中と再生中は、本機や外付型 HDD の電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- パソコンでフォーマットしないでください。パソコンでフォーマットした場合は、本機で改めてフォーマットします。(外付型 HDD のファイルはすべて削除されます。)
- 外付型 HDD のファイルやフォルダは、パソコンで削除・移動・名前の変更をしないでください。本機で再生できなくなります。
- 外付型 HDD のファイルをパソコンで編集するときは、あらかじめパソコンにコピーしてください。外付型 HDD のファイルを直接編集すると、本機で再生できなくなります。

外付型ハードディスクを準備する

メモ: _____

- 外付型 HDD を接続するには、下記の USB ケーブルをお買い求めください。本機に付属する USB ケーブルは使用できません。I-O DATA 製: USB-MAB/100 ミニ A (オス) - B (オス)
- また、外付型 HDD に付属の USB ケーブルを使用するときは、下記の変換 USB ケーブルをお買い求めください。サービス扱い: QAM0852-001 ※ ミニ A (オス) - A (メス) ※ 最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。
<http://www3.jvckenwood.com/support/hrepair.html>

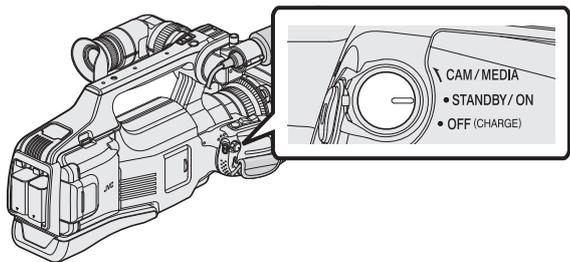
- 1 電源(バッテリーと AC アダプター)を取りはずす
- 2 USB ケーブルと AC アダプターを接続する



※ 最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

- 1 外付型 HDD と USB ケーブルをつなぐ
 - 2 外付型 HDD の AC アダプターをつなぐ
 - 3 本機に AC アダプターをつなぐ
- 外付型 HDD の電源を入れる
 - 外付型 HDD の取扱説明書もご覧ください。

3 "STANDBY/ON OFF"スイッチを "ON"にする



- 本機の電源を入れると、"バックアップ"メニューが表示されます。
- USB ケーブルをつないでいる間は、"バックアップ"メニューが表示されません。

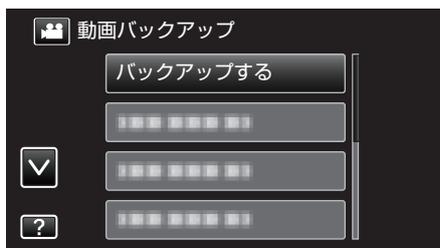
ご注意： _____

- 機器を接続するときは、必ず電源を切ってください。電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。
- 本機と外付型 HDD の間に、USB ハブを接続しないでください。

映像をまとめて保存する

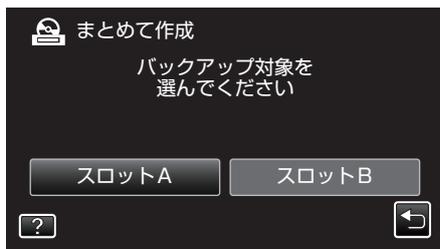
本機に記録した動画、または静止画をまとめて保存します。一度も保存していない動画、または静止画だけをまとめて保存することもできます。

- 1 動画または静止画を選ぶ
- 2 "バックアップする"をタッチする

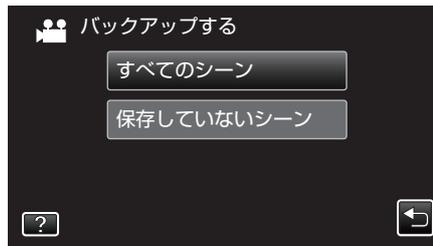


- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。
- をタッチすると、動画(60i)、動画(60p)、静止画を切り換えることができます。保存したいファイルのモードに切り換えてください。

3 保存するメディアをタッチする



4 作成方法をタッチする



- "すべてのシーン" (動画) / "すべての画像" (静止画)：本機内にあるすべての動画、または静止画を保存します。
- "保存していないシーン" (動画) / "保存していない画像" (静止画)：一度も保存していない動画、または静止画をまとめて保存します。

5 HDD の空き容量を確認してから、"はい"をタッチする



- "はい"をタッチすると、バックアップを開始します。

6 "作成しました"が表示されたら、"OK"をタッチする



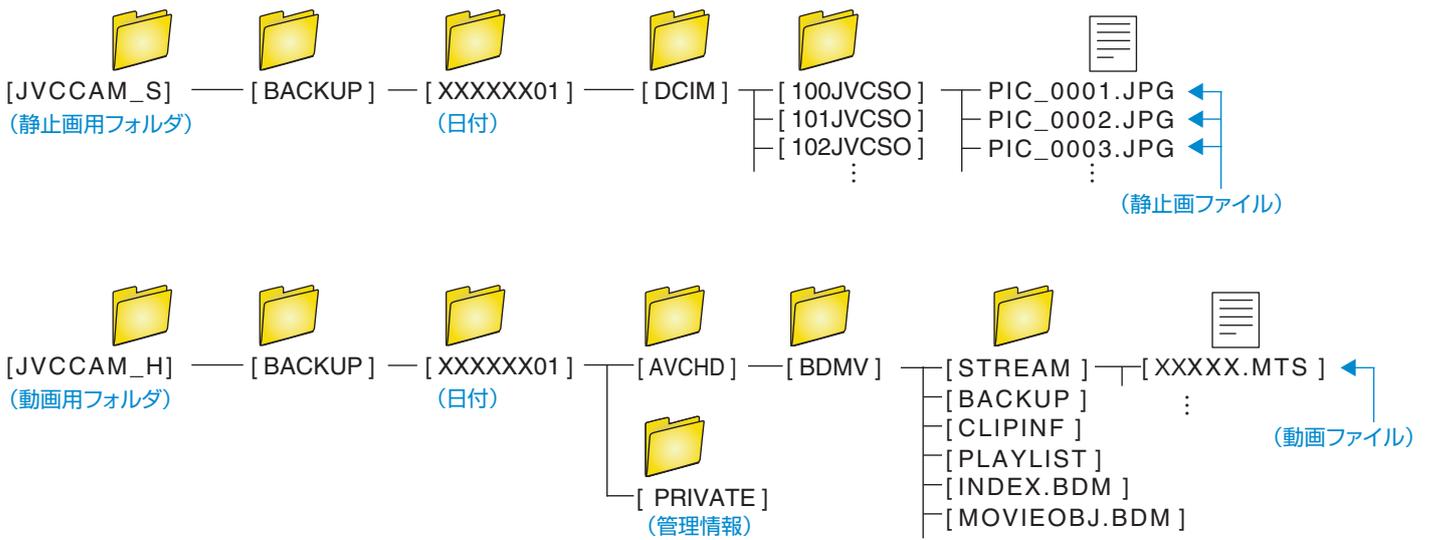
7 本機の電源を切ったあとに、USB ケーブルを抜く

ご注意： _____

- 保存が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。また、特殊ファイルも保存できません。
- 保存したい動画または静止画が保存されていない場合は、手順2で動画(60i)、動画(60p)、静止画を適切なモードに切り換えてください。
- 動画の保存には時間がかかります。(例：画質 XP の場合、1時間の動画の保存に約20分かかります。)

外付型ハードディスクのフォルダ構成

外付型ハードディスクには、フォルダとファイルが次のように作成されています。
フォルダとファイルは必要になったときに作成されます。



メモ:

- プログレッシブ方式(60p)で記録した動画は、[JVCCAM_X]に保存されます。

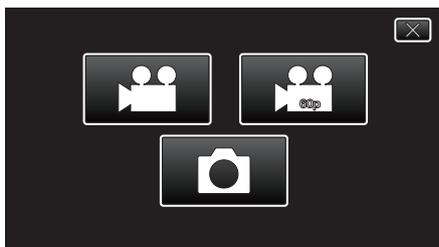
外付型ハードディスク内の映像を再生する

外付型 HDD に保存した動画や静止画は本機で再生できます。

1 "再生"をタッチする

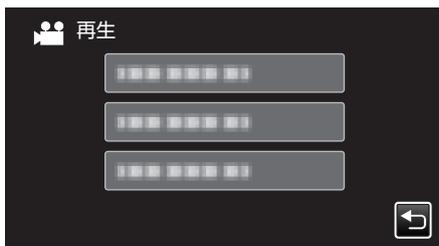


2 動画(60i)、動画(60p)または静止画を選ぶ



- 手順 2 の画面が表示されない場合、そのまま手順 3 にお進みください。
- 動画(60i)、動画(60p)または静止画ファイルがバックアップされていない場合、そのアイコンは表示されません。

3 見たいフォルダをタッチする



- "㊄"をタッチすると、"バックアップ"メニューに戻ります。

4 見たい映像をタッチする



- "㊄"をタッチすると、フォルダー一覧表示に戻ります。
 - 動画再生の操作については、「"動画再生の操作ボタン" (p. 49)」をご覧ください。
- "動画再生の操作ボタン" (p. 49)
- 再生を終了するとき、再生を停止したあとに、本機の電源を切ってください。そのあとで、USB ケーブルをはずしてください。

メモ:

- 再生中に、映像や音声途切れることがあります。

外付型ハードディスク内のフォルダを削除する

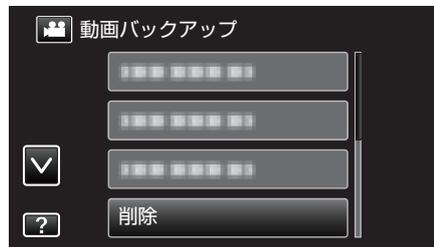
外付型 HDD に保存したファイルを削除します。

ご注意:

- 一度削除した映像は、元に戻せません。
 - 重要なファイルは必ずパソコンにバックアップしてください。
- "Mac コンピューターに保存する" (p. 101)

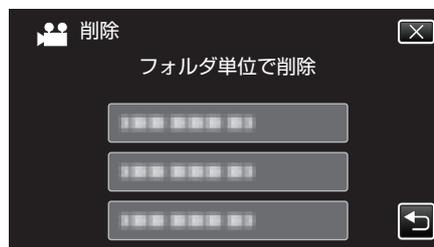
1 動画または静止画を選ぶ

2 "削除"をタッチする

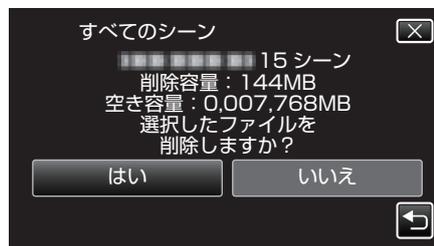


- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。
- 人をタッチすると、動画(60i)、動画(60p)、静止画を切り換えることができます。削除したいファイルのモードに切り換えてください。

3 削除するフォルダをタッチする



4 "はい"をタッチする



- 削除が終わったら、"OK"をタッチしてください。

外付型ハードディスクをフォーマットする

外付型 HDD のすべてのファイルを消去します。

ご注意:

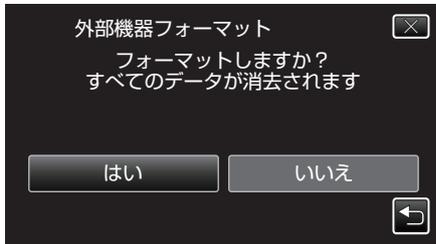
- フォーマットすると、外付型 HDD 内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

- 1 動画または静止画を選ぶ
- 2 "外部機器フォーマット"をタッチする



- 画面は動画の場合ですが、静止画の場合も同様の操作です。
- 人形アイコンをタッチすると、動画と静止画を切り換えることができます。

- 3 "はい"をタッチする

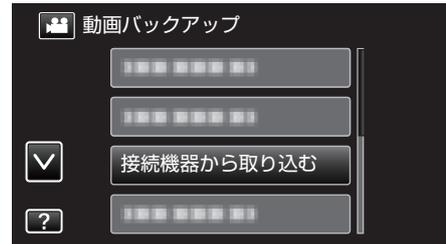


- フォーマットが終わったら、"OK"をタッチしてください。

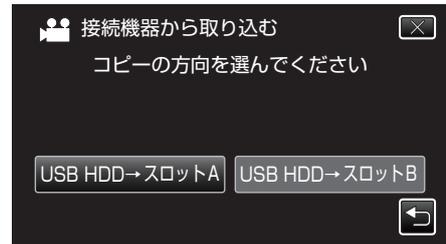
外付型ハードディスクから取り込む

外付型ハードディスクにバックアップした動画を、SD カードにコピー(保存)できます。

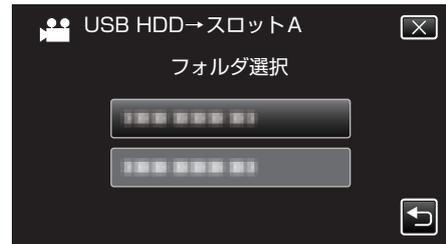
- 1 動画を選ぶ
- 2 "バックアップ"の"接続機器から取り込む"をタッチする



- 人形アイコンをタッチすると、動画(60i)、動画(60p)、静止画を切り換えることができます。取り込みたいファイルのモードに切り換えてください。
- 3 "USB HDD→スロットA"または"USB HDD→スロットB"をタッチする



- タッチしたメディアに取り込みます。
- 4 取り込むフォルダをタッチする



- 5 取り込むファイル(映像)をタッチする

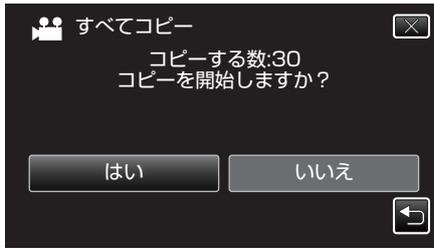


- タッチしたファイルに✓が表示されます。✓表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
 - "全選択"をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
 - "全解除"をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。
- 6 "決定"をタッチする



- どのファイルも選択されていないと、"決定"を選択できません。

7 "はい"をタッチする



- "はい"をタッチすると、取り込みを開始します。
- 取り込みを中止したいときは、"中止する"をタッチして、中止画面で "はい"をタッチしてください。

8 取り込みが終わったら、"OK"をタッチする



9 本機の電源を切ったあとに、USB ケーブルを抜く

メモ:

- 他の機器から外付型ハードディスクにバックアップしたファイルは、本機にコピー(保存)できません。
-

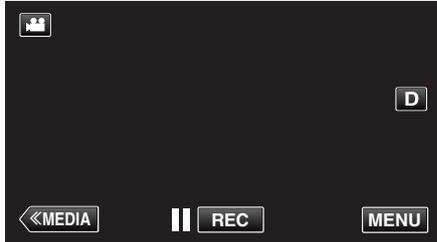
映像ファイルを別のSDカードにコピーする

動画や静止画は、スロット A からスロット B、またはスロット B からスロット A の SD カードにコピーすることができます。

ご注意：

- コピーする前に、十分な空き容量があることを確認してください。

- 1 動画または静止画を選ぶ
- 2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



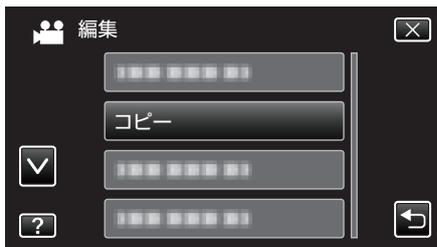
- 3 "MENU"をタッチする



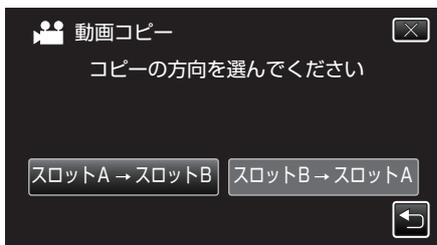
- 4 "編集"をタッチする



- 5 "コピー"をタッチする



- 6 コピーする方向をタッチする



- 7 コピーしたいファイル(映像)をタッチする



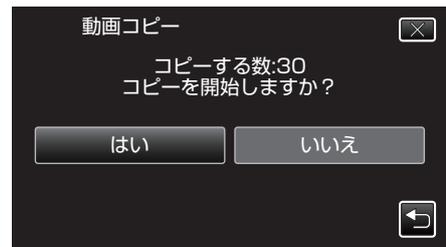
- タッチしたファイルに✓が表示されます。
✓表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- "全選択"をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- "全解除"をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。

- 8 "決定"をタッチする



- どのファイルも選択されていないと、"決定"を選択できません。

- 9 "はい"をタッチする



- コピーが始まります。
- コピーが完了したら、"OK"をタッチしてください。

映像ファイルを別のSDカードに移動する

動画や静止画は、スロット A からスロット B、またはスロット B からスロット A の SD カードに移動できます。

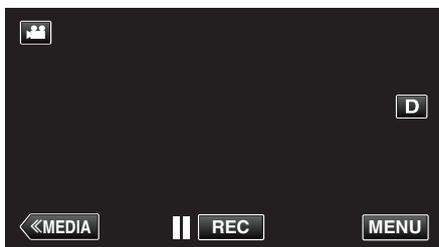
移動した映像は、移動元の SD カードから削除されます。

ご注意:

- 移動する前に、十分な空き容量があることを確認してください。

1 動画または静止画を選ぶ

2 <<MEDIA をタッチして、再生モードにする



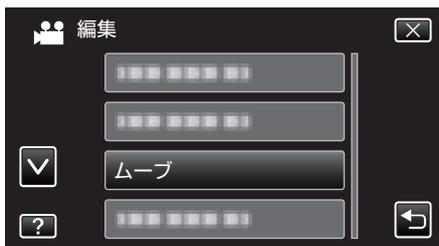
3 "MENU"をタッチする



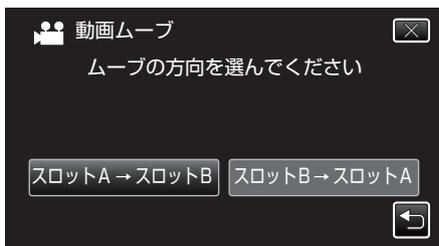
4 "編集"をタッチする



5 "ムーブ"をタッチする



6 移動する方向をタッチする



7 移動したいファイル(映像)をタッチする



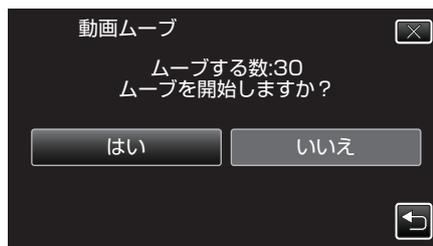
- タッチしたファイルに ✓ が表示されます。
✓ 表示を消すには、ファイルを再度タッチしてください。
- "全選択"をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- "全解除"をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。

8 "決定"をタッチする



- どのファイルも選択されていないと、"決定"を選択できません。

9 "はい"をタッチする

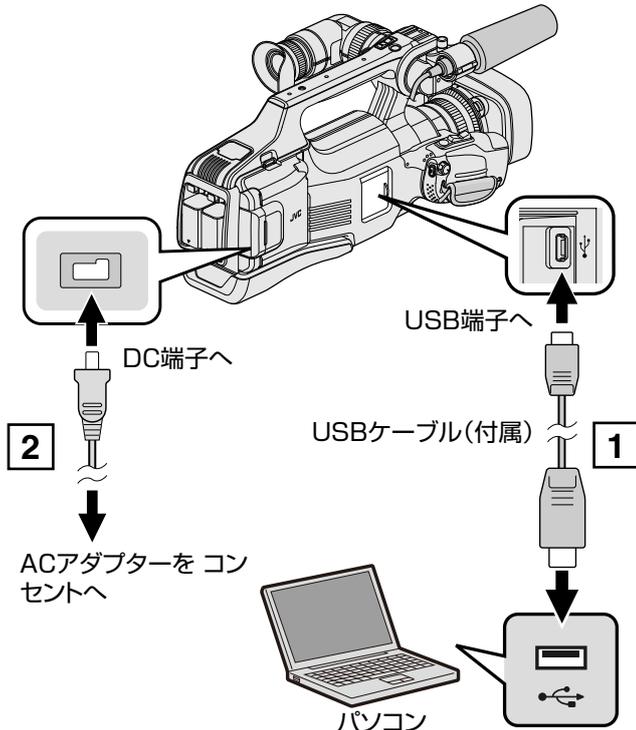


- 映像の移動が始まります。
- 移動が完了したら、"OK"をタッチしてください。

Windows パソコンに保存する

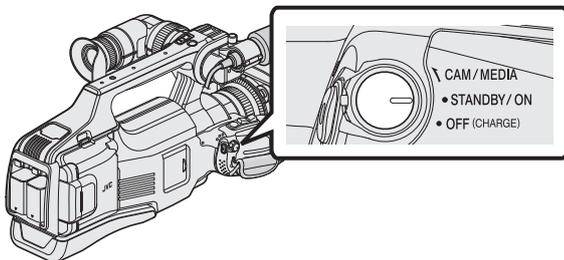
次の方法でファイルをパソコンにコピーしてください。

- 1 電源(バッテリーと AC アダプター)を取りはずす
- 2 USB ケーブルと AC アダプターを接続する



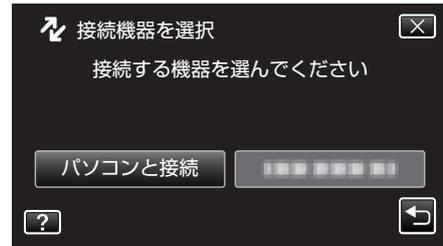
- 1 付属の USB ケーブルでつなぐ
- 2 本機に AC アダプターをつなぐ

- 3 "STANDBY/ON OFF"スイッチを "ON"にする



- 本機の電源を入ると、"接続機器を選択"画面が表示されます。

- 4 "パソコンと接続"をタッチする



- カメラ側の操作が完了すると、次の画面が表示されます。



- 画面が切りかわったら、パソコン側で操作してください。

- 5 Windows Vista/7
"スタート"メニューから "コンピュータ" (Windows Vista)/"コンピュータ" (Windows 7)を選んで、"JVCCAM_SD"アイコンをダブルクリックする

Windows 8

チャームの "検索"を選択して、Windows システムツールの "コンピュータ"をクリックし、"JVCCAM_SD"アイコンをダブルクリックする

Windows 8.1

"アプリ"を表示して、Windows システムツールの"PC" をクリックし、"JVCCAM_SD"アイコンをダブルクリックする

Mac コンピューター

"名称未設定"のアイコンをダブルクリックした後、"JVCCAM_SD"アイコンをダブルクリックする

- 保存したいファイルがあるフォルダを開きます。
"ファイルとフォルダの一覧について" (p. 100)

- 6 コンピューターの任意のフォルダ(デスクトップなど)にファイルをコピーする

メモ:

- ファイルを編集・鑑賞するには、AVCHD(動画)、MOV(動画)、JPEG(静止画)のそれぞれの形式に対応したソフトウェアを使用してください。(使用するソフトウェアのマニュアルやホームページで仕様を確認してください)
- 上記のパソコンでの操作は、システムによって異なることがあります。

本機をコンピューターから取りはずす



(Windows 7/Windows 8/Windows 8.1 の場合)

- 1 "ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す"をクリックする

- 2 "JVCCAM~"をすべてクリックする

- 3 USB ケーブルをコンピューターから取りはずす

(Windows Vista の場合)

- 1 "ハードウェアの安全な取り外し"をクリックする

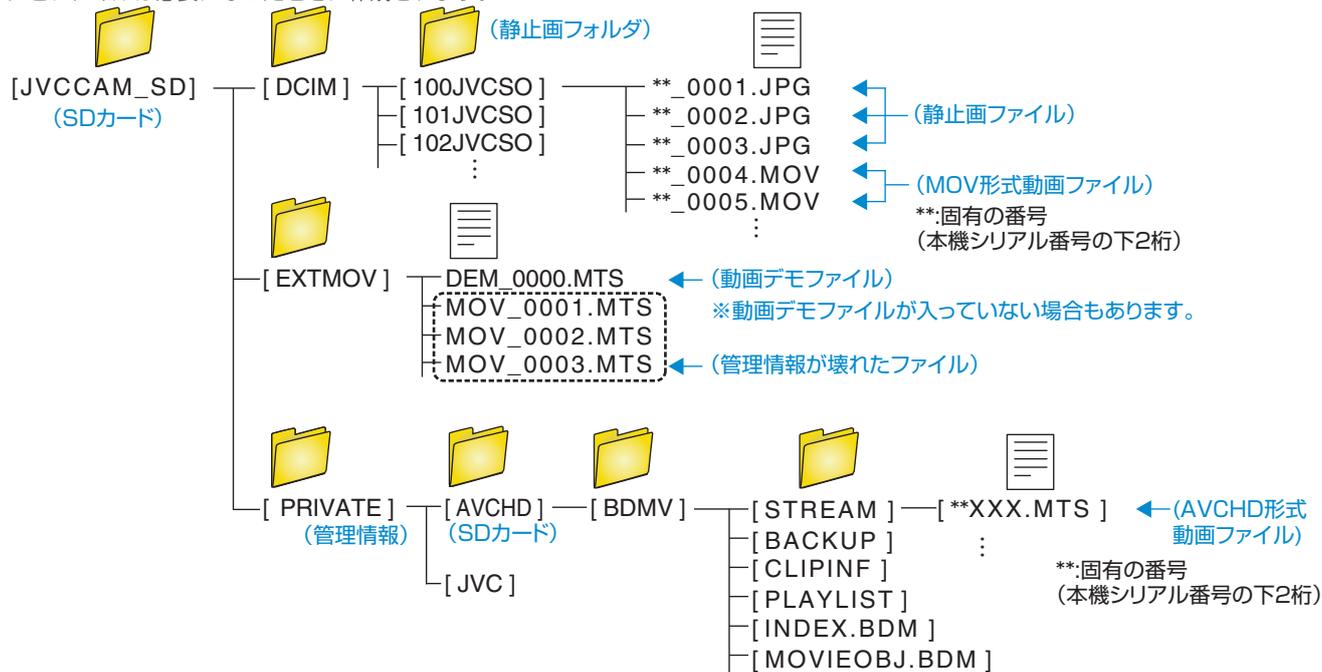
- 2 "USB 大容量記憶装置~"をクリックする

- 3 "OK"をクリックする

- 4 USB ケーブルをコンピューターから取りはずす

ファイルとフォルダの一覧について

SD カードには、フォルダとファイルが次のように作成されています。
 フォルダとファイルは必要になったときに作成されます。



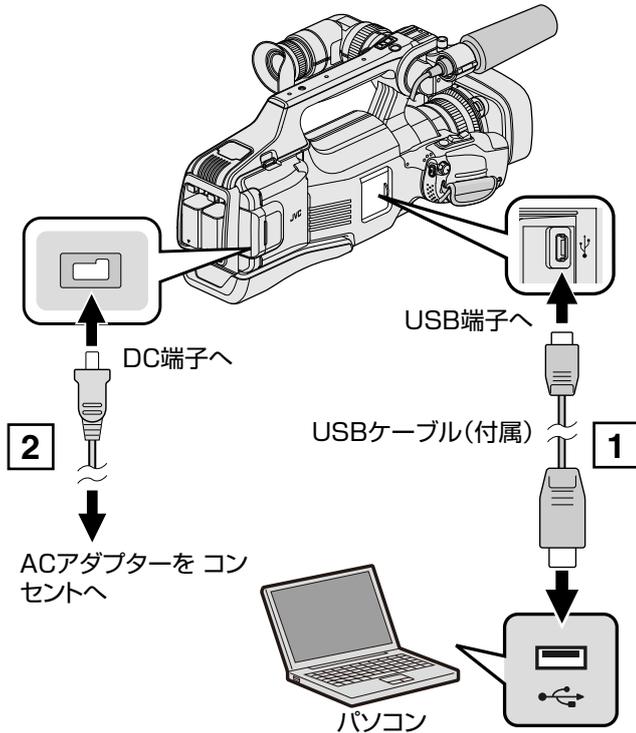
ご注意:

- カメラと PC を USB ケーブルで接続しているときは、記録メディアは読み取り専用になります。

Mac コンピューターに保存する

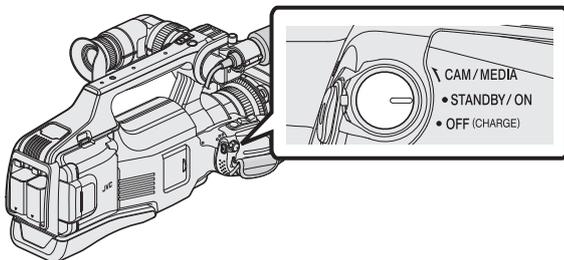
次の方法でファイルを Mac コンピューターにコピーしてください。

- 1 電源(バッテリーと AC アダプター)を取りはずす
- 2 USB ケーブルと AC アダプターを接続する



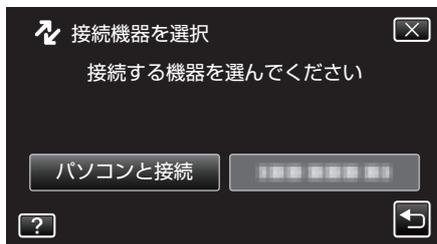
- 1 付属の USB ケーブルをつなぐ
- 2 本機に AC アダプターをつなぐ

- 3 "STANDBY/ON OFF"スイッチを "ON"にする

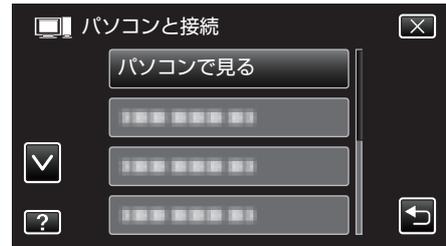


- 本機の電源を入ると、"接続機器を選択"画面が表示されます。

- 4 "パソコンと接続"をタッチする



- 5 "パソコンで見る"をタッチする



- × をタッチすると、メニューを閉じます。
- ⏪ をタッチすると、前画面に戻ります。
- カメラ側の操作が完了すると、次の画面が表示されます。



- デスクトップに "JVCCAM_SD"アイコンが表示されます。

- 6 Mac コンピューターに保存する

- 以降の操作は、Mac コンピューターで実行してください。
- ファイルを編集するには、Final Cut Pro をお勧めします。

ご注意：

- ビデオカメラと PC を USB ケーブルで接続しているときは、記録メディアは読み取り専用になります。

メモ：

- ファイルを編集・鑑賞するには、AVCHD(動画)／MOV(動画)／JPEG(静止画)に対応したソフトウェアを使用してください。
- 本機をコンピューターから取りはずすと、デスクトップに表示されている "JVCCAM_SD"のアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップしてください。(アイコンが2つある場合は両方とも)

メニュー操作のしかた

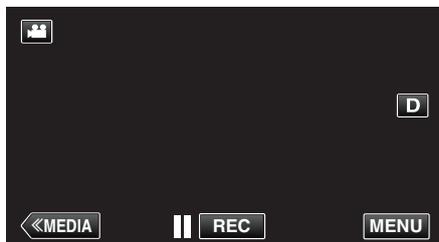
本機には2種類のメニューがあります。

- **トップメニュー:**
動画/静止画の撮影、再生に関する項目を表示します。
- **ショートカットメニュー:**
動画/静止画の撮影に、おすすめの機能を表示します。

トップメニューの操作のしかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

1 "MENU"をタッチする



- トップメニューが表示されます。
- お使いのモードによって表示されるメニューが異なります。

2 設定したいメニューをタッチする



3 設定したい設定項目をタッチする



メモ: _____

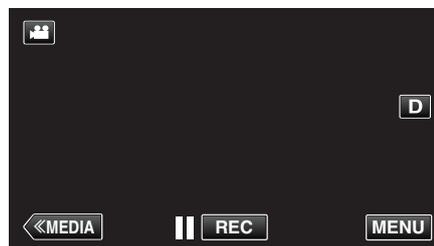
- 前/次のメニューを表示するとき
<または>をタッチする
- 設定を終了するとき
X (終了)をタッチする
- ヘルプを表示するとき
?(ヘルプ)をタッチし、項目をタッチする
ヘルプの表示がない場合があります。

ショートカットメニューの操作のしかた



ショートカットメニューでは、動画/静止画の撮影モードでのおすすめ機能の設定を変更できます。

1 "MENU"をタッチする



2 ショートカットアイコン(Ⓢ)をタッチする



- ショートカットメニューが表示されます。

3 メニューや設定を選んでタッチする



- "スマイルショット"、"スマイル%"、"逆光補正"が設定できます。

メモ: _____

- 設定を終了するとき
X (終了)をタッチする
- ヘルプを表示するとき
?(ヘルプ)をタッチし、項目をタッチする

撮影設定メニュー(動画)



シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。
 "場面(被写体)に合わせて撮影する" (☞ p. 33)
 ※マニュアル撮影時のみ表示されます。

フォーカスアシスト

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。
 "フォーカスアシストを使ってピントを合わせる" (☞ p. 28)

アシストカラー

「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定できます。

設定	内容
赤	輪郭線の色を赤に設定します。
緑	輪郭線の色を緑に設定します。
青	輪郭線の色を青に設定します。

ゼブラ

指定した明るさの部分のみ斜線のしま模様(ゼブラパターン)を表示します。
 "ゼブラパターンを表示する" (☞ p. 29)

動画記録形式

動画の記録形式を設定します。

設定	内容
AVCHD	AVCHD 形式で記録します。
MOV	MOV 形式で記録します。

メモ：――

- MOV 形式の動画記録はファームウェアバージョン 2.00 以降で使用できます。
 "ファームウェア更新" (☞ p. 115)
- MOV 形式の記録を設定したときは、シームレス撮影、デュアル撮影、クリップ連続記録、高速撮影、x.v.Color、K2 テクノロジーの機能が使用できません。
- MOV 形式の記録した動画素材から本機でディスクを作成することはできません。
- MOV 形式の記録した動画は本機で外付け型ハードディスクに保存できません。
- MOV 形式の記録した動画を本機でダイジェスト再生、プレイリスト作成することはできません。

システムセレクト

動画をプログレッシブ記録するかを設定します。
 プログレッシブ記録すると、なめらかで奥行き感のある高画質な映像を撮影できます。また、動きの速い被写体でもちらつきを抑えてくっきりと撮影できます。

- "動画記録形式"が "AVCHD"のときに設定できます。

設定	内容
60p	プログレッシブ記録します。
60i	プログレッシブ記録しません。

メモ：――

- 60p モードでは動画画質は設定できません。
- 60p モードで記録した動画は、AVCHD Progressive 対応機器でのみ再生できます。
- 60p モードで記録した動画は、ブルーレイディスクにのみ保存できます。(DVD には保存できません)
- 60p モードで記録した動画を保存したブルーレイディスクは、AVCHD Progressive 対応機器でのみ再生できます。
- タッチパネルの (動画) / (静止画) 切替ボタンでもモードを切り換えることができます。

設定メニュー

動画画質

動画画質を設定します。

"動画記録形式"が"AVCHD"、"システムセレクト"が"60i"のときに設定できます。

設定	内容
UXP	最高画質で撮影できます。(1920 x 1080 ピクセル) • ブルーレイディスク向けです。ハイビジョン画質では、DVD に保存できません。
XP	高画質で撮影できます。(1920 x 1080 ピクセル)
SP	標準画質で撮影できます。(1920 x 1080 ピクセル)
EP	長時間撮影ができます。(1920 x 1080 ピクセル)
SSW	標準画質で撮影できます。(720 x 480 ピクセル)
SEW	長時間撮影ができます。(720 x 480 ピクセル)

メモ：――

- "SEW"、"SSW"… "UXP"の順に画質が良くなります。また、"UXP"、"XP"… "SEW"の順にSDカードへの撮影可能時間が長くなります。
- 動作が速いシーンや明るさが変化しやすいシーンを撮影するときは、ノイズを避けるため、"UXP"または"XP"に設定してください。
- 画質を"UXP"にして撮影した動画は、BDライター(外付型ブルーレイドライブ)で保存してください。
- 60pモードでは動画画質は設定できません。

逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します。

"逆光補正を設定する" (p. 30)

テレマクロ

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。

"接写で撮影する" (p. 34)

※マニュアル撮影時のみ表示されます。

タッチ優先AE / AF

人物の顔やタッチしたエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。

"被写体をきれいに撮影する(タッチ優先AE / AF)" (p. 35)

手ぶれ補正

動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

"手ぶれを補正して撮影する" (p. 38)

感度アップ

暗いところで自動的に明るく調節します。

設定	内容
切	調節しません。
入	暗いところで電氣的に明るく調節します。
スローシャッター	暗いところでシャッタースピードを遅くして明るく調節します。

メモ：――

- "スローシャッター"では"入"より明るくなりますが、被写体の動きが不自然になることがあります。

ウィンドカット

風の音を低減します。

- 動画記録形式が MOV の場合、および外部マイク接続時には "オート" の設定はできません。

設定	内容
切	低減しません。
入	低減します。
オート	自動で低減します。

グリッド

被写体の傾きがわかるように格子状の線(グリッド)を表示します。

設定	内容
切	グリッドを表示しません。
入	グリッドを表示します。

シャッターモード

連写を設定できます。

設定	内容
1 枚撮影	連写しません。
連写	SNAPSHOT ボタンを押し続けている間、連写します。

メモ：――

- 動画モードでは "低速" の連写になります。
- 動画モード中に撮影した静止画のサイズは、1920×1080 になります。
- SD カードによっては、連写できないことがあります。
- 連写を続けると、連写速度が低下します。

スマイルショット

笑顔を検出したら、自動的に静止画を撮影します。

"笑顔を自動で撮影する(スマイルショット)" (p. 36)

スマイル%

人物の笑顔度をパーセントで表示します。

"スマイル%を設定する" (p. 37)

デュアル撮影

"デュアル撮影" が "入" の場合、2 枚の SD カードに動画を同時記録します。

- "動画記録形式" が "AVCHD" のときに設定できます。

設定	内容
切	1 枚の SD カードに記録します。
入	2 枚の SD カードに記録します。

メモ：――

- SD カードが 1 枚しか入っていないときなど、デュアル撮影ができない状態では、1 枚の SD カードに記録します。
- お楽しみ撮影を設定中のときは、デュアル撮影はできません。
- "動画記録形式" が "MOV" のときは、デュアル撮影はできません。
- "デュアル撮影" が "入" のときは、シームレス撮影はできません。
- "デュアル撮影" が "入" でも、静止画は 2 枚の SD カードに同時記録されません。

設定メニュー

クリップ連続記録

"クリップ連続記録"を"入"に設定すると、撮影と停止を繰り返しても、クローズをするまで1つのファイルで記録します。パソコンなどで動画を扱う場合に、編集で動画を結合する手間を省く事ができます。

- "動画記録形式"が"AVCHD"のときに設定できます。

設定	内容
切	クリップ連続記録をしません。
入	クリップ連続記録をします。

メモ：

- 記録中に SD カードの容量が不足になったときも、動画ファイルをクローズします。
- お楽しみ撮影を設定中のときは、クリップ連続記録撮影はできません。
- "動画記録形式"が"MOV"のときは、クリップ連続記録撮影はできません。
- 長時間の撮影では、自動的に最大 4GB のファイルに分割されます。

シームレス撮影(シームレス撮影/オートリカバリー撮影)

"シームレス撮影"が"入"の場合、SD カードが 2 枚入っている状態で、記録中のメディアの容量がなくなったとき、または記録中のメディアにエラーが発生したときに、撮影を止めずにもう一方のメディアに続けて記録します。

- "動画記録形式"が"AVCHD"のときに設定できます。

設定	内容
切	記録メディアを切り換えて撮影しません。
入	記録メディアを切り換えて撮影します。

メモ：

- SD カードに十分な空き容量がないと、シームレス撮影はできません。
- シームレス撮影が可能な状態では、が表示されます。
- SD カードが 1 枚しか入っていないときなど、シームレス撮影およびオートリカバリー撮影ができない状態では、が表示されます。
- "シームレス撮影"が"切"に設定されているときは、アイコンは表示されません。
- "高速撮影"または"タイムラプス撮影"が"入"のときは、シームレス撮影はできません。
- "デュアル撮影"が"入"のときは、シームレス撮影はできません。

ズーム倍率

ズームの最大倍率を設定します。

設定	内容
10 倍光学	1~10 倍の光学ズームで撮影できます。デジタルズームを使いたくないときに設定してください。
19(17)倍ダイナミック	1~10 倍の光学ズーム、および以下のダイナミックズームで撮影できます。 手ぶれ補正の設定によって、ズーム倍率が変化します。 "手ぶれ補正" 切 : 11~19 倍 "手ぶれ補正" 入(E I S / O I S) : 11~17 倍 "手ぶれ補正" 入(A I S) : 11~16 倍 "手ぶれ補正" 入(エンハンスド A I S) : 1~10 倍の光学ズームになります。
47(42)倍ダイナミック	1~10 倍の光学ズーム、および以下のダイナミックズームで撮影できます。 手ぶれ補正の設定によって、ズーム倍率が変化します。 "手ぶれ補正" 切 : 11~47 倍 "手ぶれ補正" 入(E I S / O I S) : 11~42 倍 "手ぶれ補正" 入(A I S) : 11~39 倍 ※ "動画画質"を "S S W"または "S E W"に設定しているときのみ、表示されます。この場合、"19(17)倍ダイナミック"は表示されません。
76 倍デジタル	1~10 倍の光学ズーム、および 11~76 倍のデジタルズームで撮影できます。
200 倍デジタル	1~10 倍の光学ズーム、および 11~200 倍のデジタルズームで撮影できます。

メモ：

- デジタルズームでは映像を電子的に引き伸ばすため、映像が粗くなります。
- 手ぶれ補正を入切すると画角が変わります。

メインズーム

メインズームの動作を設定します。

設定	内容
可変	メインズームレバーの押し具合でメインズームのスピードが変わります。
固定	メインズームのスピードがサブズームと同じになります。

サブズームスピード

サブズームのスピードを設定します。

設定	内容
高速	サブズームのスピードを高速にします。
中速	サブズームのスピードを中速にします。
低速	サブズームのスピードを低速にします。

x.v.Color

より忠実に色を記録します。

(再生するときは、x.v.Color 対応テレビをお使いください)

- "動画記録形式"が "AVCHD"のときに設定できます。

設定	内容
切	テレビ放送と同じ規格で、色を記録します。
入	より忠実に色を記録します。(x.v.Color 対応のテレビ用)

ズームマイク

ズームマイクを設定します。

- 外部マイク接続時は設定はできません。

設定	内容
切	ズームマイク機能を使いません。
入	ズーム操作に合わせて、指向性のある音声を記録できます。

マイクレベル表示

"マイクレベル表示"が赤くならないように調節してください。

設定	内容
切	マイク入力レベル表示をしません。
入	マイク入力レベル表示をします。

設定メニュー

マイクレベル設定

マイクレベルを設定します。

設定	内容
+2	マイクの入力レベルを上げます。
+1	マイクの入力レベルを少し上げます。
0	マイクの入力レベルを変更しません。
-1	マイクの入力レベルを少し下げます。
-2	マイクの入力レベルを下げます。

K2テクノロジー

デジタル信号処理による音質劣化を改善し、原音に近い音質で記録します。

- "動画記録形式"が "AVCHD"のときに設定できます。

設定	内容
切	K2テクノロジーを使用しません。
入	K2テクノロジーを使用します。

お楽しみ撮影メニュー(動画)



高速撮影

撮影速度を上げて動きを強調したスローモーション動画を撮影し、再生時に滑らかなスローモーション映像を再生できます。

ゴルフのスイングなどを確認したいときに便利です。

"スローモーションを撮影する(高速撮影)" (p. 41)

- "動画記録形式"が "AVCHD"のときに設定できます。

タイムラプス撮影

一定間隔に1コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。

花のつぼみが開く様子を観察するときなどに便利です。

"微速度撮影をする(タイムラプス撮影)" (p. 42)

フレームインREC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を検出して、自動的に撮影します。

"動きを検出し自動的に撮影する(フレームインREC)" (p. 44)

撮影設定メニュー(静止画)



シーンセレクト

状況に合わせた撮影ができます。
 "場面(被写体)に合わせて撮影する" (p. 33)
 ※マニュアル撮影時のみ表示されます。

フォーカスアシスト

ピント合わせを簡単にするため、ピントが合っている画像の輪郭線に色をつけます。
 "フォーカスアシストを使ってピントを合わせる" (p. 28)

アシストカラー

「フォーカスアシスト」の輪郭線の色を設定できます。

設定	内容
赤	輪郭線の色を赤に設定します。
緑	輪郭線の色を緑に設定します。
青	輪郭線の色を青に設定します。

逆光補正

逆光で被写体が暗くなるのを補正します。
 "逆光補正を設定する" (p. 30)

テレマクロ

ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。
 "接写で撮影する" (p. 34)
 ※マニュアル撮影時のみ表示されます。

タッチ優先AE / AF

人物の顔やタッチしたエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。
 "被写体をきれいに撮影する(タッチ優先AE / AF)" (p. 35)

セルフタイマー

記念撮影するときに使います。
 "記念写真を撮影する(セルフタイマー)" (p. 45)

グリッド

被写体の傾きがわかるように格子状の線(グリッド)を表示します。

設定	内容
切	グリッドを表示しません。
入	グリッドを表示します。

設定メニュー

ISO感度

被写体の明るさに応じて ISO 感度を設定します。

設定	内容
AUTO	自動で ISO レベルが設定されます。
ISO50	ISO50 に設定されます。
ISO100	ISO100 に設定されます。
ISO200	ISO200 に設定されます。
ISO400	ISO400 に設定されます。
ISO800	ISO800 に設定されます。
ISO1600	ISO1600 に設定されます。
ISO3200	ISO3200 に設定されます。
ISO6400	ISO6400 に設定されます。

手ぶれ補正

静止画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。

"手ぶれを補正して撮影する" (p. 38)

シャッターモード

連写を設定できます。

設定	内容
1 枚撮影	連写しません。
連写	SNAPSHOT ボタンを押し続けている間、連写します。

メモ：

- 連写スピードを変更できます。
"連写スピード" (p. 110)
- 静止画サイズを 5664x4248(24M)に設定しているときは、連写は使用できません。
- SD カードによっては、連写できないことがあります。
- 連写を続けると、連写速度が低下します。

連写スピード

連写の速度を設定します。

設定	内容
高速	静止画撮影のとき、約 6.3 秒間に最大 95 枚の静止画を連写できます。
中速	静止画撮影のとき、約 12.6 秒間に最大 95 枚の静止画を連写できます。
低速	記録メディアが一杯になるまで連写できます。

メモ：

- "低速"での連続撮影では、撮影速度が徐々に遅くなります。
- 静止画サイズを 5664X4248(24M)または 2816X2112(5.9M)に設定しているときは、一時的に "低速"になります。

スマイルショット

笑顔を検出したら、自動的に静止画を撮影します。
 "笑顔を自動で撮影する(スマイルショット)" (p. 36)

スマイル%

人物の笑顔度をパーセントで表示します。
 "スマイル%を設定する" (p. 37)

静止画サイズ

記録する静止画の大きさ(ピクセル数)を設定します。

設定	内容
1920X1080(2.1M)	画面比「16:9」の静止画を撮影します。 <ul style="list-style-type: none"> 16:9の静止画をお店などでプリントすると、両端が切られることがあります。
5664X4248(24M) 2816X2112(5.9M) 2048X1536(3.1M) 640X480(0.3M)	画面比「4:3」の静止画を撮影します。

お楽しみ撮影メニュー(静止画)



フレームインREC

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさの変化)を検出して、自動的に撮影します。
 "動きを検出し自動的に撮影する(フレームインREC)" (p. 44)

再生設定メニュー(動画)



日付検索

撮影日から、一覧表示する動画を絞り込みます。
"目的の映像を撮影日から探す" (☞ p. 58)

日時表示

動画の再生中に日時を表示するか設定します。

設定	内容
切	再生時に日時を表示しません。
入	再生時に日時を表示します。

ダイジェスト再生

撮影した動画のダイジェストを再生します。
"ダイジェスト再生" (☞ p. 53)

プレイリスト再生

作成したプレイリストを再生します。
"プレイリスト再生" (☞ p. 54)

特殊ファイル再生

管理情報の壊れた動画ファイルなどを再生します。
"特殊ファイル再生" (☞ p. 55)

編集メニュー(動画)



プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。
"表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する" (☞ p. 64)
"選んで保護する/選んで保護を解除する" (☞ p. 64)

コピー

スロット A からスロット B、またはスロット B からスロット A の SD カードにコピーします。
"映像ファイルを別の SD カードにコピーする" (☞ p. 97)

ムーブ

スロット A からスロット B、またはスロット B からスロット A の SD カードに移動します。移動したファイルは、移動元の SD カードから削除されます。
"映像ファイルを別の SD カードに移動する" (☞ p. 98)

プレイリスト編集

お好みの動画だけを並べた一覧をプレイリストといいます。
プレイリストを作成しておく、お気に入りの動画だけを好きな順番に並べて再生できます。
動画ファイルをプレイリストに登録しても、元の動画ファイルはそのまま残ります。
"映像を選んでプレイリストを作る" (☞ p. 67)
"撮影日を選んでプレイリストを作る" (☞ p. 68)
"プレイリストを編集する" (☞ p. 70)

トリミング

動画の必要な部分だけを切り出して、新しい動画として保存できます。
編集した元の動画は、そのまま残ります。
"動画を必要な部分だけにする(トリミング)" (☞ p. 66)

再生設定メニュー(静止画)



日付検索

撮影日から、一覧表示する静止画を絞り込みます。
"目的の映像を撮影日から探す" (☞ p. 58)

スライドショー効果

スライドショーの切り換え効果を設定します。

設定	内容
スライド	右端から左端へスライドしながら、画面が切り換わります。
ブラインド	縦じまに分割されながら、画面が切り換わります。
チェッカーボード	チェック柄に変化しながら、画面が切り換わります。
ランダム	"スライド"、"ブラインド"、"チェッカーボード"の中からランダムで効果を付けながら、画面が切り換わります。

メモ:

- 外部機器(外付型ハードディスクなど)に保存した静止画を再生しているときは、スライドショー効果が使用できません。

編集メニュー(静止画)



プロテクト/解除

誤消去防止のプロテクトを付けます。
"表示(再生)しているファイルを保護する/保護を解除する" (☞ p. 64)
"選んで保護する/選んで保護を解除する" (☞ p. 64)

コピー

スロット A からスロット B、またはスロット B からスロット A のSDカードにコピーします。
"映像ファイルを別のSDカードにコピーする" (☞ p. 97)

ムーブ

スロット A からスロット B、またはスロット B からスロット A のSDカードに移動します。移動したファイルは、移動元のSDカードから削除されます。
"映像ファイルを別のSDカードに移動する" (☞ p. 98)

セットアップ(動画／静止画共通)



時計合わせ

現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。

"時計を合わせる" (☞ p. 12)

"時差のある地域で使うとき" (☞ p. 17)

"旅行先がサマータイムのとき" (☞ p. 17)

日付表示配列

年月日の並び順と時間表示(24h／12h)を設定します。

並び順	時間表示
月. 日. 年	12h / 24h
年. 月. 日	12h / 24h
日. 月. 年	12h / 24h

LANG. / 言語

メニューなどで表示する言語を設定します。

日本語/英語/フランス語/スペイン語/ポルトガル語/中国語(簡体)に対応しています。

"表示言語を変更する" (☞ p. 13)

モニター明るさ

画面の明るさを調整します。

設定	内容
オート	屋外では "4" に、屋内では "3" に、自動的に切り換わります。
4	画面を常に明るくしたいときに設定します。
3	標準の明るさ設定です。
2	画面を常に暗くしたいときに設定します。
1	一番暗い設定です。 バッテリーの消費を抑えたいときに設定します。

サブRECボタン

サブRECボタンを無効にするか設定します。

設定	内容
切	サブRECボタンを無効にします。
入	サブRECボタンを有効にします。

操作音

操作時に音を鳴らすか設定します。

設定	内容
切	操作音を消します。
入	操作音を鳴らします。

オートパワーオフ

電源の切り忘れ防止のため、5分放置でバッテリー使用時は電源を切り、ACアダプター使用時は待機状態になります。

設定	内容
切	5分放置しても電源が切れません。
入	5分放置すると、自動的に電源が切れます。

メモ：—

- バッテリー使用時は、5分間放置すると自動的に電源が切れます。
- ACアダプター使用時は、待機状態になります。

タリーランプ

撮影中にタリーランプを点灯するか設定します。

設定	内容
切	タリーランプは点灯しません。
入	撮影中にタリーランプを点灯します。

タッチパネル調整

タッチパネルのボタンをタッチしたときの反応位置を調整します。
"タッチパネルの調整をする" (p. 8)

工場出荷

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ファームウェア更新

本機の機能を最新版に更新できます。
ファームウェアのバージョン確認だけをすることもできます。"アップデートを開始しますか?"の表示画面で"いいえ"を選択してください。
詳しくは、JVCのホームページをご覧ください。
(本体ソフトウェアをアップデートするためのプログラムが提供されるまで、ホームページに説明はありません)
<http://www3.jvckenwood.com/dvmain/support/download/index.html>

出力設定(動画／静止画共通)



テレビ表示

テレビに、アイコンや日時を表示できます。

設定	内容
切	テレビにアイコンや日時を表示しません。
入	テレビにアイコンや日時を表示します。

ビデオ出力

接続するテレビに合わせて画面比(16:9または4:3)に設定します。

設定	内容
4:3	従来型のテレビ(4:3)に接続するときに設定します。
16:9	ワイドテレビ(16:9)に接続するときに設定します。

HDMI 出力

テレビの HDMI 端子に接続するときに、本機の HDMI 端子の出力を設定します。

設定	内容
オート	通常は "オート" に設定します。
480p	"オート" で正常に表示されないとき設定します。

HDMI 機器制御

HDMI CEC 規格に対応するテレビと連動します。

設定	内容
切	連動しません。
入	連動します。

メディア設定(動画/静止画共通)



動画記録スロット

動画を記録するメディアを設定します。

設定	内容
スロットA	動画をスロットAのSDカードに保存します。
スロットB	動画をスロットBのSDカードに保存します。

静止画記録スロット

静止画を記録するメディアを設定します。

設定	内容
スロットA	静止画をスロットAのSDカードに保存します。
スロットB	静止画をスロットBのSDカードに保存します。

SDフォーマット

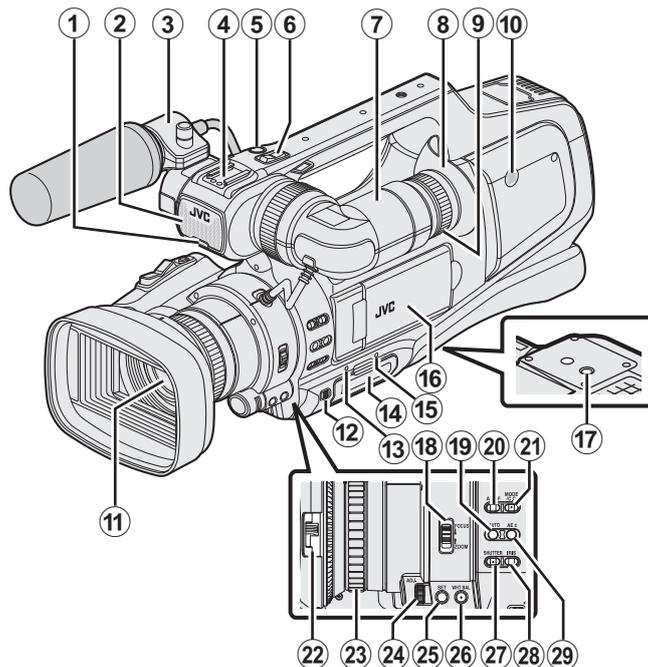
SDカードのファイルをすべて消去(初期化)します。

設定	内容
ファイル	SDカードのすべてのファイルを消去します。
ファイル+管理番号	SDカードのすべてのファイルを消去し、フォルダ番号とファイル番号を「1」から始めます。

ご注意:

- SDカードが入っていないときは選べません。
- フォーマットすると、SDカード内のデータはすべて消えます。
フォーマットする前に、SDカード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。
- フォーマットに時間がかかることがありますので、十分に充電したバッテリーをお使いになるか、ACアダプターを接続してください。
- ほかの機器で使用していたSDカードは、本機では使用できません。
フォーマットしてからお使いください。

本体前面



※マイクは、別売です。

① タリーランプ

"タリーランプ" (☞ p. 115)

② 内蔵マイク

③ マイクホルダー

"外部マイクの取り付けかた" (☞ p. 16)

④ シュー

⑤ サブ "REC" (撮影) ボタン

"動画をオートで撮影する" (☞ p. 21)

⑥ サブズームレバー

"ズームを使う" (☞ p. 27)

⑦ ビューファインダー

"ビューファインダーで見る" (☞ p. 14)

⑧ 接眼部(アイピース)

⑨ 接眼部(アイピース)フォーカスレバー

⑩ 内蔵スピーカー

⑪ レンズ・レンズカバー

⑫ "DOOR LOCK"レバー

⑬ スロット A 状態表示ランプ

⑭ SD カードスロット A、B

"SD カード"を入れる" (☞ p. 6)

⑮ スロット B 状態表示ランプ

⑯ 液晶モニター

"タッチパネルの使いかた" (☞ p. 8)

"液晶モニターで見る" (☞ p. 14)

⑰ 三脚取り付け用穴(底面)

"三脚の取り付けかた" (☞ p. 16)

⑱ "FOCUS/ZOOM"リング動作切換スイッチ

"リング動作モードを選択する" (☞ p. 19)

⑲ i.AUTO(インテリジェントオート)ボタン

"インテリジェントオート/マニュアル撮影モードを選択する" (☞ p. 19)

⑳ "AF/MF"フォーカスボタン

"フォーカス調整モードを選択する" (☞ p. 19)

㉑ "MODE" (動画/静止画)/ "C.C." (クリップクローズ) ボタン

"動画/静止画撮影モードを選択する" (☞ p. 20)

㉒ レンズカバースイッチ

"レンズカバーを開ける" (☞ p. 15)

㉓ フォーカス/ズームリング

"手でピントをあわせる" (☞ p. 28)

"ズームを使う" (☞ p. 27)

㉔ "ADJ."ダイヤル

㉕ "SET"ボタン

㉖ "WHT BAL"ホワイトバランス選択ボタン

"ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 32)

㉗ "SHUTTER"シャッタースピードボタン

"シャッタースピードを調整する" (☞ p. 31)

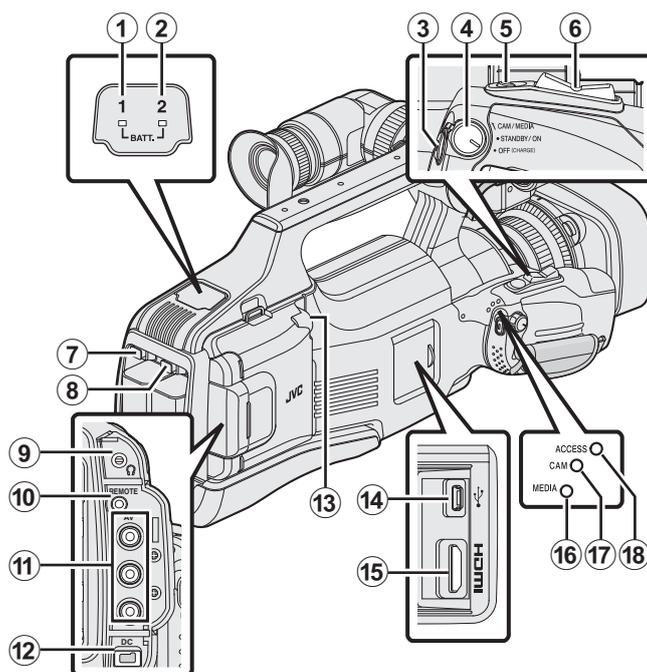
㉘ "IRIS"アイリスボタン

"絞りを調整する" (☞ p. 31)

㉙ "AE±"明るさ補正ボタン

"明るさを手動補正する" (☞ p. 30)

本体後面



① "BATT. 1"充電ランプ

② "BATT. 2"充電ランプ

"バッテリーを充電する" (☞ p. 5)

③ "REC"(撮影)ボタン

"動画をオートで撮影する" (☞ p. 21)

④ "STANDBY/ON OFF"/ "CAM/MEDIA"

電源/動作モード選択スイッチ

"電源を入れる/切る" (☞ p. 11)

⑤ "SNAPSHOT"(静止画撮影)ボタン

"静止画をオートで撮影する" (☞ p. 25)

⑥ メインズームレバー

"ズームを使う" (☞ p. 27)

⑦ "BATT. 1"ロック解除ボタン

⑧ "BATT. 2"ロック解除ボタン

"バッテリーを充電する" (☞ p. 5)

⑨ ヘッドホン端子

"ヘッドホンの取り付けかた" (☞ p. 15)

⑩ "REMOTE"リモート端子

"リモコンを準備する" (☞ p. 15)

⑪ "AV"端子

"AV 端子とつないで見る" (☞ p. 61)

"DVD レコーダーにつないでディスクにダビングする" (☞ p. 89)

"ビデオデッキにつないで VHS テープにダビングする" (☞ p. 90)

⑫ "DC"端子

"バッテリーを充電する" (☞ p. 5)

⑬ "MIC"端子

"外部マイクの取り付けかた" (☞ p. 16)

⑭ USB 端子

"BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを作る" (☞ p. 73)

"DVD ライターでディスクを作る" (☞ p. 81)

"ブルーレイレコーダーと接続してディスクを作る" (☞ p. 88)

"外付型ハードディスクに保存する" (☞ p. 91)

"Windows パソコンに保存する" (☞ p. 99)

"Mac コンピューターに保存する" (☞ p. 101)

⑮ HDMI 端子

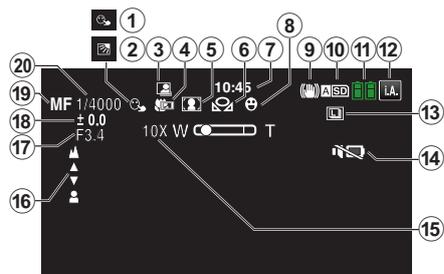
"HDMI 端子とつないで見る" (☞ p. 59)

⑯ "MEDIA"メディアモードランプ

⑰ "CAM"カメラモードランプ

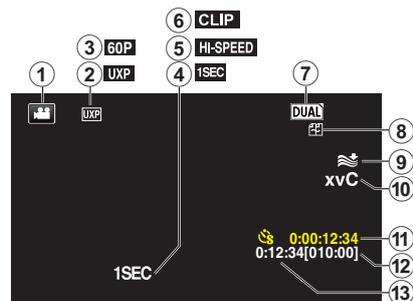
⑱ "ACCESS"アクセスランプ

撮影共通



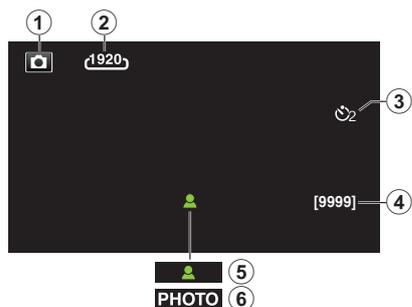
- ① **タッチ優先AE / AF**
"被写体をきれいに撮影する(タッチ優先AE / AF)" (☞ p. 35)
- ② **逆光補正**
"逆光補正を設定する" (☞ p. 30)
- ③ **フレームイン REC**
"動きを検出し自動的に撮影する(フレームイン REC)" (☞ p. 44)
- ④ **テレマクロ**
"接写で撮影する" (☞ p. 34)
- ⑤ **シーンセレクト**
"場面(被写体)に合わせて撮影する" (☞ p. 33)
- ⑥ **ホワイトバランス**
"ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 32)
- ⑦ **時刻**
"時計を合わせる" (☞ p. 12)
- ⑧ **スマイルショット**
"笑顔を自動で撮影する(スマイルショット)" (☞ p. 36)
- ⑨ **手ぶれ補正**
"手ぶれを補正して撮影する" (☞ p. 38)
- ⑩ **メディア**
"動画記録スロット" (☞ p. 117)
"静止画記録スロット" (☞ p. 117)
- ⑪ **バッテリー残量**
"残量時間を確認する" (☞ p. 47)
- ⑫ **撮影モード**
"動画をオートで撮影する" (☞ p. 21)
"インテリジェントオート/マニュアル撮影モードを選択する" (☞ p. 19)
- ⑬ **連写**
"シャッターモード(静止画)" (☞ p. 110)
- ⑭ **マナーモード**
"マナーモード機能を使う" (☞ p. 23)
- ⑮ **ズーム倍率**
"ズーム倍率" (☞ p. 106)
- ⑯ **フォーカス**
"手動でピントをあわせる" (☞ p. 28)
- ⑰ **絞り優先AE**
"絞りを調整する" (☞ p. 31)
- ⑱ **明るさ補正**
"明るさを手動補正する" (☞ p. 30)
- ⑲ **フォーカスモード**
"手動でピントをあわせる" (☞ p. 28)
- ⑳ **シャッタースピード**
"シャッタースピードを調整する" (☞ p. 31)

動画撮影



- ① **動画モード**
動画モード(60i/60p)と静止画モードを切り換えます。
- ② **動画画質**
"動画画質" (☞ p. 104)
- ③ **プログレッシブ記録**
"システムセレクト" (☞ p. 103)
- ④ **タイムラプス撮影(1SEC)**
"微速度撮影をする(タイムラプス撮影)" (☞ p. 42)
- ⑤ **高速撮影**
"スローモーションを撮影する(高速撮影)" (☞ p. 41)
- ⑥ **クリップ連続記録**
- ⑦ **デュアル撮影**
- ⑧ **シームレス撮影**
"シームレス撮影(シームレス撮影/オートリカバリー撮影)" (☞ p. 106)
- ⑨ **ウィンドカット**
"ウィンドカット" (☞ p. 105)
- ⑩ **x.v.Color**
"x.v.Color" (☞ p. 107)
- ⑪ **タイムラプス撮影カウンタ**
"微速度撮影をする(タイムラプス撮影)" (☞ p. 42)
- ⑫ **撮影可能時間**
"残量時間を確認する" (☞ p. 47)
- ⑬ **シーンカウンタ**

静止画撮影



① 静止画モード

動画モード(60i/60p)と静止画モードを切り換えます。

② 静止画サイズ

"静止画サイズ" (☞ p. 111)

③ セルフタイマー

"記念写真を撮影する(セルフタイマー)" (☞ p. 45)

④ 撮影可能枚数

"残量時間を確認する" (☞ p. 48)

⑤ ピント合わせ

⑥ 静止画記録中

動画再生



① 動画モード

動画モード(60i/60p)と静止画モードを切り換えます。

② 動画画質

"動画画質" (☞ p. 104)

③ プログレッシブ記録

"システムセレクト" (☞ p. 103)

④ 操作表示

"動画再生の操作ボタン" (☞ p. 49)

⑤ 日付と時刻

• 記録日時を表示します。

⑥ メディア

"動画記録スロット" (☞ p. 117)

⑦ バッテリー残量

"残量時間を確認する" (☞ p. 47)

⑧ 再生時間

"動画を再生する" (☞ p. 49)

⑨ タイムラプス再生

"タイムラプス撮影の設定内容" (☞ p. 43)

⑩ 外部ストレージ再生

"本機と DVD ライターをつないで再生する" (☞ p. 87)

"BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを再生する" (☞ p. 81)

"外付型ハードディスク内の映像を再生する" (☞ p. 94)

⑪ x.v.Color

"x.v.Color" (☞ p. 107)

⑫ 1080p 出力

"HDMI 出力" (☞ p. 116)

⑬ マナーモード

"マナーモード機能を使う" (☞ p. 23)

⑭ シーンカウンタ

静止画再生



① 静止画モード

動画モード(60i/60p)と静止画モードを切り換えます。

② フォルダ番号

③ ファイル番号

④ 日付と時刻

- 記録日時を表示します。

⑤ メディア

"静止画記録スロット" (☞ p. 117)

⑥ バッテリー残量

"残量時間を確認する" (☞ p. 47)

⑦ マナーモード

"マナーモード機能を使う" (☞ p. 23)

⑧ 外部ストレージ再生

"本機と DVD ライターをつないで再生する" (☞ p. 87)

"BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを再生する" (☞ p. 81)

"外付型ハードディスク内の映像を再生する" (☞ p. 94)

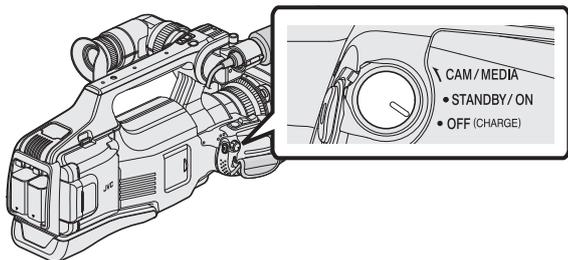
⑨ 1080p 出力

"HDMI 出力" (☞ p. 116)

正常に動作しないときは

電源を切る

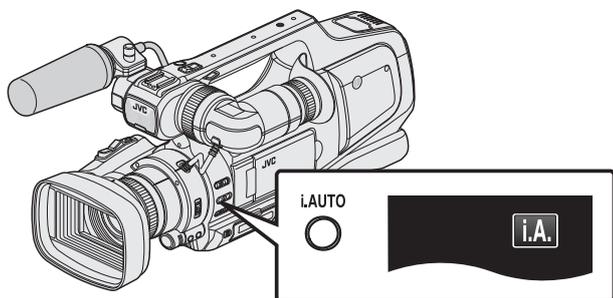
- 1 "STANDBY/ON OFF"スイッチを "OFF"にする



- 2 電源(バッテリーと AC アダプター)をいったん取りはずし、再度接続して電源を入れる(リセット完了)

インテリジェントオートで撮影する

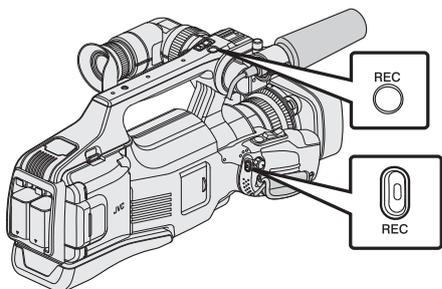
- 1 撮影モードがインテリジェントオート **i.A.** か確認する



- マニュアル **M** になっているときは、インテリジェントオート **i.A.** に切り換えてください。

"インテリジェントオート/ マニュアル撮影モードを選択する" (p. 19)

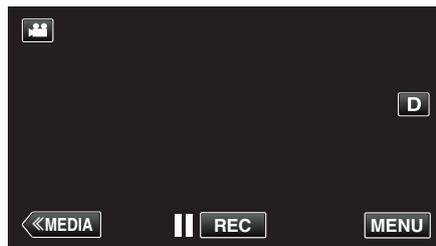
- 2 撮影を開始する



- もう一度押すと撮影を停止します。

すべての設定をお買い上げ時の設定に戻す

- 1 "MENU"をタッチする



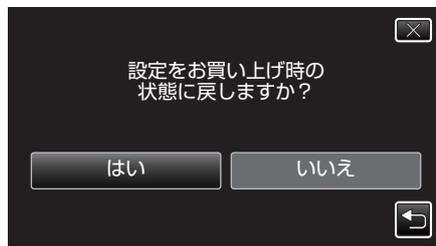
- 2 "セットアップ"をタッチする



- 3 "工場出荷"をタッチする



- 4 "はい"をタッチする



- すべての設定がお買い上げ時の設定に戻ります。

メモ：

- 以上の手順を行っても正常に動作しなかったときは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

バッテリー

バッテリー使用時に電源が入らない

バッテリーを充電してください。
"バッテリーを充電する" (☞ p. 5)
本体とバッテリーの端子が汚れている場合は、綿棒のようなもので拭取ってください。
当社製以外のバッテリーをご使用の場合は、安全面、性能面について保証いたしかねます。必ず当社製のバッテリーをお使いください。

充電しても使用時間が短い

繰り返し充電することでバッテリーの性能が劣化します。新しいバッテリーをお買い求めください。
"別売アクセサリ" (☞ p. 18)

バッテリーの充電ができない

バッテリーが満充電されていると、ランプは点滅しません。
本体とバッテリーの端子が汚れている場合は、綿棒のようなもので拭取ってください。
純正品以外の AC アダプターを使用すると本機が破損する可能性があります。純正品の AC アダプターを使用してください。

バッテリー残量が正しく表示されない

AC アダプターを接続すると、バッテリー残量は表示されません。
高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していると、正しく表示できないことがあります。

充電ランプがゆっくりした周期で点滅している

室温 10℃ ~ 35℃ の範囲外の場所では、充電に時間がかかったり、充電できないことがあります。充電できない場合、充電ランプがゆっくりした周期で 2 回点滅してお知らせします。

充電ランプが速く点滅している

バッテリー充電中に不具合(過電圧など)が生じた場合、または JVC 製以外のバッテリーを充電しようとした場合、充電が停止します。この場合、充電ランプが速く点滅してお知らせします。

撮影

撮影できない

"MODE" ボタンを確認してください。
複数の光源がある場所など、撮影状況によっては、インテリジェントオートで明るさやフォーカスが正しく調整できないことがあります。このようなときは、マニュアルで調整してください。
"手動でピントをあわせる" (☞ p. 28)

自動的に撮影が停止した

仕様上、12 時間以上の連続撮影ができませんので、自動的に撮影が停止します。クリップ連続記録の場合は、最初のクリップの撮影開始から 12 時間経過すると自動的にクリップをクローズします。(撮影の再開には、多少時間がかかる場合があります。)
電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。)

静止画の連写速度が遅い

連写を続けると、連写速度が低下します。
使用する SD カードや撮影条件によって、連写速度が低下します。

自動でピントが合わない

暗いところや明暗差の少ないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスをお使いください。
"手動でピントをあわせる" (☞ p. 28)
レンズの表面をクリーニングクロスできれいに拭いてください。
マニュアル撮影メニューでマニュアルフォーカスを解除してください。
"手動でピントをあわせる" (☞ p. 28)

ズームができない

静止画の撮影では、デジタルズームは使えません。
微速度撮影中は、ズーム操作ができません。(また、写真同時撮影、および手ぶれ補正もできません)
デジタルズームをするには、メニューの "ズーム倍率" を設定してください。
"ズーム倍率" (☞ p. 106)

速い動作や明るさが非常に変わるシーンを撮影するとき、モザイクノイズが発生する

"動画画質" を "UXP" または "XP" にして撮影してください。
"動画画質" (☞ p. 104)

動画の記録形式が設定できない

MOV 形式の動画記録は、ファームウェアバージョン 2.00 以降で使用できません。
"ファームウェア更新" (☞ p. 115)

カード

SD カードが入らない

カードの入れる向きを間違えないようにしてください。
"SD カードを入れる" (☞ p. 6)

SD カードに保存できない

カードに記録するには、メディアの設定が必要です。
"動画記録スロット"/"静止画記録スロット"の選択を正しく設定してください。
"動画記録スロット" (☞ p. 117)
"静止画記録スロット" (☞ p. 117)
ほかの機器で使っていたカードをはじめて使うときは、メディア設定の "SD フォーマット" でカードをフォーマット (初期化) する必要があります。
"SD フォーマット" (☞ p. 117)

再生

音や映像が途切れる

シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。

音が出ない

マナーモードでは操作音が出ません。マナーモードを解除してください。
"マナーモード機能を使う" (☞ p. 23)
共通メニューの "操作音" を "入" にしてください。
"操作音" (☞ p. 114)
高速撮影/タイムラプス撮影した動画は、音声は記録されていません。
"スローモーションを撮影する (高速撮影)" (☞ p. 41)
"微速度撮影をする (タイムラプス撮影)" (☞ p. 42)

同じ映像が長く止まって見える

高速対応 (Class4 以上) の SD カードをお使いください。
"本機で使える SD カードの種類" (☞ p. 7)
SD カードの端子部を乾いた綿棒などで清掃してください。
"メディア設定" メニューの "SD フォーマット" を実行してください。(データはすべて消えます。)
"SD フォーマット" (☞ p. 117)

映像がカクカクした動きに見える

高速対応 (Class4 以上) の SD カードをお使いください。
"本機で使える SD カードの種類" (☞ p. 7)
SD カードの端子部を乾いた綿棒などで清掃してください。
メディア設定メニューの "SD フォーマット" を実行してください。(データはすべて消えます。)
"SD フォーマット" (☞ p. 117)

撮影したはずの動画や静止画が一覧表示されない

日付検索を解除してください。
"目的の映像を撮影日から探す" (☞ p. 58)
タッチパネルの **A** [SD] / **B** [SD] ボタンをタッチして、再生するメディアを切り換えてください。
"動画再生の操作ボタン" (☞ p. 49)
"静止画再生の操作ボタン" (☞ p. 56)
メニューの "特殊ファイル再生" を選んでください。(管理情報の壊れた動画などを再生できます。)
"特殊ファイル再生" (☞ p. 55)
60p モードと 60i モードで記録した映像は、別々に一覧表示されます。
60p モードと 60i モードの一覧表示 (サムネイル表示) を切り換えるときは、**■** をタッチしてください。
また、ダイジェスト再生、プレイリスト再生/編集のときなども、60p モードと 60i モードを選択してから実行してください。
"動画記録形式" (☞ p. 103) を記録した動画と同じ形式に設定してください。

テレビに正常に表示されない

ケーブルを抜き差ししてください。
"HDMI 端子とつないで見る" (☞ p. 59)
本機の電源を入れ直してください。

テレビに縦長に映る

"メディア設定"メニューの"ビデオ出力"を"4:3"に変更してください。
"ビデオ出力" (☞ p. 116)
テレビ側で画面を調整してください。

テレビに表示される画面が小さい

"メディア設定"メニューの"ビデオ出力"を"16:9"に変更してください。
"ビデオ出力" (☞ p. 116)

HDMI ケーブルでテレビに接続したとき、映像や音声は正常に出力されない

お使いのテレビの機種によっては、映像や音声は正常に出力されない場合があります。このときは、以下の操作をしてください。
①HDMI ケーブルを抜き差ししてください。
②本機の電源を入れ直してください。
"HDMI 端子とつないで見る" (☞ p. 59)

編集/保存

画像を削除できない

保護(プロテクト)されている映像(動画/静止画)は削除できません。プロテクトを解除してから、削除してください。
"映像を保護する" (☞ p. 64)

DVD ライターで DVD が作成できない

USB ケーブルが正しく接続されていません。
"DVD ライターを準備する(CU-VD50 の場合)" (☞ p. 82)
"DVD ライターを準備する(CU-VD3 の場合)" (☞ p. 82)

BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクが作成できない

USB ケーブルが正しく接続されていません。
"BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)を準備する" (☞ p. 73)

バックアップメニューが消えない

USB ケーブルをつないでいる間は、"バックアップする"メニューが表示されます。

バックアップメニューに入ったときメニューから抜けられない

本機と DVD ライターの電源を切るか、AC アダプターを取りはずしてください。

外付型ハードディスクのフォルダを削除できない

パソコンで削除してください。
(パソコンでファイルを入れたり、フォルダの移動・名前の変更を行ったりすると、本機で削除できなくなります)

コンピューター

パソコンの HDD に画像を保存できない

バックアップする前に、パソコンのハードディスク(HDD)に十分な空き容量があることを確認してください。

Mac コンピューターをお使いのかたは

次の方法でファイルを Mac コンピューターにコピーしてください。
"Mac コンピューターに保存する" (☞ p. 101)

パソコンが SDXC カードを認識しない

パソコンの OS (基本ソフト) をアップデートしてください。
"パソコンが SDXC カードを認識しないとき" (☞ p. 7)

画面/映像

画面が見えにくい

直射日光下など周囲が明るい見えにくくなります。

画面に明るい光の帯が現れる

本機の向きを変え、光源を画面に入れないようにしてください。(明るい光源が画面周辺にあると光の帯が現われることがあります。故障ではありません。)

被写体が暗い

背景が明るくて被写体が暗いときは、逆光補正を使ってください。

"逆光補正を設定する" (☞ p. 30)

シーンセレクトの "ナイトアイ" を使ってください。

"場面(被写体)に合わせて撮影する" (☞ p. 33)

メニューの "感度アップ" を使ってください。

"感度アップ" (☞ p. 104)

"明るさ補正" を「+」側に設定してください。

"明るさを手動補正する" (☞ p. 30)

シャッタースピードを遅くしてください。(遅くしすぎると被写体がぶれることがあります)

"シャッタースピードを調整する" (☞ p. 31)

絞りの値を小さくしてください。

"絞りを調整する" (☞ p. 31)

被写体が明るい

逆光補正を "切" にしてください。

"逆光補正を設定する" (☞ p. 30)

"明るさ補正" を「-」側に設定してください。

"明るさを手動補正する" (☞ p. 30)

シャッタースピードを早くしてください。

"シャッタースピードを調整する" (☞ p. 31)

絞りの値を大きくしてください。

"絞りを調整する" (☞ p. 31)

被写体の色が不自然 (赤っぽい、青っぽいなど)

自然な色合いになるまで、しばらく待ってください。(ホワイトバランスの調整に時間がかかることがあります。)

"ホワイトバランス" を "マニュアル" に設定してください。光源に合わせて "5200K" / "6000K" / "3200K" のいずれかを選んでください。"ワンタッチ" を選んで調整してください。

"ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 32)

色合いが違って見える

"ホワイトバランス" を "マニュアル" に設定してください。光源に合わせて "5200K" / "6000K" / "3200K" のいずれかを選んでください。"ワンタッチ" を選んで調整してください。

"ホワイトバランスを設定する" (☞ p. 32)

画面に小さな明るい点や黒い点が出る

液晶モニターおよびビューファインダーには 99.99 % 以上の有効画素がありますが、0.01 % 以下の小さな光る点(赤、青、緑)や黒い点が出ることがあります。故障ではありません。また、これらは記録されません。

その他

タッチパネルのボタンがきかない

タッチパネルのボタンは、指でタッチしてください。爪や手袋などでは、正しく反応しないことがあります。修理を依頼する前に、撮影したデータを保存してください。

- ①USB ケーブルを使ってパソコンと接続してください。"接続機器を選択"メニューが表示されます。
- ②REC ボタンを 2 秒以上押してください。"パソコンで見る"が表示されます。画面が切り換わったら、パソコン側で操作してください。

画質が粗い

デジタルズームでは映像を電子的に引き伸ばすため、映像が粗くなります。

電源を入れたときにカタカタと音がする

手ぶれ補正機能を起動するための音です。故障ではありません。

本機が熱くなる

故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。)熱すぎると感じたときは、ご使用を中止してください。

表示言語が変わった

違う言語に設定したテレビと HDMI ケーブルで接続するときに発生する場合があります。
"テレビとの HDMI 連動機能を使う" (☞ p. 60)

HDMI ケーブルでテレビに接続したとき、正常な映像表示や音声が出ない

お使いのテレビの機種によっては、映像や音声が正常に出力されない場合があります。このときは、以下の操作をしてください。

- ①HDMI ケーブルを抜き差ししてください。
- ②本機の電源を入れ直してください。

"HDMI 端子とつないで見る" (☞ p. 59)

HDMI CEC が正常に動作せずに、本機とテレビが連動しない

HDMI CEC 規格に対応したテレビに接続した場合、テレビの仕様によっては、本機の動作に予期せぬ影響を及ぼすことがあります。すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。"HDMI 機器制御"を "切" にしてください。
"HDMI 機器制御" (☞ p. 116)

動画モードと静止画モードの切り換えや電源の入切などが遅い

動画や静止画をパソコンなどに保存し、本機から削除することをおすすめします。(撮影したファイルが本機に多数あると、本機の反応が遅くなります。)

エラー表示が出たり、正常に動作しない

本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示が出たり、正常に動作しないことがあります。このようなときは、一度電源を切ってから AC アダプターおよびバッテリーを取りはずしてください。本機がリセットされます。

電源/充電ランプとアクセスランプが点滅して操作できない

電源を切ったあと、電源(バッテリーと AC アダプター)をいったん取りはずし、再度接続したあとに電源を入れてください。解決しない場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

免責事項

- ・本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- ・商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- ・万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

エラー表示

レンズカバーを確認してください

レンズカバーを開けてください。

時計を合わせてください

ACアダプターを取り付けて、24時間以上充電してから、時計を設定してください。(設定しても表示が消えないときは、時計用電池が消耗しています。販売店にご連絡ください。)

"時計を合わせる" (☞ p. 12)

通信エラー

USBケーブルを接続し直してください。

本機を接続している機器の電源と、本機の電源を入れ直してください。

バッテリーをもう一度付け直してください。

カードエラー

カードが対応しているか確認してください。

"本機で使えるSDカードの種類" (☞ p. 7)

本機の電源を入れ直してください。

ACアダプターとバッテリーを取りはずし、SDカードを入れ直してください。

SDカードの端子の汚れを取り除いてください。

上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、"共通"メニューの"SDフォーマット"を実行してください。(データはすべて消えます。)

"SDフォーマット" (☞ p. 117)

フォーマットされていません

"OK"を選び、"フォーマットしますか?"の画面で"はい"を選んでください。

カードへ記録できませんでした

本機の電源を入れ直してください。

現在記録できません

動画の撮影をいったん停止してから、静止画を撮影してください。(動画の撮影中にSDカードを抜き差しすると、静止画を撮影できません。)

再生に失敗しました

SDカードを入れ直してください。

"SDカードを入れる" (☞ p. 6)

SDカードの端子の汚れを取り除いてください。

SDカードを入れてから、電源を入れてください。

振動や衝撃を与えないようにしてください。

動画管理ファイルが壊れているため修復します

"OK"を選んで修復してください。(修復に失敗した動画は一覧表示されませんが、メニューの"特殊ファイル再生"で再生できることがあります。)

"特殊ファイル再生" (☞ p. 55)

未対応のシーンです

本機で記録したファイルをお使いください。(他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。)

未対応のファイルです

本機で記録したファイルをお使いください。(他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。)

プロテクトがかかっています

メニューの"編集"の"プロテクト/解除"で解除してください。

"映像を保護する" (☞ p. 64)

カードがライトプロテクトされています

SDカードのライトプロテクトスイッチを解除してください。

空き容量がありません

ファイルを削除するか、パソコンなどに移してください。

新しいSDカードに交換してください。

記録できる管理番号の上限に達しました

① コンピューターなどにファイルまたはフォルダを移してください。(バックアップします。)

② メディア設定メニューの"SDフォーマット"で、"ファイル+管理番号"を選んでください。(SDカード内のデータは、すべて消えます。)

"SDフォーマット" (☞ p. 117)

シーン数が制限を超えています

記録できる動画は、**000.mts~**999.mtsの1000シーンです。

① コンピューターなどにファイルまたはフォルダを移してください。(バックアップします。)

② メディア設定メニューの"SDフォーマット"で、"ファイル+管理番号"を選んでください。(SDカード内のデータは、すべて消えます。)

"SDフォーマット" (☞ p. 117)

フォルダ数が制限を超えています

① コンピューターなどにファイルまたはフォルダを移してください。(バックアップします。)

② メディア設定メニューの"SDフォーマット"で、"ファイル+管理番号"を選んでください。(SDカード内のデータは、すべて消えます。)

"SDフォーマット" (☞ p. 117)

ファイル数が制限を超えています

① コンピューターなどにファイルまたはフォルダを移してください。(バックアップします。)

② メディア設定メニューの"SDフォーマット"で、"ファイル+管理番号"を選んでください。(SDカード内のデータは、すべて消えます。)

"SDフォーマット" (☞ p. 117)

プレイリスト数が制限を超えています

プレイリストを 99 以下にしてください。(プレイリストは 99 まで作成できます。)

プレイリスト数が制限を超えたため中断しました

DVD を作る時、保存するプレイリストを減らしてください。
プレイリストに登録する動画を 999 以下にしてください。
"録画した動画から選んでプレイリストを作る" (☞ p. 67)

作業用領域が不足しているため処理を中断しました

プレイリストに登録する動画を 999 以下にしてください。
"録画した動画から選んでプレイリストを作る" (☞ p. 67)

ファイルがありません

"メディア設定"メニューの"動画記録スロット"または"静止画記録スロット"を変更し、もう一方のメディアに記録されていないか確かめてください。

"動画記録スロット" (☞ p. 117)

"静止画記録スロット" (☞ p. 117)

記録を中止しました

"動画記録スロット"をもう一方の SD カードに切り換えて、記録してください。

"動画記録スロット" (☞ p. 117)

本機の電源を入れ直してください。

振動や衝撃を与えないようにしてください。

カメラの温度が上がりました カメラの電源を切ってお待ちください

本機の電源を切り、冷ましてから電源を入れてください。

電源が入っていないか または非対応の USB 機器です

接続した USB 機器の電源を入れてください。

BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)や DVD ライターに AC アダプターを接続してください。

ディスクを入れてください

BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)や DVD ライターのトレイを開け、DVD やブルーレイディスクを確認して置き直し、トレイを閉めてください。

BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)や DVD ライターのディスクを入れ替えてください。

ディスクを入れ替えてください

BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)や DVD ライターのトレイを開け、DVD やブルーレイディスクを確認して置き直し、トレイを閉めてください。

BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)や DVD ライターのディスクを入れ替えてください。

本機を末永くお使い頂くためにお手入れをおすすめします。

ご注意：

- お手入れの前に、バッテリーや AC アダプター、電源プラグをはずしてください。

本体

- 乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ります。
- 汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取ります。

ご注意：

- 損傷や故障の原因となりますので、ベンジンやシンナー、アルコールなどの溶剤は使わないでください。
- 化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従ってください。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

レンズ・液晶画面・ビューファインダー

- 市販のレンズブローでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭いてください。
汚れたまま放置しておく、カビ発生などの原因となります。
- 市販の反射防止フィルムや保護フィルムなどをお使いになれます。
ただし、フィルムの厚みなどによっては、タッチパネルがスムーズに動かなくなったり、多少画面が暗くなる場合があります。

カメラ本体

項目	内容
電源	ACアダプター使用時: DC 11 V バッテリー使用時: DC 7.2 V
消費電力	4.4 W(60i モード、モニター明るさ: 3 (標準)) 4.8 W(60i モード、モニター明るさ: 4 (明るい)) 4.9 W(60p モード、モニター明るさ: 3 (標準)) 5.3 W(60p モード、モニター明るさ: 4 (明るい)) 定格消費電流: 1A
外形寸法(mm)	227 x 232 x 472 (幅 x 高さ x 奥行き: グリップベルトを含まず)
質量	約 2930 g(本体のみ)、 約 3180 g(バッテリー BN-VF823 を 2 個取り付け た状態)
動作環境	許容動作温度: 0°C ~ 40°C 許容保存温度: -20°C ~ 50°C 許容相対湿度: 35 % ~ 80 %
映像素子	1/2.3 型 1891 万画素(裏面照射 CMOS)
撮像エリア(動画)	207 万~794 万画素(手ぶれ補正: 切、ダイナミック ズーム: 入)
撮像エリア(静止画)	682 ~ 918 万画素(4:3)(手ぶれ補正: 切) 512 ~ 689 万画素(16:9)(手ぶれ補正: 切)
レンズ	F1.2~F2.8, f= 3.76 mm~37.6 mm 動画 35 mm カメラ換算: 29.9 mm ~ 586 mm(ダイナ ミックズーム: 入) ※1 35 mm カメラ換算: 29.9 mm ~ 406 mm(ダイナ ミックズーム: 切) ※1 静止画 35 mm カメラ換算: 29.5 mm~342 mm(4:3) ※2 35 mm カメラ換算: 32.1 mm~372mm(16:9) ※2 ※1 ワイド(W)端を "手ぶれ補正" が "切"、テレ(T) 端を "手ぶれ補正" が "A I S" で計算しています。 ※2 "手ぶれ補正" が "切" で計算しています。

項目	内容
フィルター径	46 mm(ねじピッチ: 0.75 mm)
最低照度	10 ルクス(感度アップ: 入) 1 ルクス(感度アップ: スローシャッター) 1 ルクス(シーンセレクト: ナイトアイ)
ズーム(動画撮影時)	光学ズーム: ~ 10 倍 ダイナミックズーム: 11~19 倍(手ぶれ補正: 切)、 11~17 倍(手ぶれ補正: 入(E I S / O I S))、11 ~16 倍(手ぶれ補正: 入(A I S)) デジタルズーム: ~ 200 倍
ズーム(静止画撮影 時)	光学ズーム: ~ 10 倍
連写スピード (動画記録停止中)	低速: 約 1.5 枚/秒(最大値)
連写スピード (静止画撮影時)	高速: 約 15 枚/秒 中速: 約 7.5 枚/秒 低速: 約 2 枚/秒(最大値)
液晶画面	3.0 型ワイド、46 万ドット、カラー液晶
ビューファインダー	0.24 型、26 万ドット相当、LCOS
記録メディア	SD/SDHC/SDXC カード(市販) "本機で使える SD カードの種類" (p. 7)
時計用電池	一次電池

端子

項目	内容
HDMI 出力端子	HDMI 端子
AV 出力端子	ビデオ出力: 1.0 V(p-p)、75 Ω 音声出力: 300 mV(rms)、1 K Ω
USB 端子	ミニ USB AB タイプ, USB 2.0 対応

動画(AVCHD)

項目	内容
録画/再生方式	AVCHD 規格 Ver 2.0 準拠(AVCHD Progressive) 映像: MPEG-4 AVC/H.264 音声: Dolby Digital 2ch
拡張子	.MTS
信号方式	NTSC 日米標準信号方式
画質(動画)	60p 1920 ピクセル x 1080 ピクセル 最大 約 27 Mbps UXP 1920 ピクセル x 1080 ピクセル 平均 約 24 Mbps XP 1920 ピクセル x 1080 ピクセル 平均 約 17 Mbps SP 1920 ピクセル x 1080 ピクセル 平均 約 12 Mbps EP 1920 ピクセル x 1080 ピクセル 平均 約 4.8 Mbps S S W(16:9) 720 ピクセル x 480 ピクセル 平均 約 6.2 Mbps S E W(16:9) 720 ピクセル x 480 ピクセル 平均 約 3 Mbps
音質(音声)	48 kHz、256 kbps

動画(MOV)

項目	内容
録画/再生方式	映像: MPEG-4 AVC/H.264 音声: LPCM
拡張子	.MOV
信号方式	NTSC 日米標準信号方式
画質(動画)	1920 ピクセル x 1080 ピクセル 最大 約 35 Mbps
音質(音声)	96 kHz、LPCM

静止画

項目	内容
記録方式	JPEG 準拠
拡張子	.JPG
画像サイズ	"静止画の撮影可能枚数の目安(単位: 枚)" (p. 48)

ACアダプター(AP-V20)

項目	内容
電源	AC 110 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
出力	DC 11 V、1 A
許容動作温度	0°C ~ 40°C (充電時は 10°C ~ 35°C)
外形寸法(mm)	78 x 34 x 46(幅×高さ×奥行き:コードと AC プラグを含まず)
質量	約 100 g

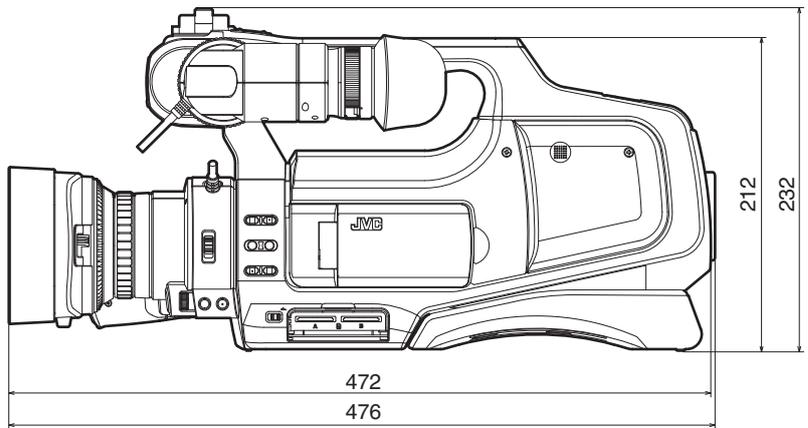
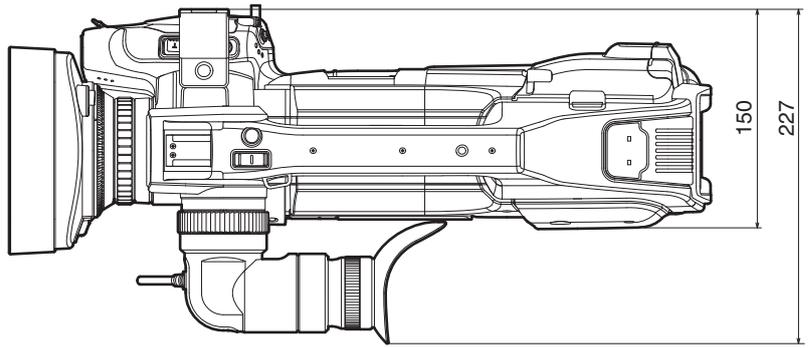
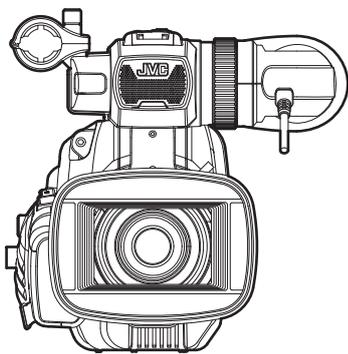
バッテリー(BN-VF823)

項目	内容
外形寸法(mm)	30.5 x 51.6 x 46.2 (幅×高さ×奥行き)
質量	約 125 g

メモ:

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

外形寸法図(単位:mm)



JVC